

平成 29 年度

区の施策検証等に向けた大田区民意識調査

(区内在住の 18 歳以上の方が対象)

(小学生以下の子の保護者の方が対象)

報告書

平成 30 年 3 月

大 田 区

目次

I 調査概要	1
1 : 調査の目的	3
2 : 調査の内容	3
3 : 調査設計	3
4 : 報告書の見方について	4
5 : 標本誤差について	4
II 「区内在住の18歳以上の方が対象」の調査結果	7
(1) 回答者の属性	9
(2) 生涯学習について	14
・最近1年間の生涯学習	14
・生涯学習で身に付けた知識・技能・経験を活かしているか	16
(3) 図書館の利用	18
・区立図書館の利用の有無	18
・区立図書館の利用頻度	20
・問2-1と問2-2	22
・区立図書館への要望	23
・区立図書館を利用しない理由	25
(4) 地域活動	27
・自分の知識や経験を活かしているか	27
・ボランティア活動への参加について	29
・問4と問4-1と問26	31
・参加した活動の内容	32
・活動に参加しない理由	34
(5) 「オーちゃんネット」について	36
・オーちゃんネットの認知度	36
・オーちゃんネットの利用度	38
(6) 大田区立消費者生活センター	40
・大田区立消費者生活センターの認知度	40
(7) スポーツについて	42
・総合型地域スポーツクラブの認知度	42
・運動・スポーツ活動について	44
・問8とF3、F5、F8	46
・行うスポーツのジャンルについて	47
・問8-1とF8	49
・スポーツをする環境について	50

・区の施設を使わない理由	52
・ホッケー競技開催の認知度	54
(8) 自転車ナビマーク・自転車ナビライン	56
・自転車ナビマーク・自転車ナビラインの認知度.....	56
・問 10 と問 13-1	58
・道路交通環境について	59
・どのような変化か	61
・危険運転をする自転車について	63
・自転車危険運転の種類について	65
・自転車の利用で気をつけていること.....	67
・大田区のコミュニティサイクルの認知度.....	69
・問 13 と問 14.....	71
・大田区のコミュニティサイクル利用の有無.....	72
・問 13-1 と問 17	74
・コミュニティサイクルの利用目的	75
・コミュニティサイクルを利用しない理由.....	77
・問 13-1-2 と問 17	79
(9) 交通手段について	80
・通勤・通学に使う交通手段	80
・問 14 と問 10.....	82
・都内へ出かける際に使う交通手段	83
・問 15 と問 10.....	85
・一週間でそれぞれの交通手段を利用する頻度.....	86
・公共交通網の利用環境について	93
・問 17 と F 2, F 3, F 5	95
・公共交通網の満足度について	96
・問 18 と F 2, F 3, F 5	98
(10) 普段の買い物	99
・普段の買い物で利用するお店の業態.....	99
・普段の買い物で利用するお店の理由.....	100
・問 19-1 (食料品・業態) と問 26、F 1、F 2、F 2-1、F 3、F 9.....	101
・問 19-1 (食料品・理由) と問 26、F 1、F 2、F 2-1、F 3、F 9.....	102
・問 19-2 (衣類・業態) と問 26、F 1、F 2、F 2-1、F 3、F 9.....	103
・問 19-2 (衣類・理由) と問 26、F 1、F 2、F 2-1、F 3、F 9.....	104
・問 19-3 (日用雑貨・業態) と問 26、F 1、F 2、F 2-1、F 3、F 9.....	105
・問 19-3 (日用雑貨・理由) と問 26、F 1、F 2、F 2-1、F 3、F 9.....	106
・平日に買い物をする時間帯について	107
・問 20 と問 26、F 1、F 2、F 2-1、F 3、F 9	109

・近くにある自慢の店について	110
・問 21 と問 26、F 1、F 2、F 2-1、F 3、F 9	112
(11) かかりつけ医	114
・かかりつけ医・かかりつけ薬局の有無.....	114
・アレルギー疾患の有無	116
・アレルギー疾患の種類	118
(12) 文化・芸術	120
・大田区の文化・芸術	120
・問 24 と問 25.....	122
・(外国籍の方のみ) 日本での滞在目的・理由.....	123
・(外国籍の方のみ) 大田区に住んでいる理由.....	125
Ⅲ 「小学生以下の子の保護者の方対象」の調査結果	127
(1) 回答者の属性	129
(2) 子どもの遊び場について	132
・近所の公園は安全・安心して魅力ある場か.....	132
・問 1 と F 2	134
・どのような公園が希望か	135
・公園を利用するか	137
・問 2 と F 2	139
・放課後にお子様安心して楽しく遊べると思う場所.....	140
・お子様は「誰と」遊んでいるか	142
(3) 放課後を過ごす公共施設	144
Ⅳ 資料編.....	147

I 調査概要

I 調査概要

1：調査の目的

おおた未来プラン10年（後期）をはじめとする各種計画に掲げる施策の検証や、より効果的な政策立案に資することを目的とし、区内在住の区民を対象とした意識調査を実施する。

2：調査の内容

[区内在住の18歳以上の方が対象]

- (1) 回答者の属性
- (2) 生涯学習について
- (3) 図書館の利用
- (4) 地域活動
- (5) 「オーちゃんネット」について
- (6) 大田区立消費者生活センター
- (7) スポーツについて
- (8) 自転車ナビマーク・自転車ナビライン
- (9) 交通手段について
- (10) 普段の買い物
- (11) かかりつけ医
- (12) 文化・芸術

[小学生以下の子の保護者の方対象]

- (1) 回答者の属性
- (2) 子どもの遊び場について
- (3) 放課後を過ごす公共施設

3：調査設計

- | | |
|----------|---|
| (1) 調査地域 | 大田区全域 |
| (2) 調査対象 | 区内在住の18歳以上の方が対象：
大田区内に居住する満18歳以上の男女個人（外国人を含む）
小学生以下の子の保護者の方対象：
大田区内に居住し、平成29年度末現在で12歳以下の子どものいる世帯の方（外国人を含む） |
| (3) 標本数 | 区内在住の18歳以上の方が対象: 4,000人
小学生以下の子の保護者の方対象: 2,000人 |
| (4) 抽出方法 | 層化無作為抽出法 |

- (5) 調査方法 配付は郵送方式、回答収集は郵送又は電子申請方式
- (6) 有効回収数 区内在住の18歳以上の方が対象:1,744件(郵送1,403件+電子申請341件)
小学生以下の子の保護者の方が対象:1,311件(郵送1,018件+電子申請293件)
- (7) 有効回収率 区内在住の18歳以上の方が対象:43.6%
小学生以下の子の保護者の方が対象:65.6%

4：報告書の見方について

- (1) 結果の数値は原則として回答率(%)で表記している。回答率(%)の母数は、その質問項目に該当する回答者の数であり、『n=』と表記している。また、複数回答についても回答者の数としている。
- (2) 集計は、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを表記してある。このため、各回答率(%)を合計しても100.0%とならない場合がある。
- (3) 表中の『-』は該当箇所に回答者がいないことを表している。
- (4) 分析の軸(=縦軸)としたプロフィールや設問は、無回答を除いているため、各プロフィールの回答者の合計が全体と一致しない場合がある。
- (5) 特に回答者数の少ないものについては、比率が動きやすい為、その標本誤差に留意する必要がある。

5：標本誤差について

今回のような調査対象(母集団)の中から一部を抽出して行う標本調査では、全数調査(全ての人を調査)と比べ、調査結果に差が生じることがある。その誤差を標本誤差という。

標本誤差は、95%の信頼度で以下の式から得られる数値であり、真の値(全数調査をした場合に得られる数値)は標本調査で得られた結果に、この標本誤差を引いた値と加えた値の範囲内にあることとなる。

$$\text{標準偏差} = \pm 2 \times \sqrt{2 \times \frac{N-n}{N-1} \times \frac{p(1-p)}{n}}$$

<p>N：母集団の大きさ n：回答者数 p：回答の比率(%)</p>
--

各回答率における標本誤差早見表（信頼度 95%で算出している）

回答の比率(p) 回答者数(n)	10%または 90%前後	20%または 80%前後	30%または 70%前後	40%または 60%前後	50%前後
1,744	± 2.0	± 2.7	± 3.1	± 3.3	± 3.4
1,500	± 2.2	± 2.9	± 3.4	± 3.6	± 3.7
1,311	± 2.3	± 3.1	± 3.6	± 3.8	± 3.9
1,000	± 2.7	± 3.6	± 4.1	± 4.4	± 4.5
800	± 3.0	± 4.0	± 4.6	± 4.9	± 5.0
500	± 3.8	± 5.1	± 5.8	± 6.2	± 6.3

早見表の見方

たとえば、今回の「区内在住の 18 歳以上の方が対象」調査の回答者数（1,744 人）を 100%とする比率で、ある質問の回答が 50%であった場合、大田区民（区内在住の 18 歳以上の方）のこの質問に対する回答は、46.61%～53.39%の間にあると考えられる。

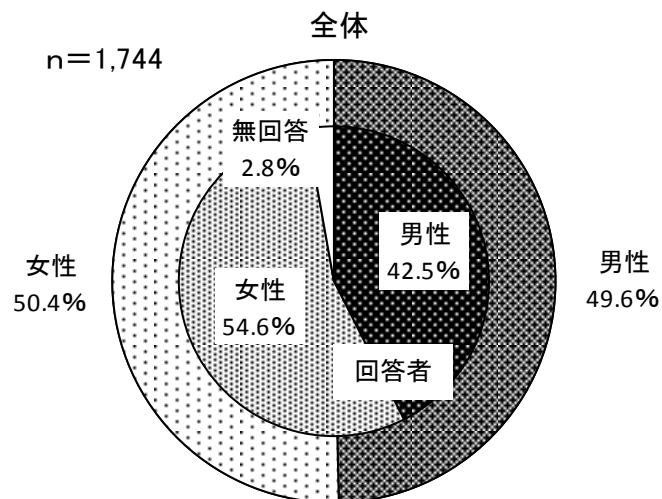
Ⅱ 「区内在住の 18 歳以上の方が対象」の調査結果

(1) 回答者の属性

【性別】

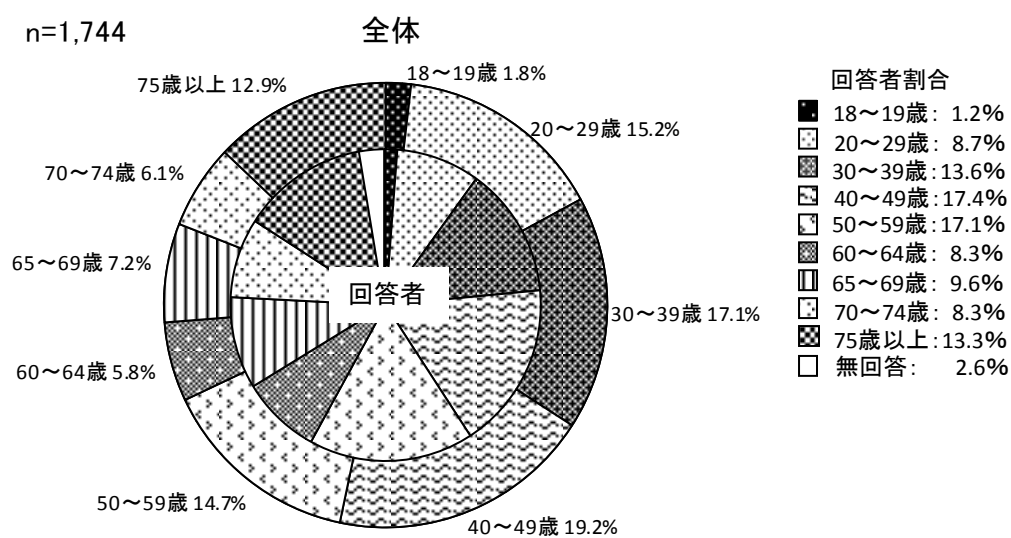
全体：大田区の18歳以上の人口（n=627,423）※平成30年1月1日

回答者：有効回収数（n=1,744）

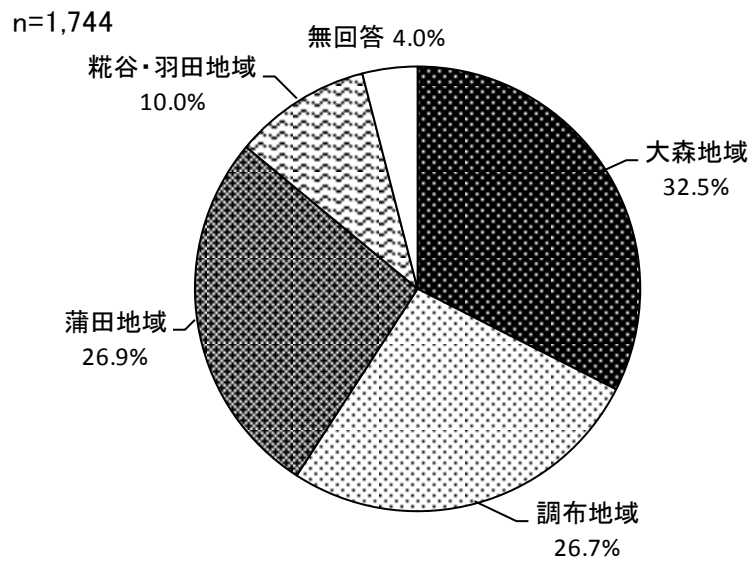


【出典】大田区：年齢別人口報告表資料（日本人+外国人）平成30年1月1日現在版

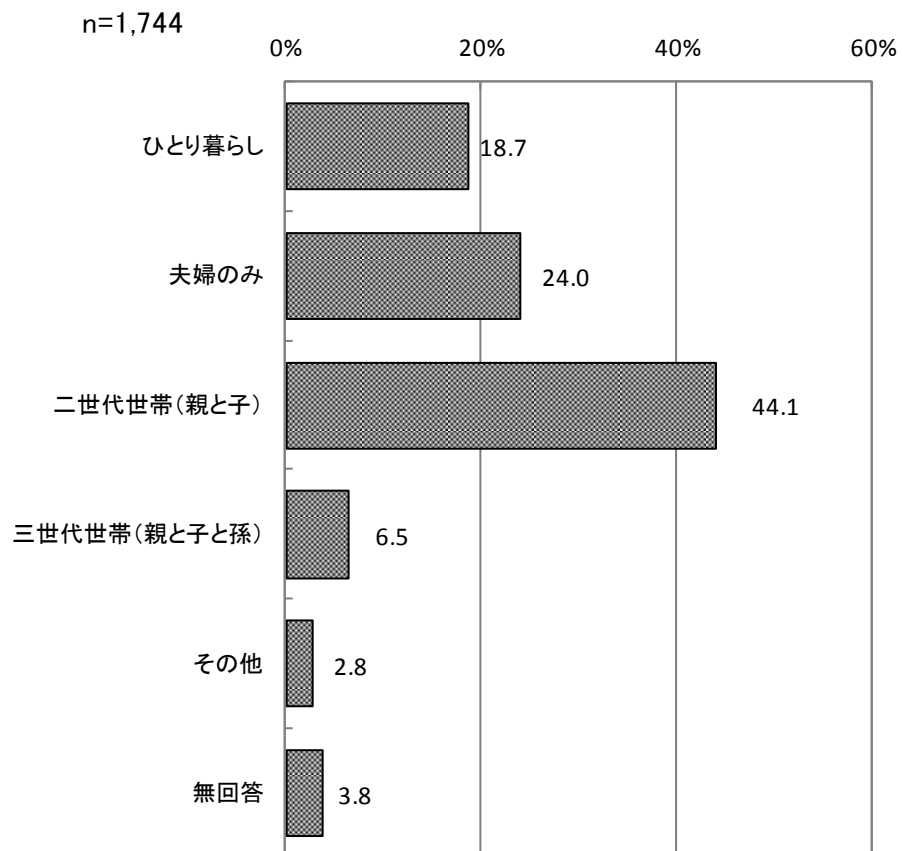
【年齢】



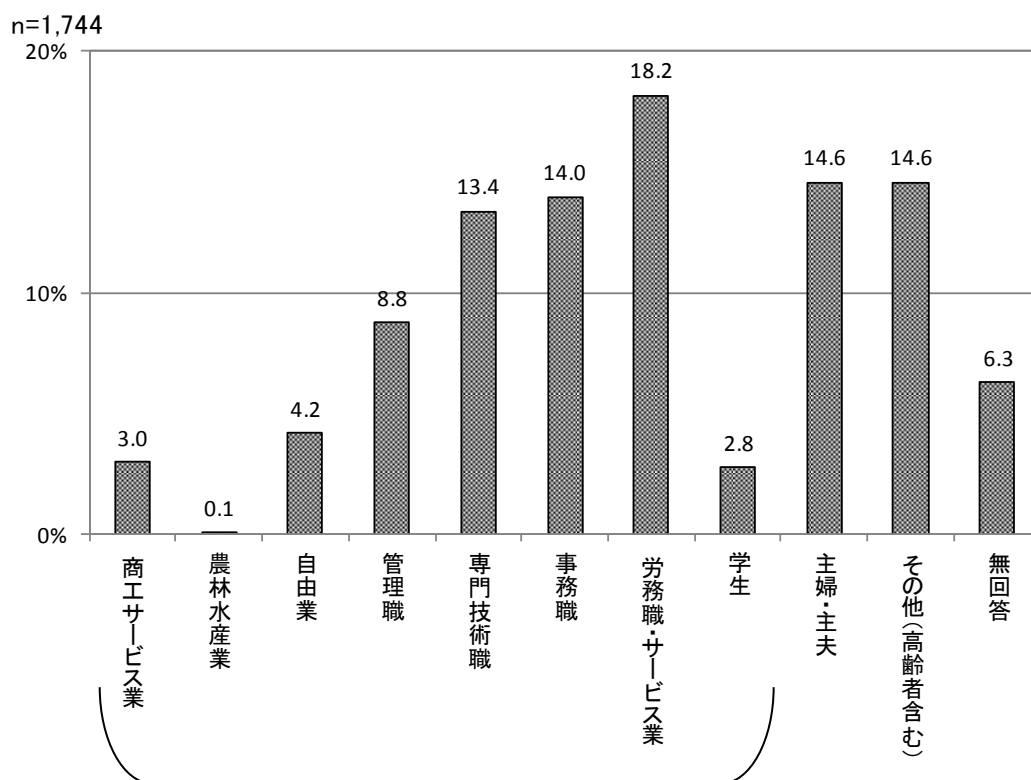
【お住まい】



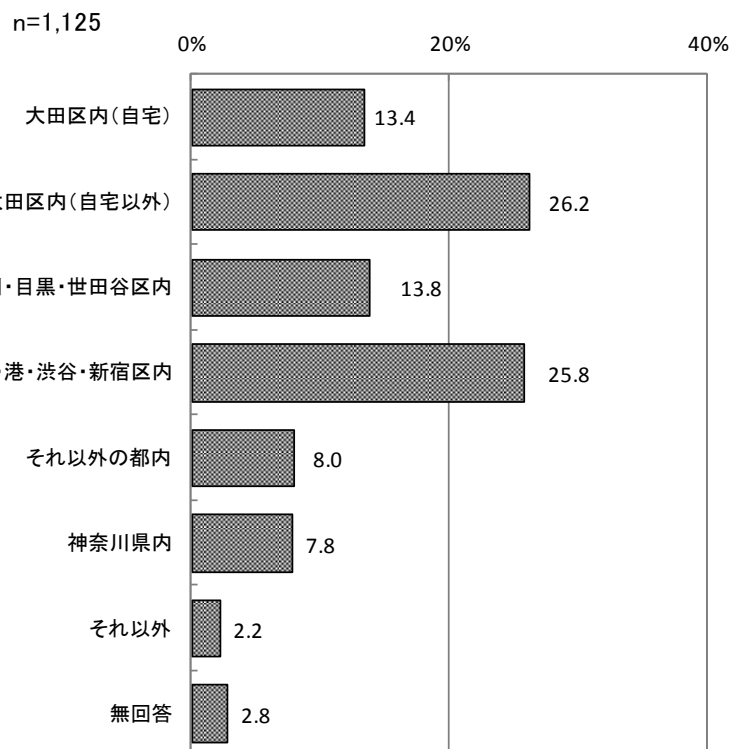
【家族構成】



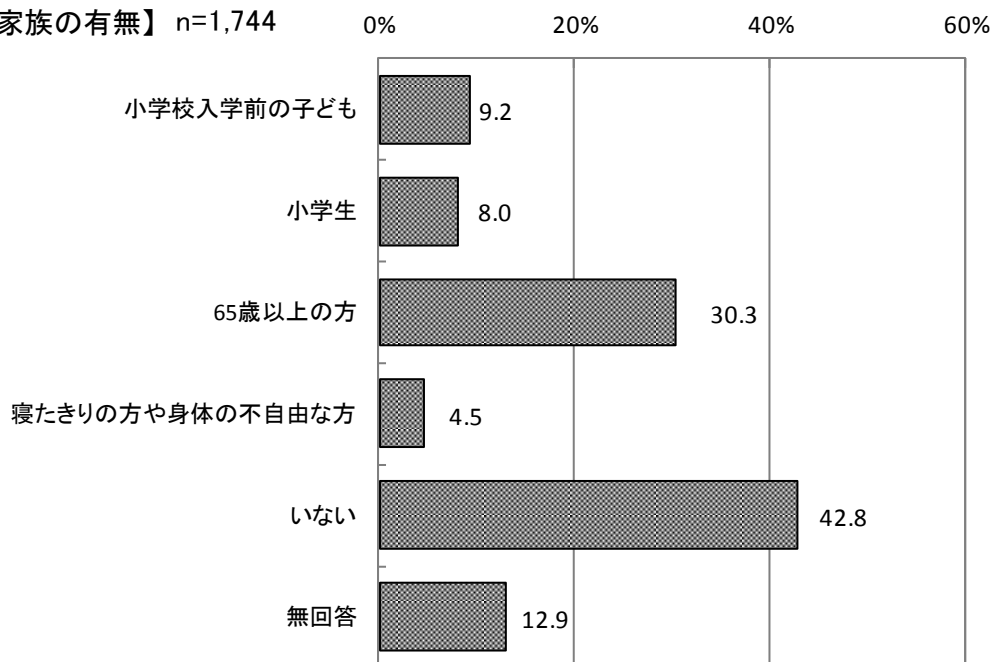
【ご職業】



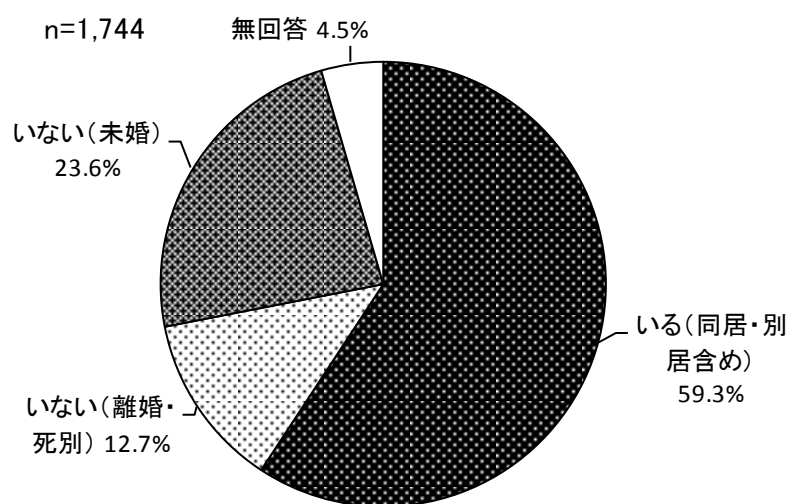
【主な通勤・通学先】



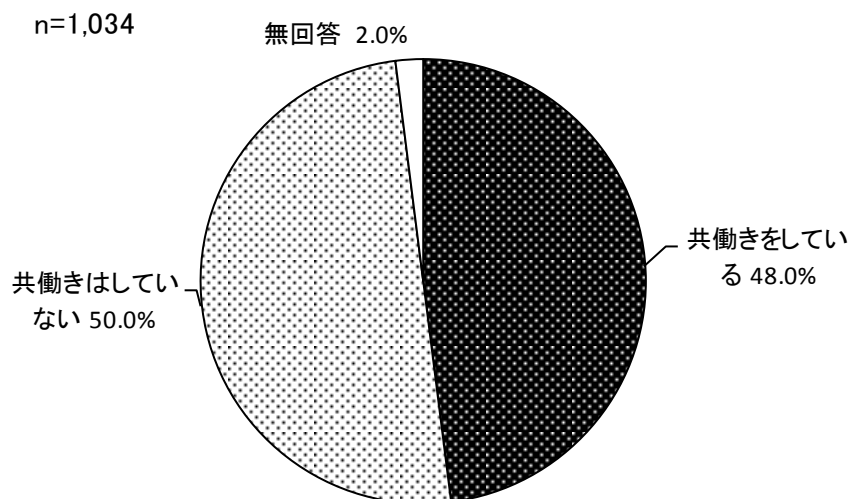
【以下の同居家族の有無】 n=1,744



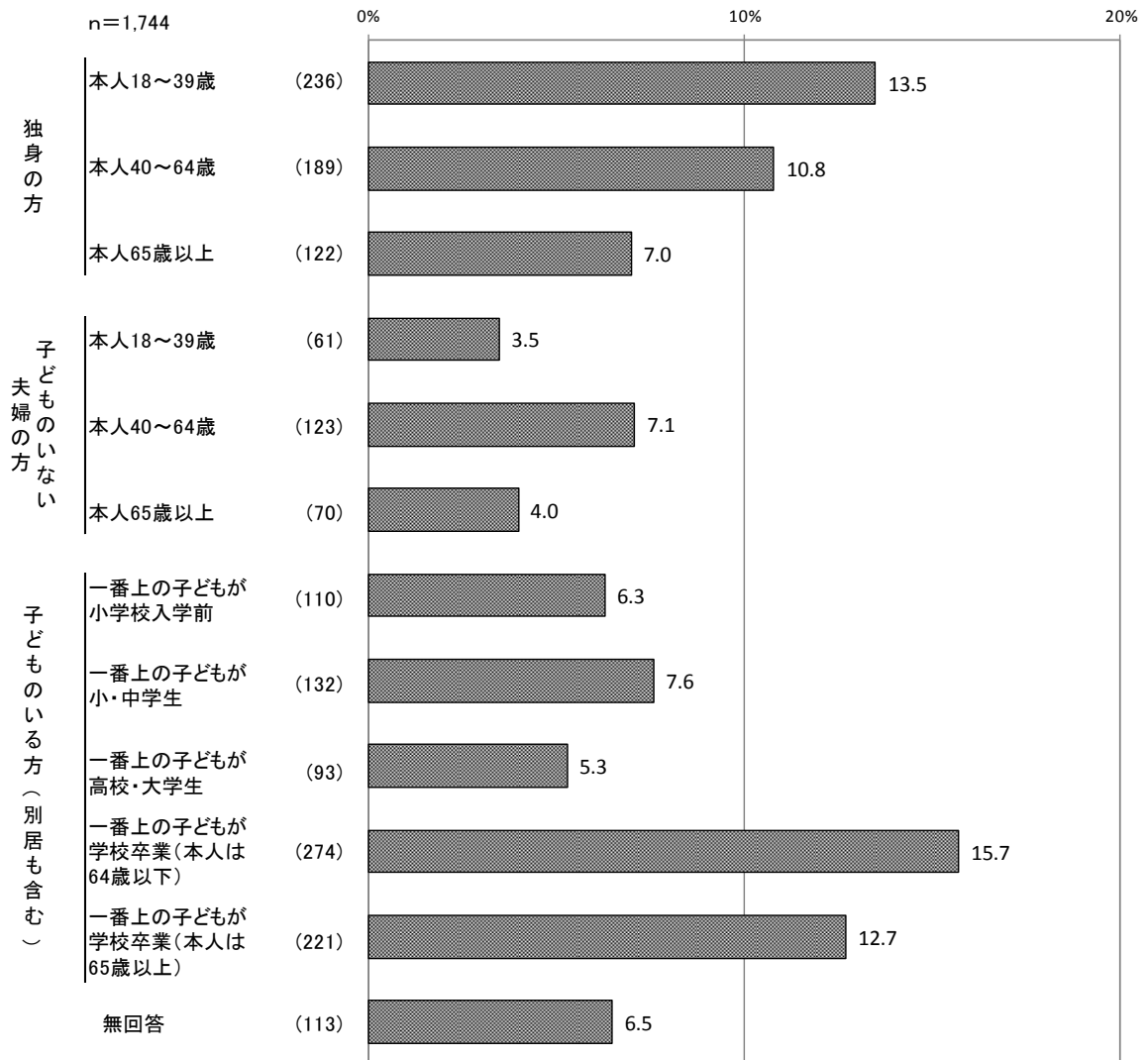
【配偶者の有無】



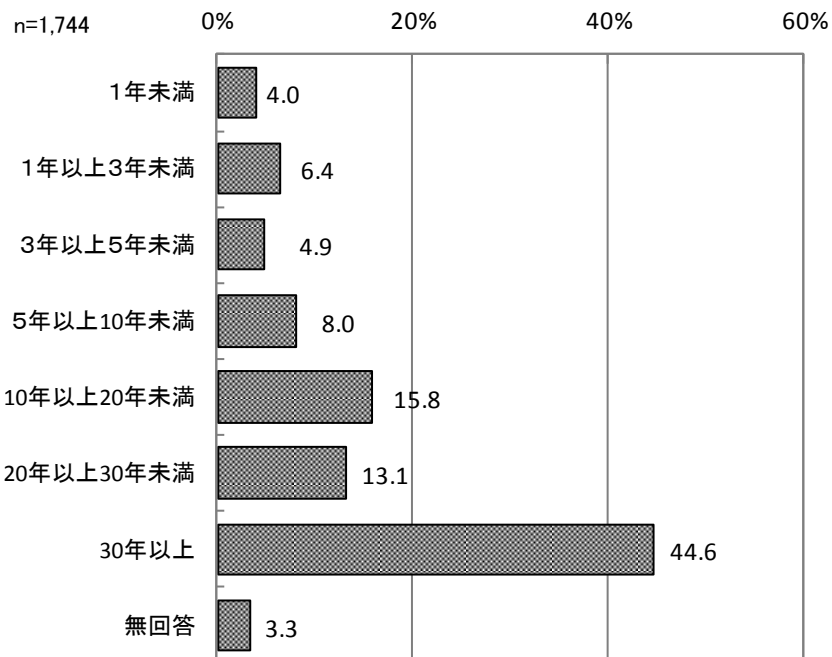
【(配偶者のいる方) 共働きについて】



【ご自身のステージ】



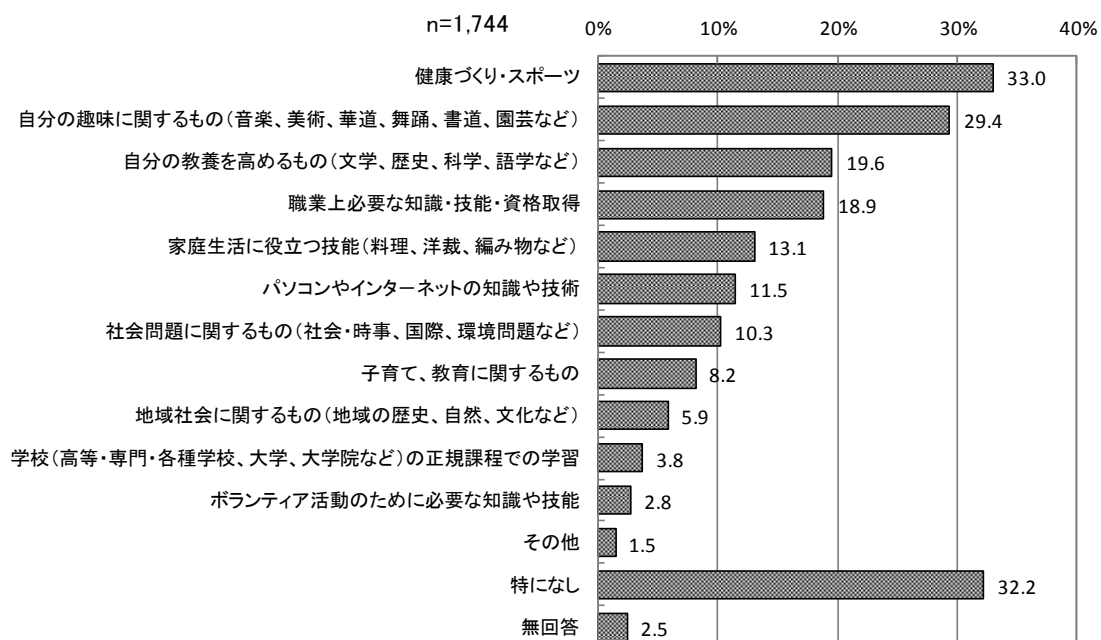
【お住まいの期間】



(2) 生涯学習について

・最近1年間の生涯学習

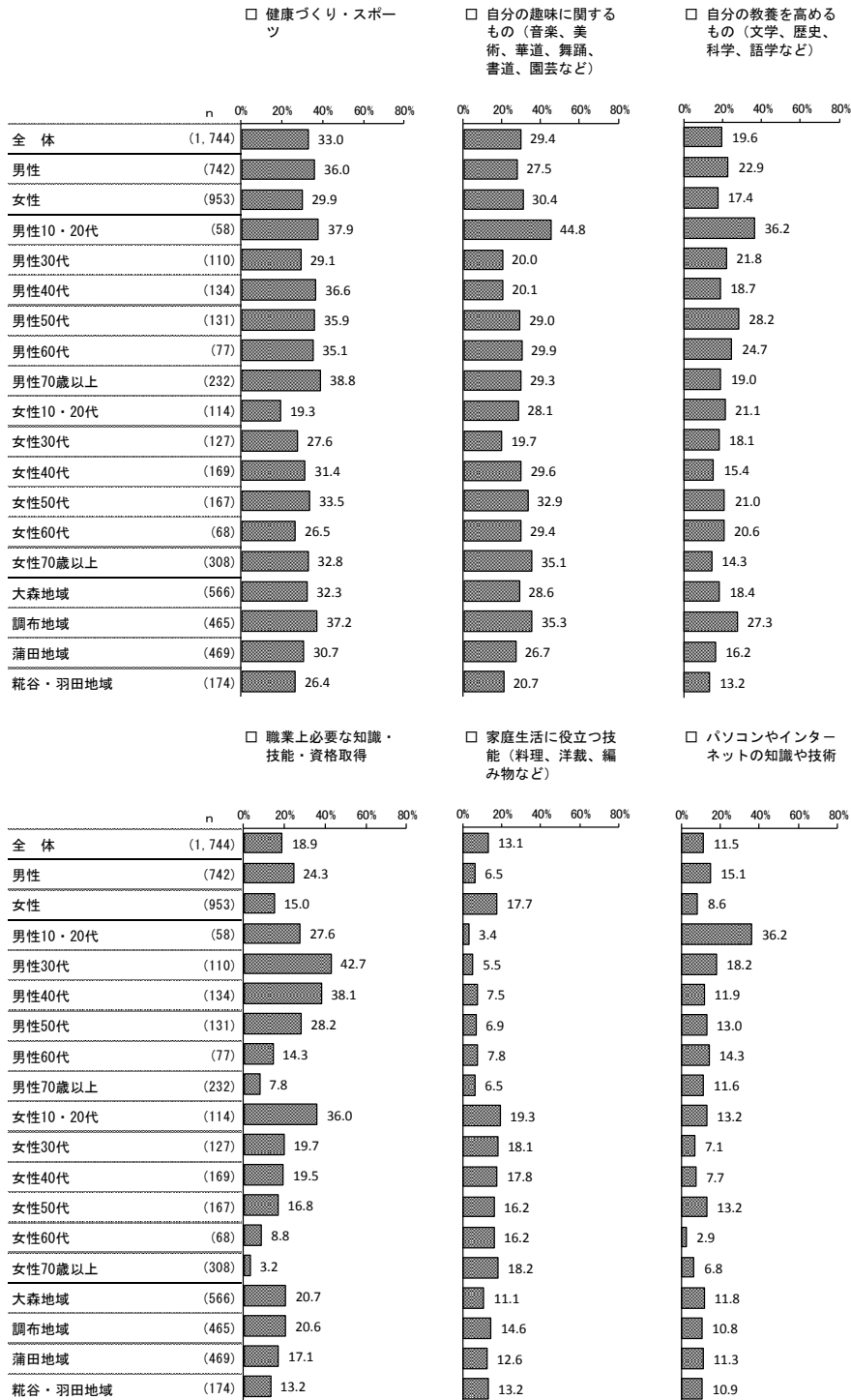
問1 あなたは最近1年間にどのような生涯学習を行いましたか。(〇はいくつでも)



最近1年間の生涯学習について聞いたところ、「健康づくり・スポーツ」が33.0%で最も高く、次いで「自分の趣味に関するもの(音楽、美術、華道、舞踊、書道、園芸など)」(29.4%)、「自分の教養を高めるもの(文学、歴史、科学、語学など)」(19.6%)、「職業上必要な知識・技能・資格取得」(18.9%)となっている。

一方で、「特になし」は32.2%となっている。

【最近1年間の生涯学習】
 (性別・性/年代別・地域別 上位6項目)

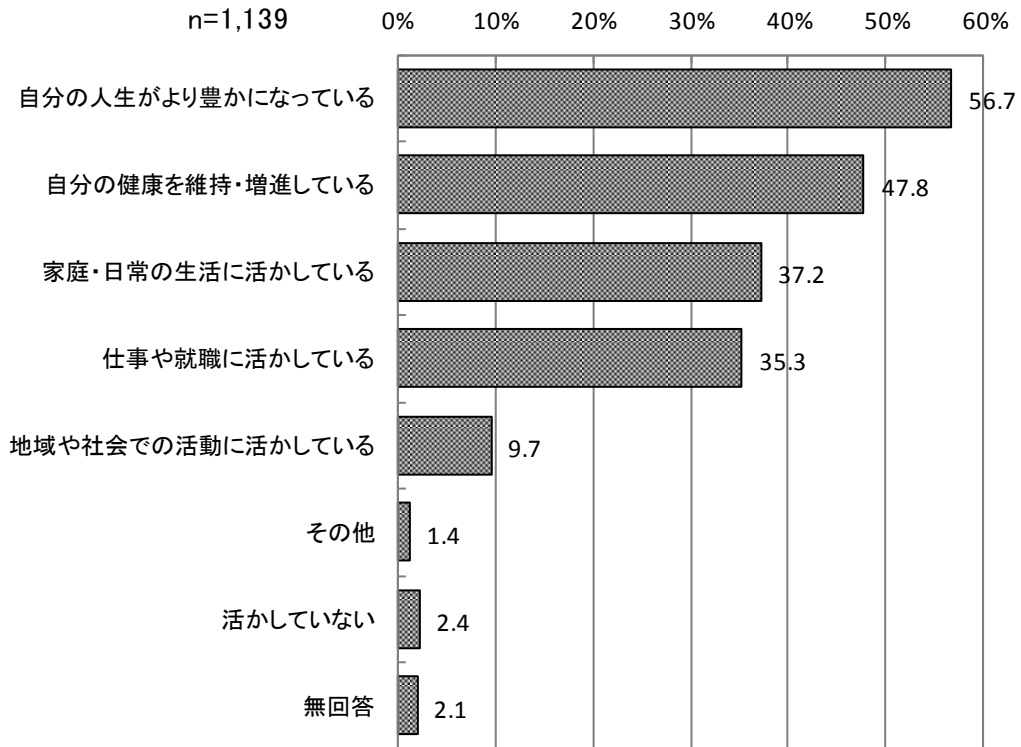


性別にみると、「健康づくり・スポーツ」、「自分の教養を高めるもの（文学、歴史、科学、語学など）」、「職業上必要な知識・技能・資格取得」、「パソコンやインターネットの知識や技術」では『男性』が『女性』より高くなっている。

・生涯学習で身に付けた知識・技能・経験を活かしているか

【問1で「1」～「12」と回答された方】

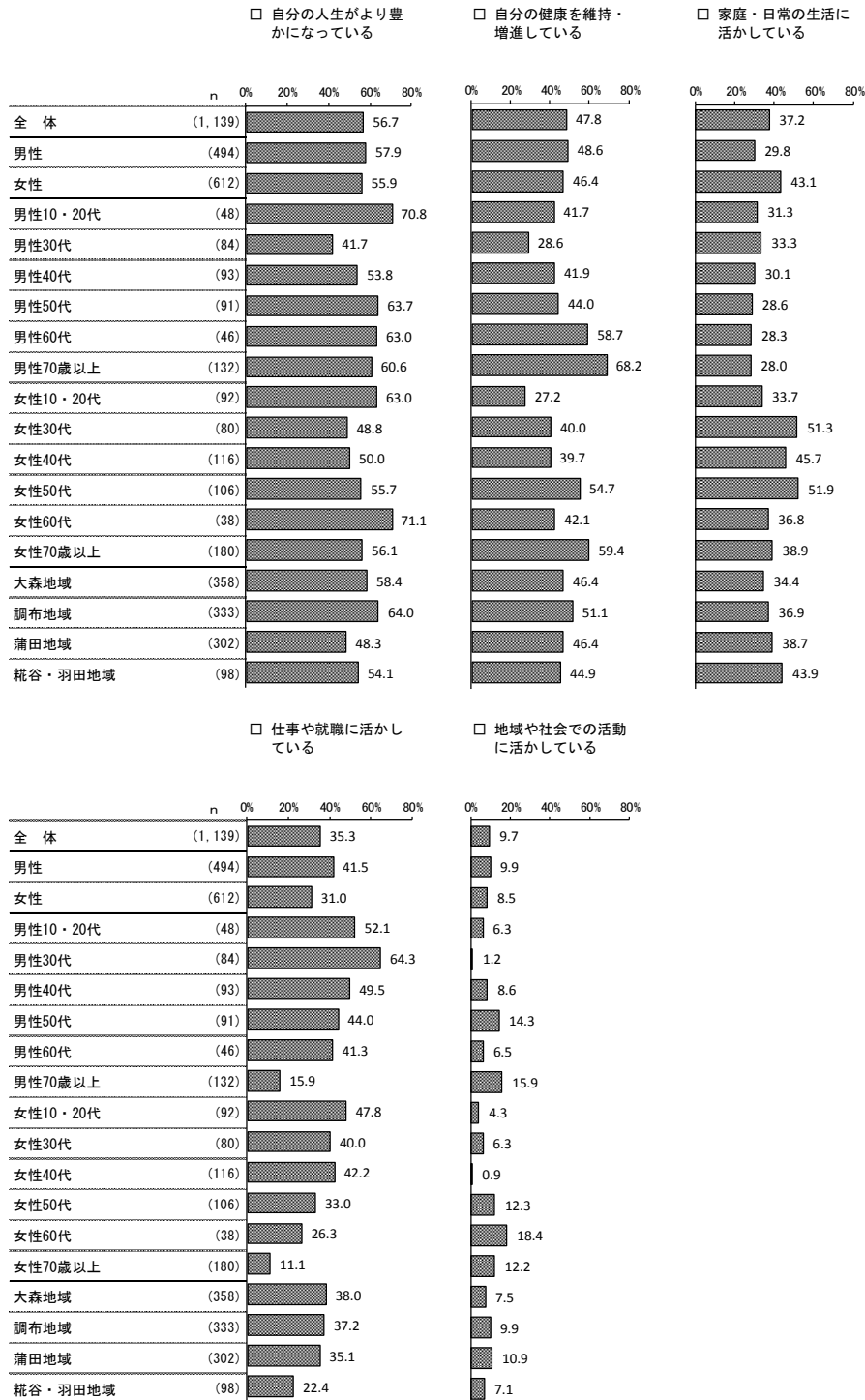
問1-1 あなたは生涯学習を通じて身に付けた知識・技能・経験をどのように活かしていますか。
(〇はいくつでも)



最近1年間で生涯学習を行った方の中で身に付けた知識・技能・経験について聞いたところ、「自分の人生がより豊かになっている」が56.7%で最も高く、次いで「自分の健康を維持・増進している」(47.8%)、「家庭・日常の生活に活かしている」(37.2%)、「仕事や就職に活かしている」(35.3%)となっている。

【生涯学習で身に付けた知識・技能・経験を活かしているか】

(性別・性/年代別・地域別 上位5項目)

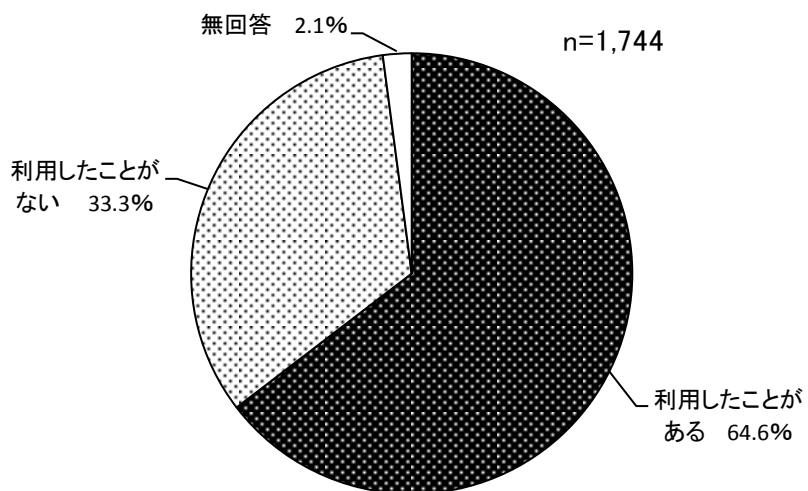


性別にみると、「自分の人生がより豊かになっている」では男性女性で大きな差はみられないが、「家庭・日常生活に活かしている」では『女性』(43.1%)が『男性』(29.8%)より13.3ポイント高く、「仕事や就職に活かしている」では『男性』(41.5%)が『女性』(31.0%)より10.5ポイント高くなっている。

(3) 図書館の利用

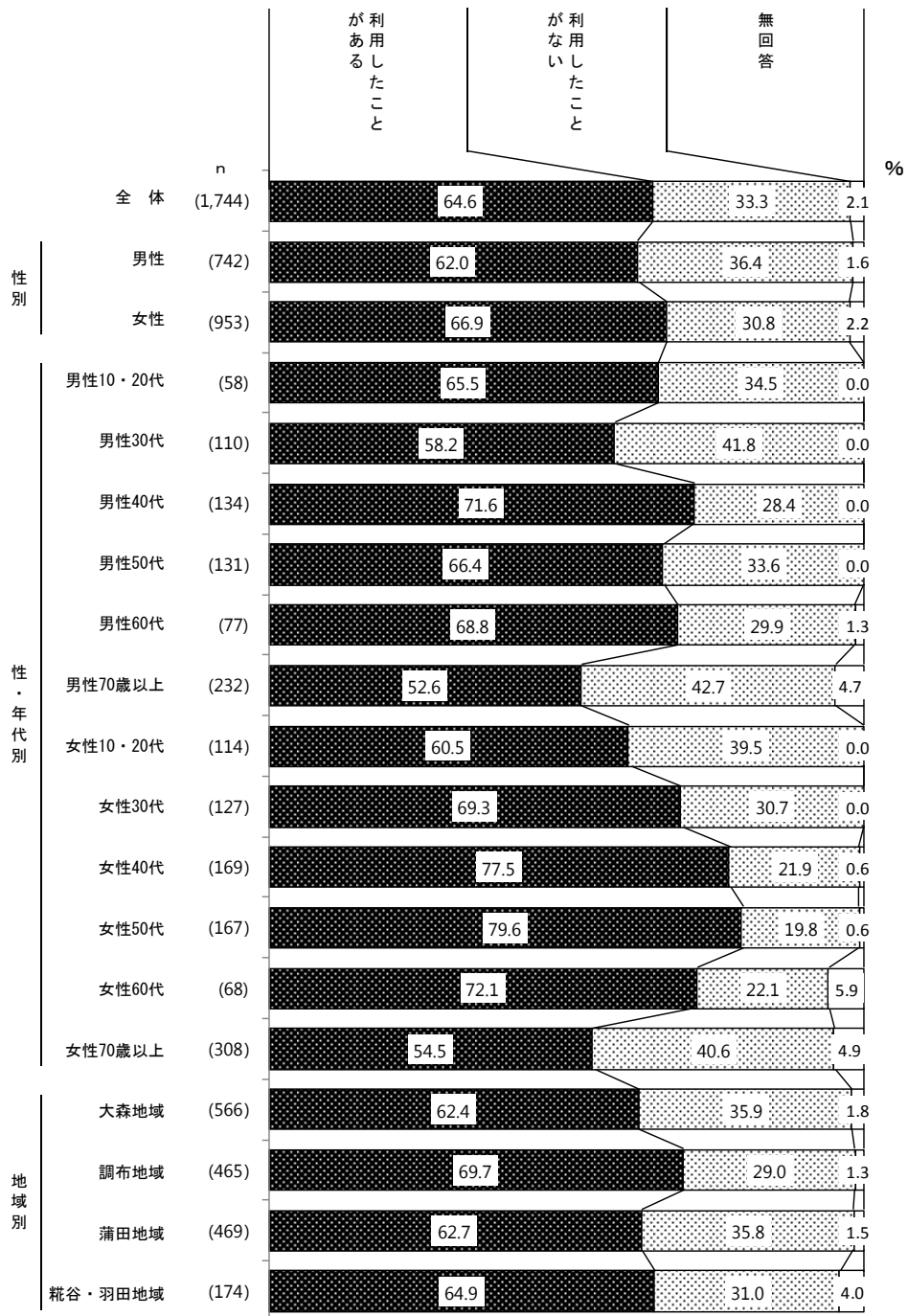
・区立図書館の利用の有無

問2 あなたは区立図書館を利用したことがありますか。(○は1つ)



区立図書館の利用の有無について聞いたところ、「利用したことがある」は64.6%、「利用したことがない」は33.3%となっている。

【区立図書館の利用の有無】
 (性別・性/年代別・地域別)



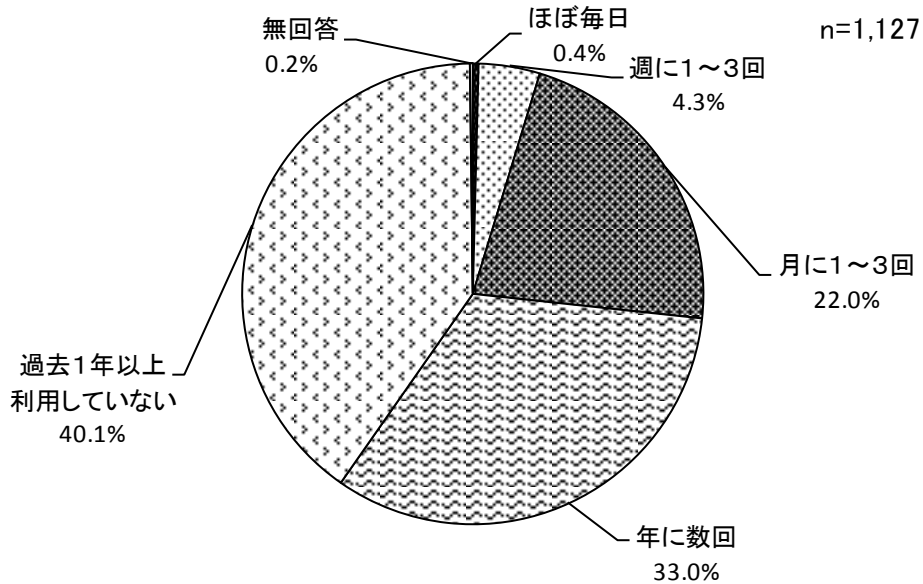
性別にみると、「利用したことがある」では『女性』(66.9%)が『男性』(62.0%)より4.9ポイント高くなっている。

性/年代別にみると、「利用したことがある」では『男性40代』、『女性40～60代』で7割を超えており、地域別にみると、どの地域も6割台となっている。

・区立図書館の利用頻度

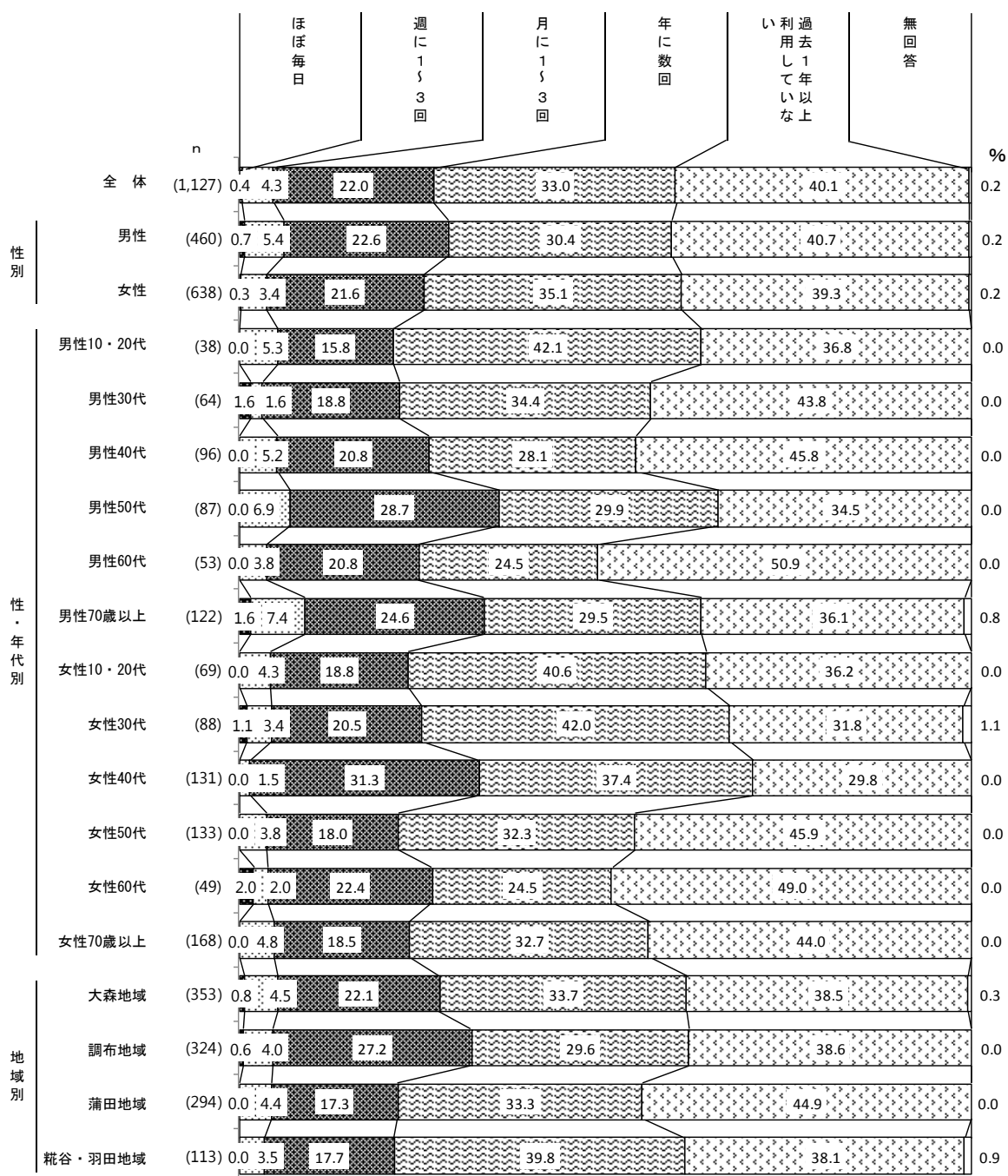
【問2で「1. 利用したことがある」と回答された方】

問2-1 あなたはどのくらいの頻度で区立図書館を利用していますか。(○は1つ)



区立図書館を利用したことのある方の中で利用頻度を聞いたところ、「過去1年以上利用していない」が40.1%で最も高く、次いで「年に数回」(33.0%)、「月に1~3回」(22.0%)となっている。「ほぼ毎日」(0.4%)、「週に1~3回」(4.3%)、「月に1~3回」(22.0%)を合計した《日常的に利用している》方の割合は26.7%となっている。

【区立図書館の利用頻度】
 (性別・性/年代別・地域別)

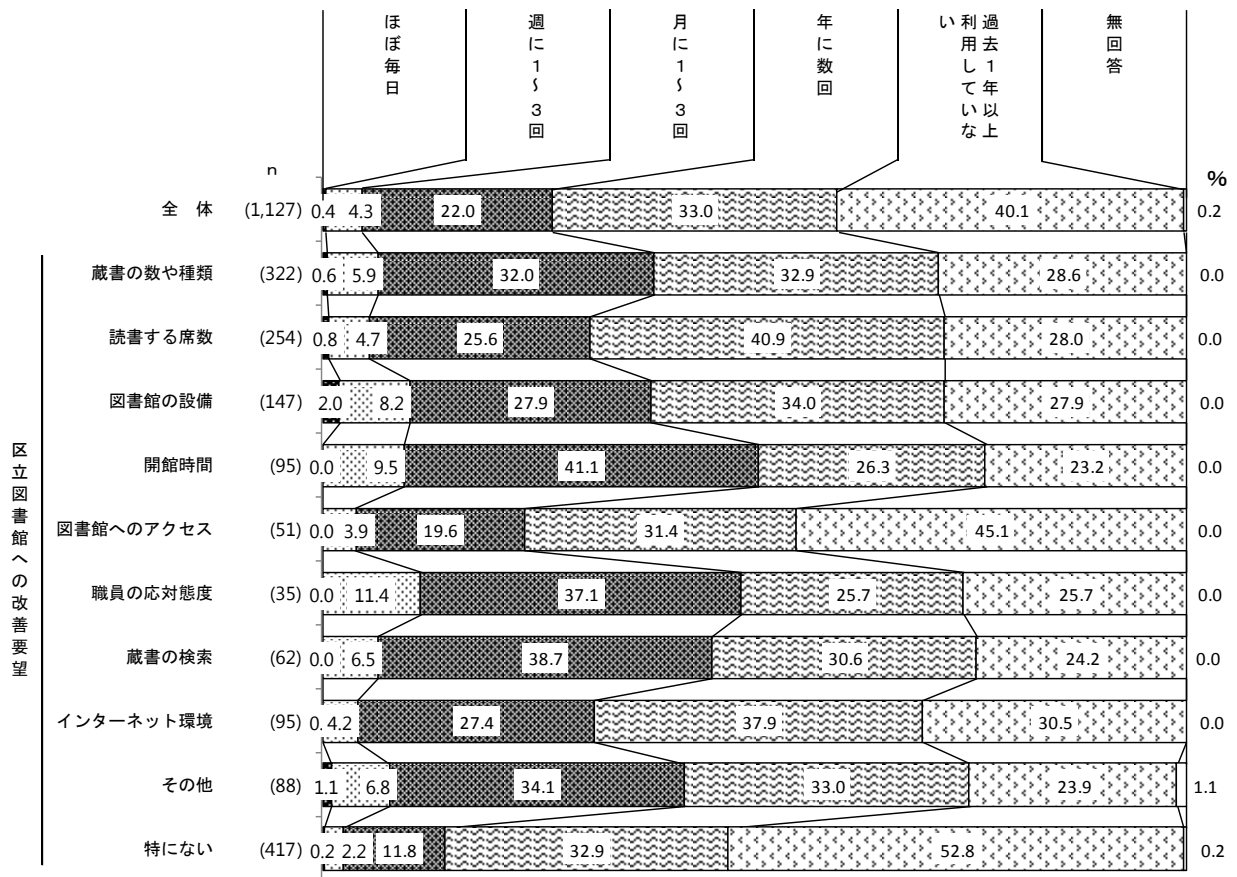


性別にみると、「日常的に利用している（「ほぼ毎日」＋「週に1～3回」＋「月に1～3回」の合計）」では『男性』（28.7%）が『女性』（25.3%）より3.4ポイント高くなっている。

性/年代別にみると、「日常的に利用している」では『男性50代』『男性70歳以上』『女性40代』で3割以上となっている。

・問2-1と問2-2

『区立図書館の利用頻度』 × 『区立図書館への改善要望』

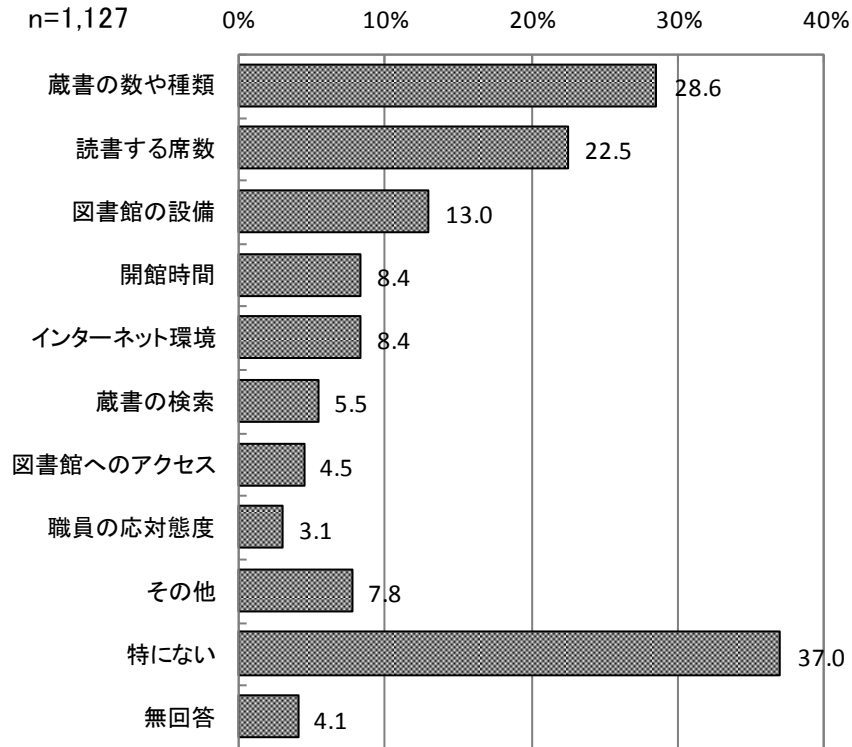


区立図書館を《日常的に利用している（「ほぼ毎日」＋「週に1～3回」＋「月に1～3回」の合計）》人を、区立図書館への改善要望別にみると『開館時間』が50.6%と最も高く、次いで『職員の対応態度』（48.5%）、『蔵書の検索』（45.2%）となっている。

・区立図書館への要望

【問2で「1. 利用したことがある」と回答された方】

問2-2 区立図書館に対し、改善してほしいことはありますか。(〇はいくつでも)

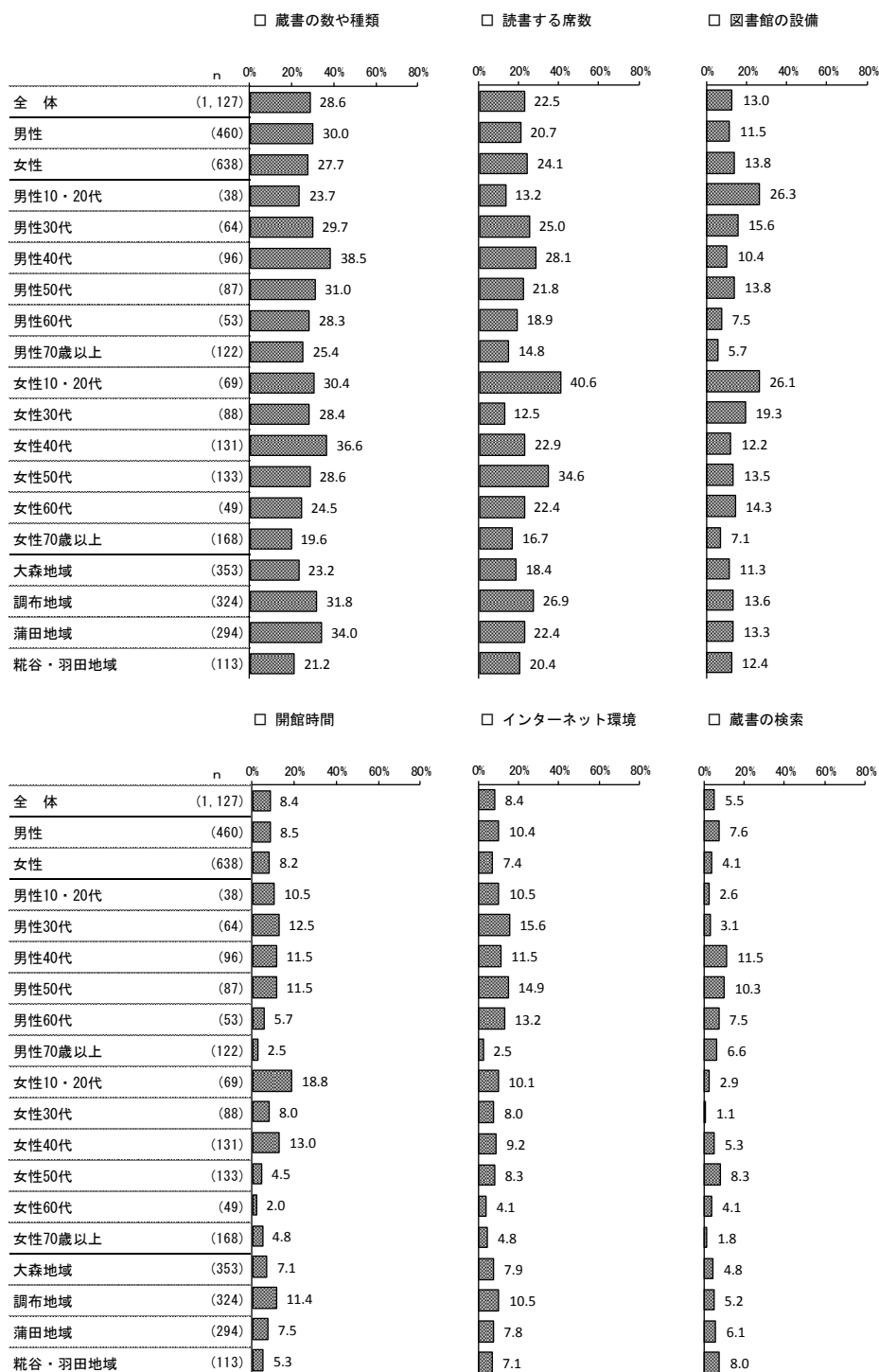


区立図書館を利用したことがある方の中で改善してほしい点を聞いたところ、「蔵書の数や種類」が28.6%で最も高く、次いで「読書する席数」(22.5%)、「図書館の設備」(13.0%)となっている。

一方で、「特にない」は37.0%となっている。

「その他」では、『新刊本が少ない』、『音楽CDや映画のDVDを増やして欲しい』などが回答されている。

【区立図書館への要望】
 (性別・性/年代別・地域別 上位6項目)

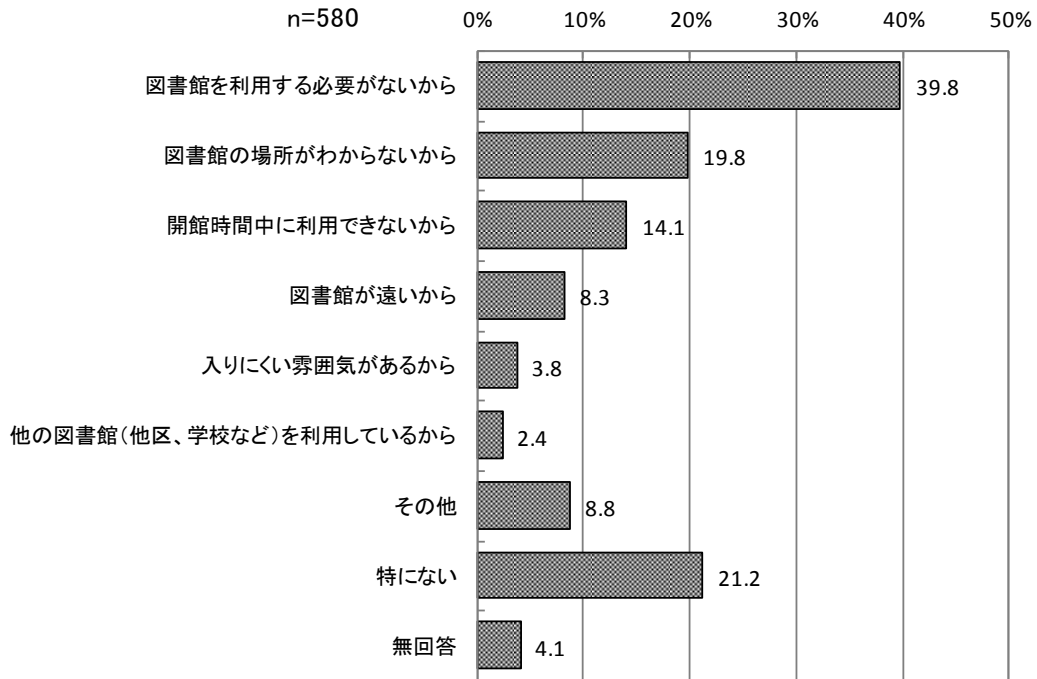


性/年代別にみると、「蔵書の数や種類」では男女とも40代が3割台半ばを超えている。
 地域別にみると、「図書館の設備」ではどの地域も1割台となっている。

・区立図書館を利用しない理由

【問2で「2. 利用したことがない」と回答された方】

問2-3 区立図書館を利用しない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

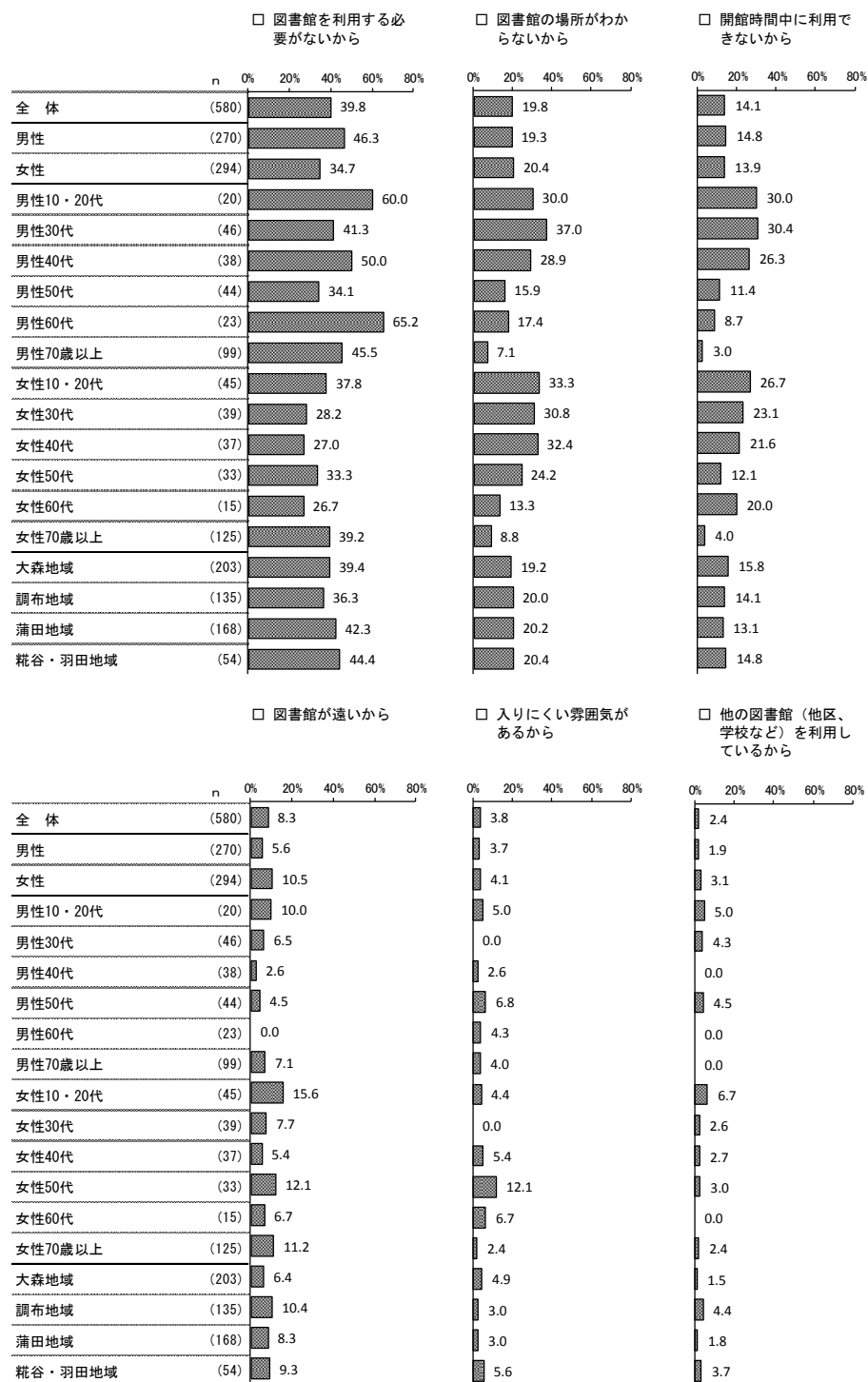


区立図書館を利用したことがない方の中で図書館を利用しない理由を聞いたところ、「図書館を利用する必要がないから」が39.8%で最も高く、次いで「図書館の場所がわからないから」(19.8%)、「開館時間中に利用できないから」(14.1%)となっている。

一方で、「特にない」は21.2%となっている。

「その他」では、『読みたい本は自分で買う』、『駐車場がない』、『読書をあまりしない』などが回答されている。

【区立図書館を利用しない理由】 (性別・性/年代別・地域別 上位6項目)



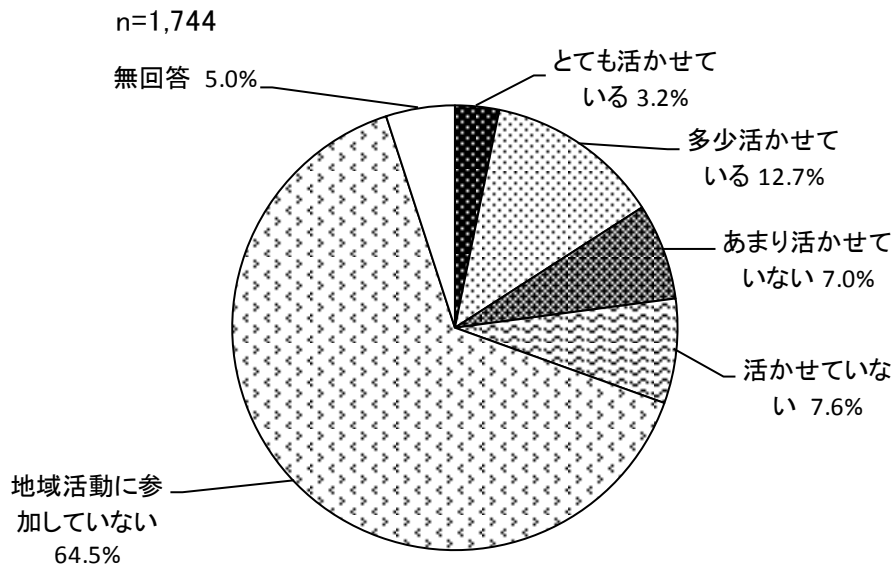
性別にみると、「図書館を利用する必要がないから」では『男性』(46.3%)が『女性』(34.7%)より11.6ポイント高くなっている。

性/年代別にみると、「図書館を利用する必要はないから」では『男性10・20代』(60.0%)と『男性60代』(65.2%)で6割以上となっている。

(4) 地域活動

・自分の知識や経験は活かしているか

問3 あなたが参加している地域活動で、自身の知識や経験を活かしていると感じていますか。
(○は1つ)

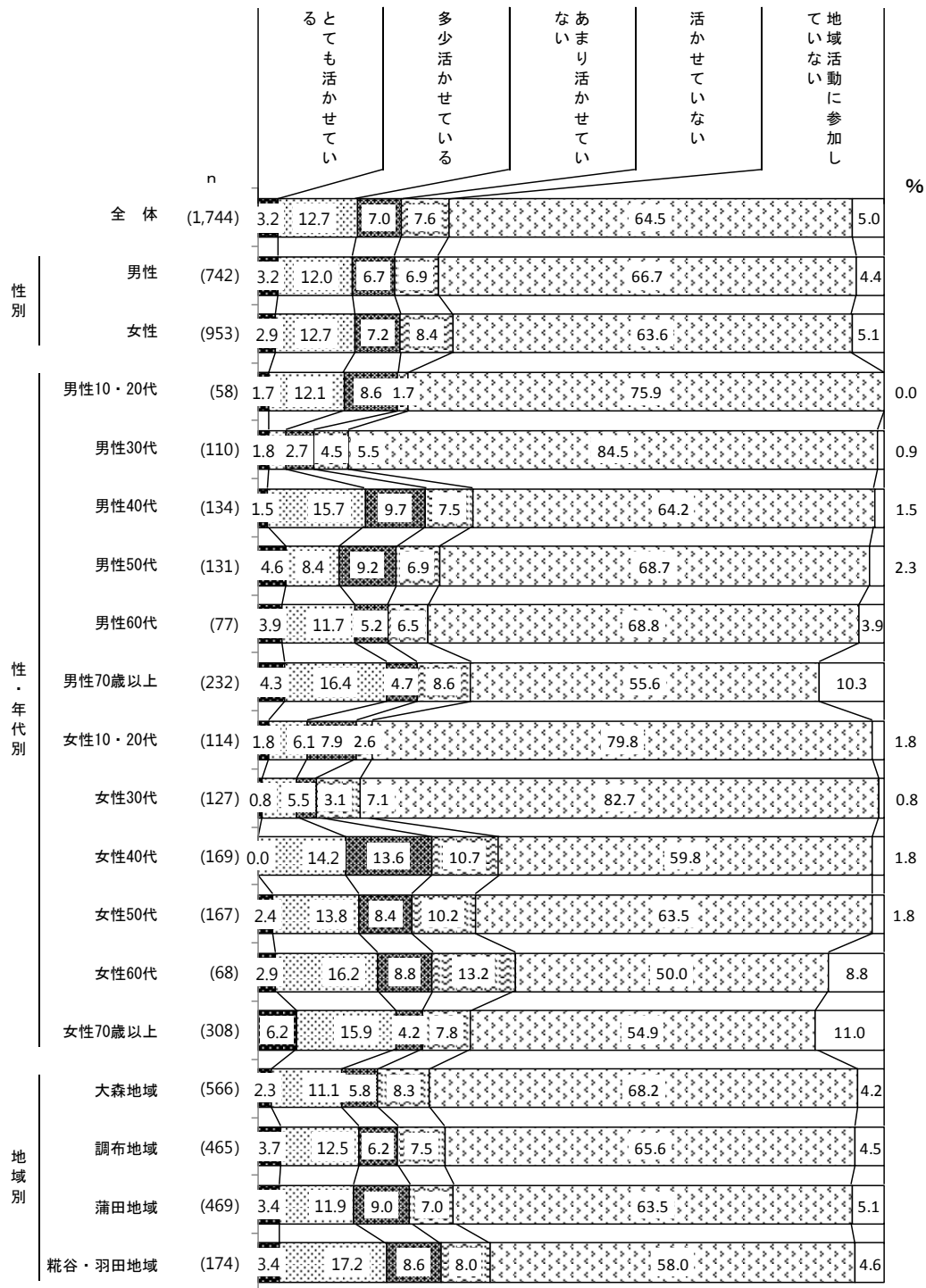


参加している地域活動で自身の知識や経験を活かしているか聞いたところ、「多少活かしている」が12.7%で最も高く、次いで「活かしていない」(7.6%)、「あまり活かしていない」(7.0%)、「とても活かしている」(3.2%)となっており、「とても活かしている」と「多少活かしている」を合計した《活かしている》方の割合は15.9%となっている。

一方で、「地域活動に参加していない」は64.5%となっている。

【自分の知識や経験は活かしているか】

(性別・性/年代別・地域別)

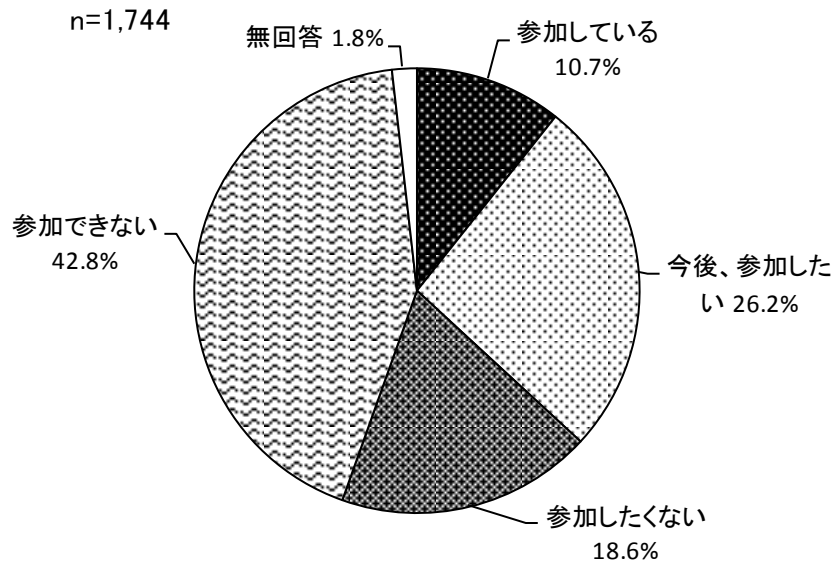


性別にみると、男女ともにあまり差はみられない。

性/年代別にみると、《活かしている》(「とても活かしている」 + 「多少活かしている」の合計)では男女とも70歳以上で2割を超えている。

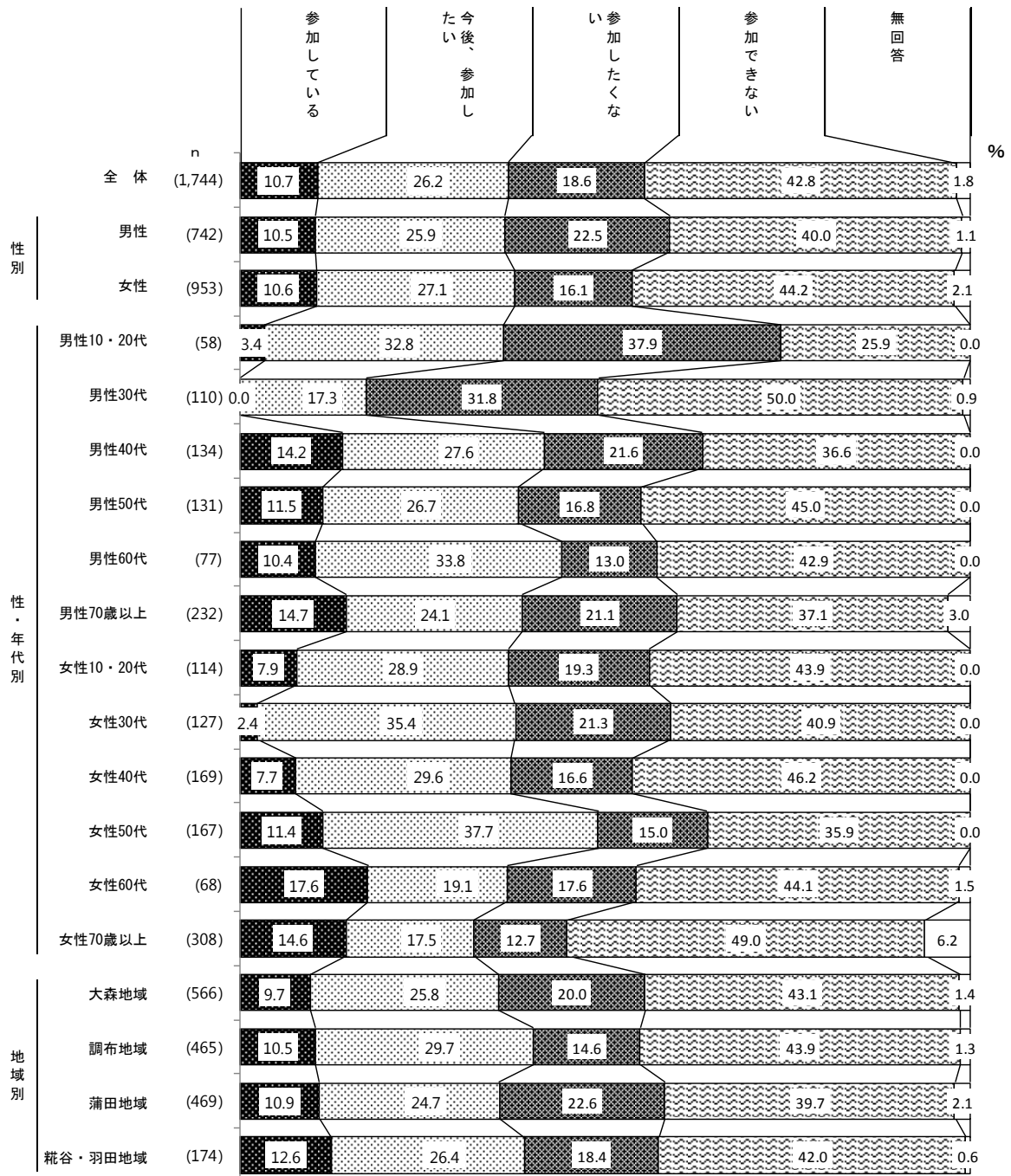
・ボランティア活動への参加について

問4 あなたはボランティア活動など地域や地域の人を支える活動に参加していますか。(〇は1つ)



ボランティア活動や地域の人を支える活動の参加の有無について聞いたところ、「参加できない」が42.8%で最も高く、次いで「今後、参加したい」(26.2%)、「参加したくない」(18.6%)、「参加している」(10.7%)となっている。「参加している」と「今後、参加したい」を合計した《参加意向がある》方の割合は36.9%となっている

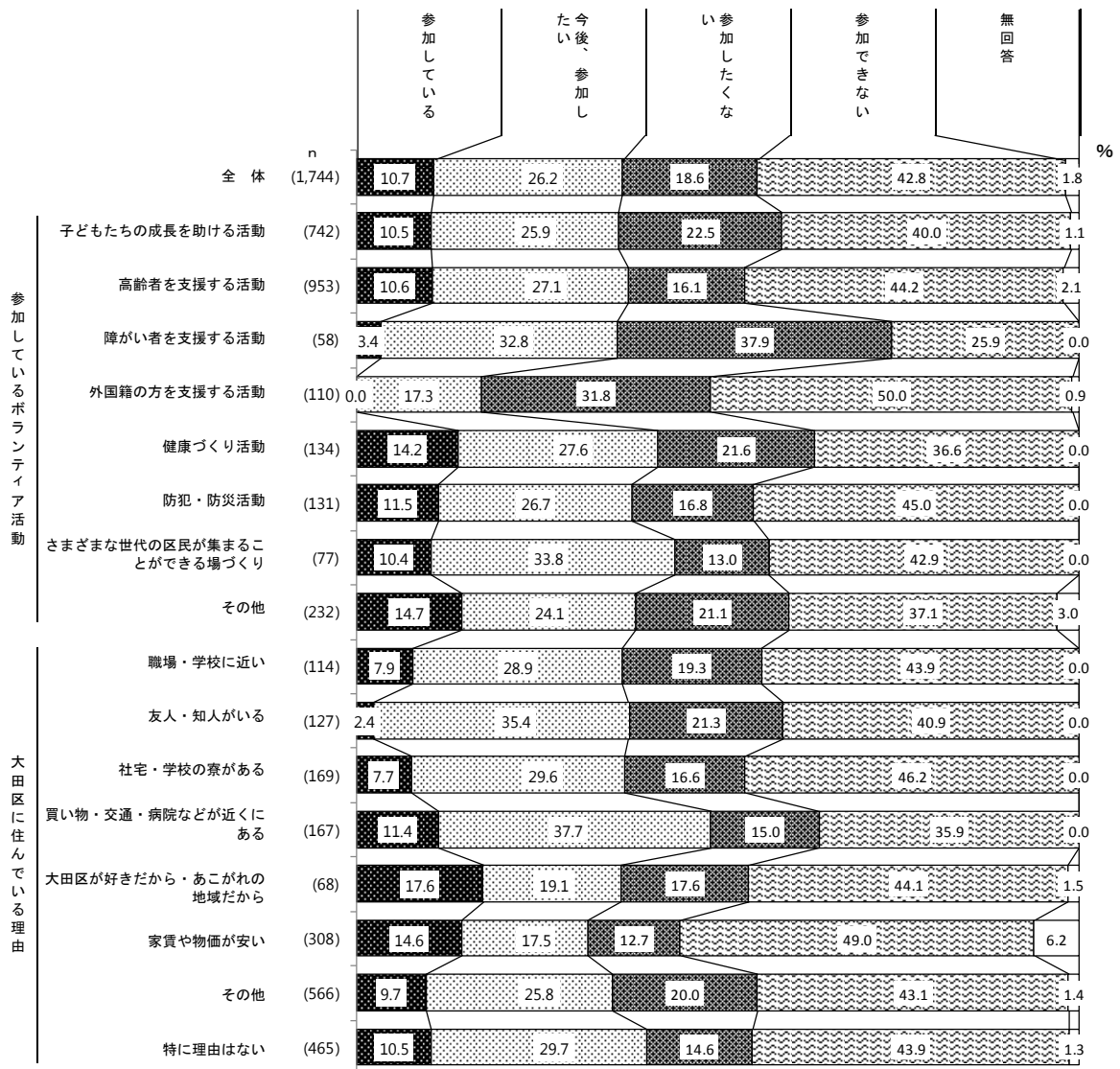
【ボランティア活動への参加について】
(性別・性/年代別・地域別)



性/年代別にみると、『男性10・20代』では「参加したくない」が37.9%で最も高くなっている。
「参加している」では『女性60代』が17.6%で最も高くなっている。

・問4と問4-1と問26

『地域活動への参加の有無』 × 『参加しているボランティア活動』、『大田区に住んでいる理由』

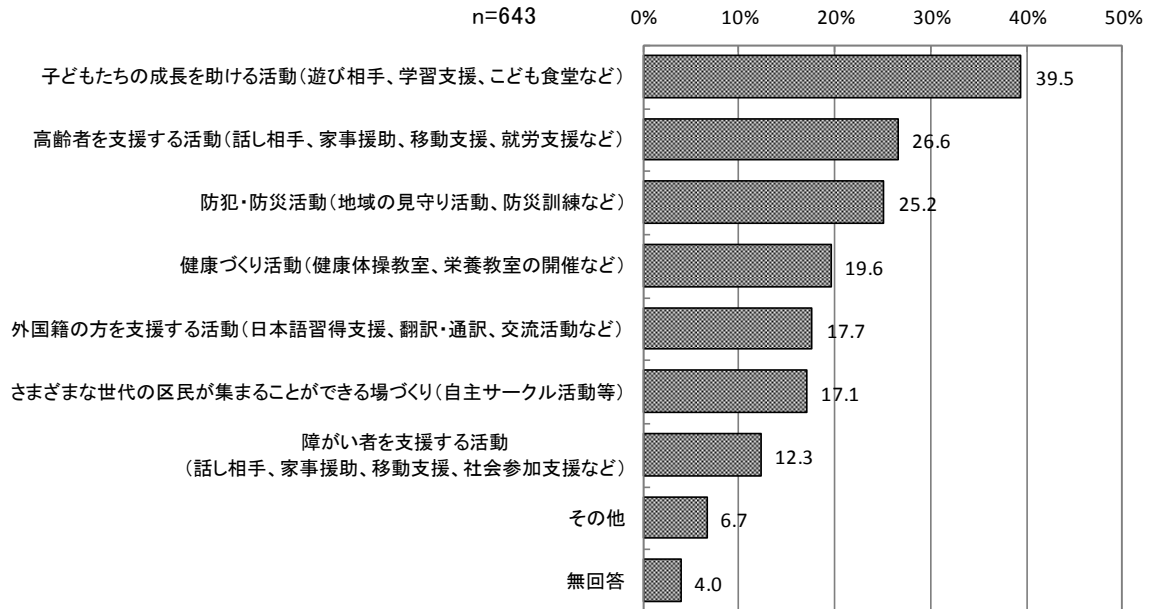


地域の活動に「参加している」人を、参加しているボランティア活動別にみると、その他を除くと『健康づくり活動』が14.2%で最も高くなっており、大田区に住んでいる理由別にみると『大田区が好きだから・あこがれの地域だから』が17.6%で最も高くなっている。

・参加した活動の内容

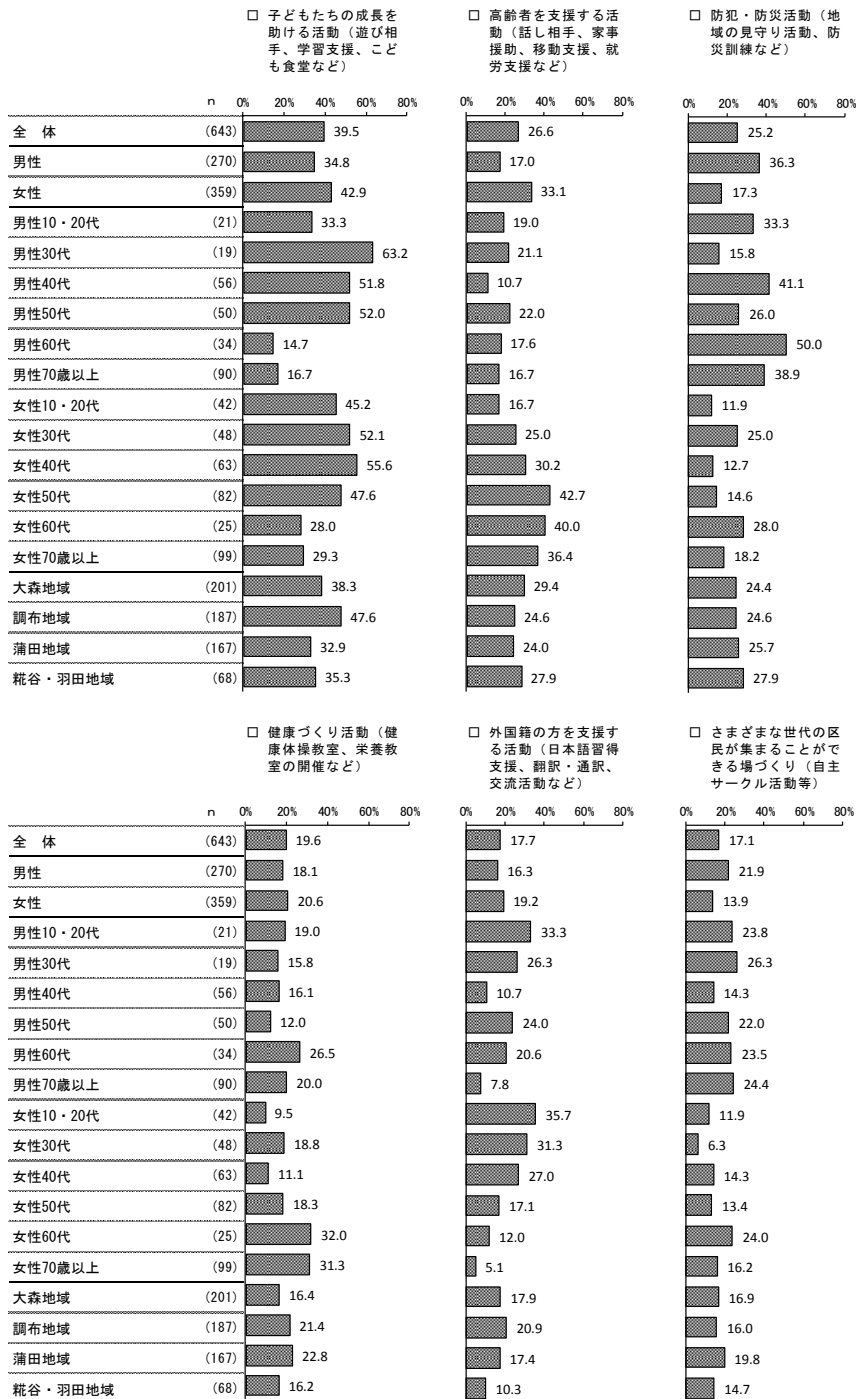
【問4で「1」または「2」と回答された方】

問4-1 どのような活動に参加されていますか（したいですか）。（〇はいくつでも）



ボランティア活動や地域の人を支える活動に参加意向のある方の中でどのような活動に参加している（したい）か聞いたところ、「子どもたちの成長を助ける活動（遊び相手、学習支援、こども食堂など）」が39.5%で最も高く、次いで「高齢者を支援する活動（話し相手、家事援助、移動支援、就労支援など）」（26.6%）、「防犯・防災活動（地域の見守り活動、防災訓練など）」（25.2%）となっている。

【参加した活動の内容】 (性別・性/年代別・地域別 上位6項目)



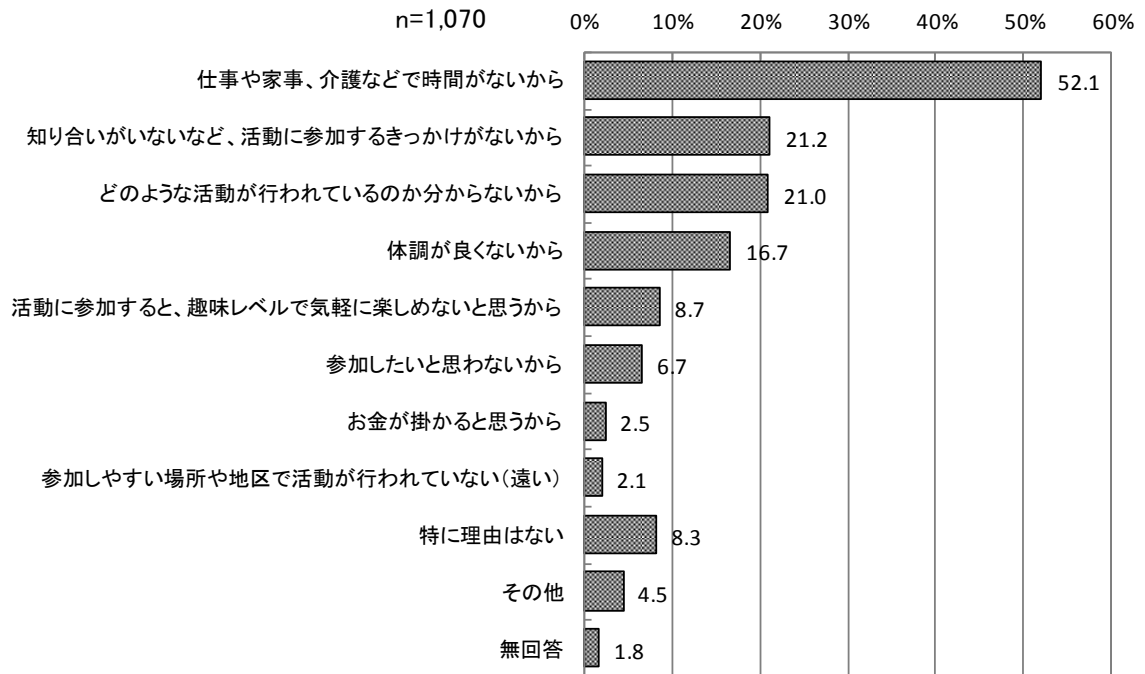
性別にみると、「子どもたちの成長を助ける活動（遊び相手、学習支援、こども食堂など）」、「高齢者を支援する活動（話し相手、家事援助、移動支援、就労支援など）」、「健康づくり活動（健康体操教室、栄養教室の開催など）」、「外国籍の方を支援する活動（日本語習得支援、翻訳・通訳、交流活動など）」では、『女性』が『男性』より高くなっている。

性/年代別にみると、「子どもたちの成長を助ける活動（遊び相手、学習支援、こども食堂など）」では『男性の30～50代』、『女性の30～40代』で半数を超えている。

・活動に参加しない理由

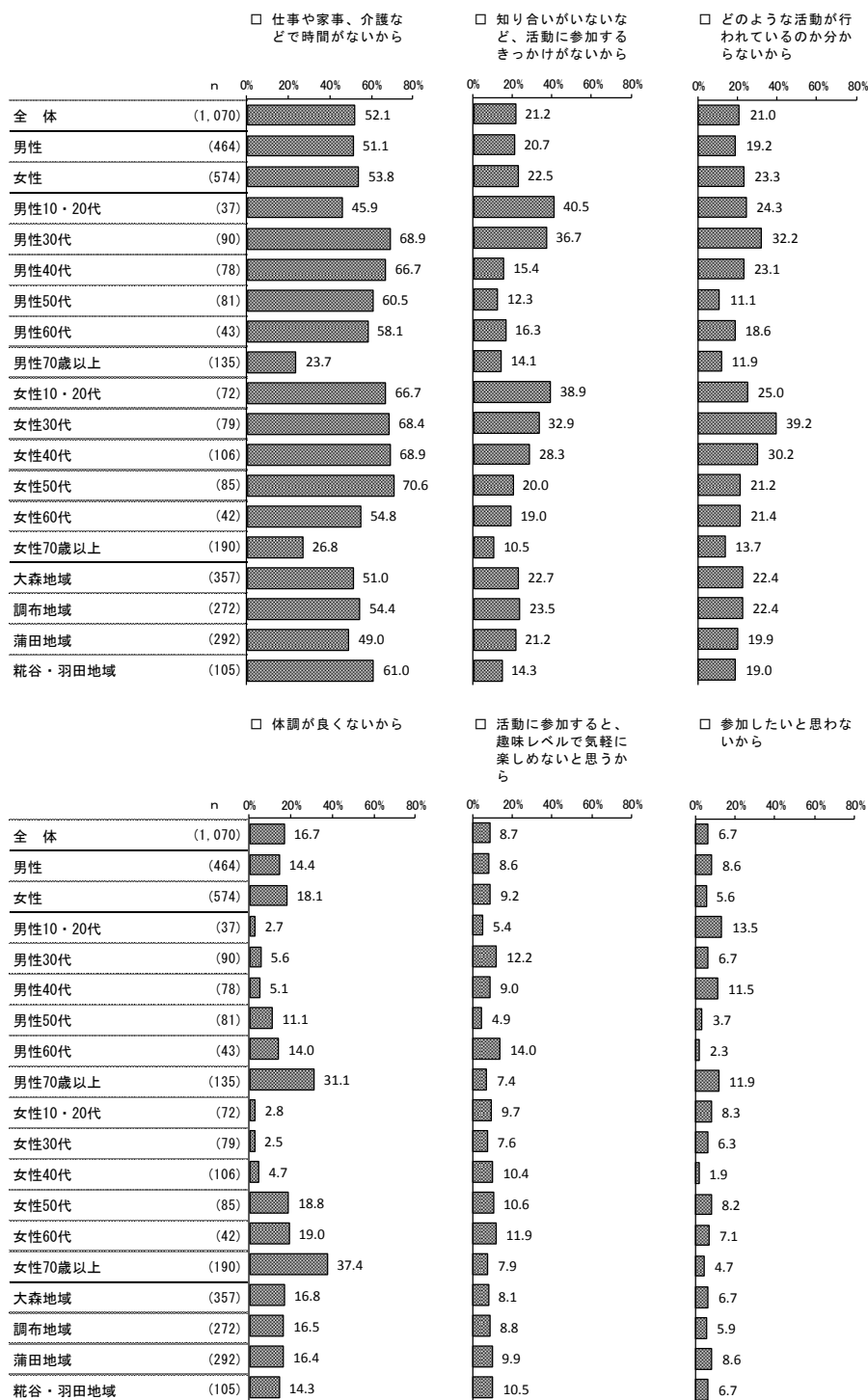
【問4で「3」または「4」と回答された方】

問4-2 活動に参加されていない（できない）理由は何ですか。（○はいくつでも）



ボランティア活動や地域の人を支える活動に参加意向のない方の中で活動に参加しない（できない）理由について聞いたところ、「仕事や家事、介護などで時間がないから」が52.1%で最も高く、次いで「知り合いがいないなど、活動に参加するきっかけがないから」（21.2%）、「どのような活動が行われているのか分からないから」（21.0%）となっている。

【活動に参加しない理由】 (性別・性/年代別・地域別 上位6項目)



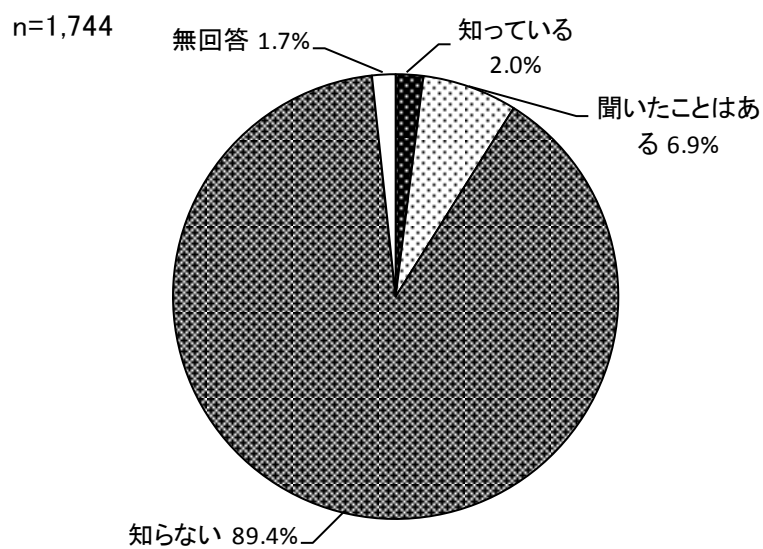
性別にみると、「仕事や家事、介護などで時間がないから」、「知り合いがいないなど、活動に参加するきっかけがないから」では、男女で大きな差は見られない。

性/年代別にみると、「仕事や家事、介護などで時間がないから」では、『男性の30～60代』、『女性の10・20～60代』で5割を超えて他の年代と比べて高くなっている。

(5)「オーちゃんネット」について

・オーちゃんネットの認知度

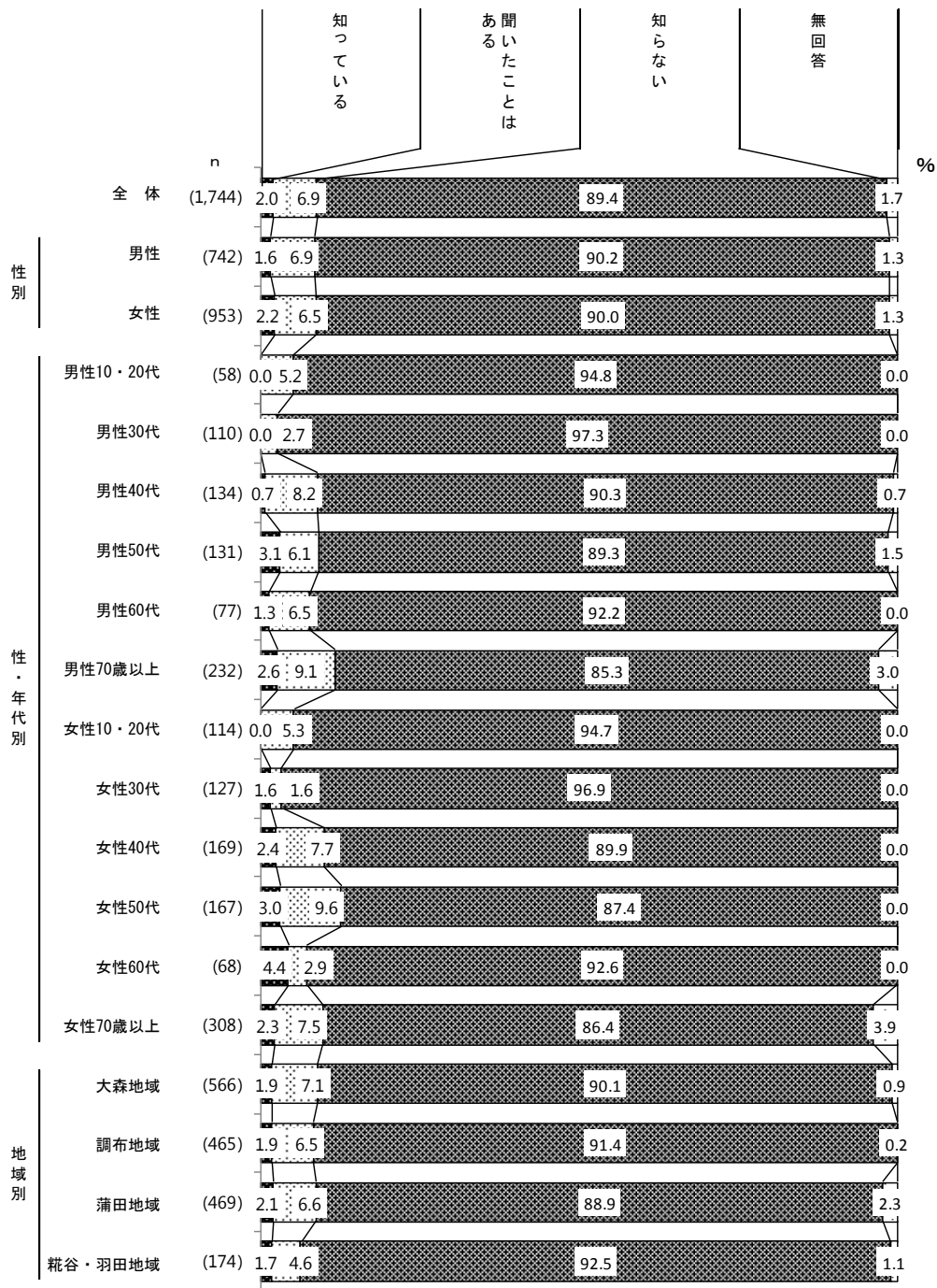
問5 イベントなどの地域活動の情報を発信する区民活動情報サイト「オーちゃんネット」を知っていますか。(〇は1つ)



「オーちゃんネット」の認知について聞いたところ、「知っている」が2.0%、「聞いたことはある」が6.9%、「知らない」が89.4%となっている。

【オーちゃんネットの認知度】

(性別・性/年代別・地域別)

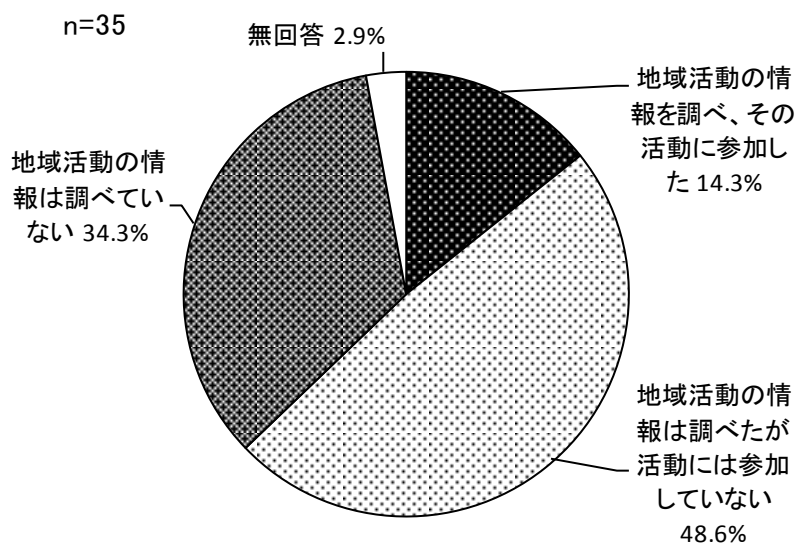


性別、性/年代別、地域別にみると、「知らない」が8割台半ば以上となっている。

・オーちゃんネットの利用度

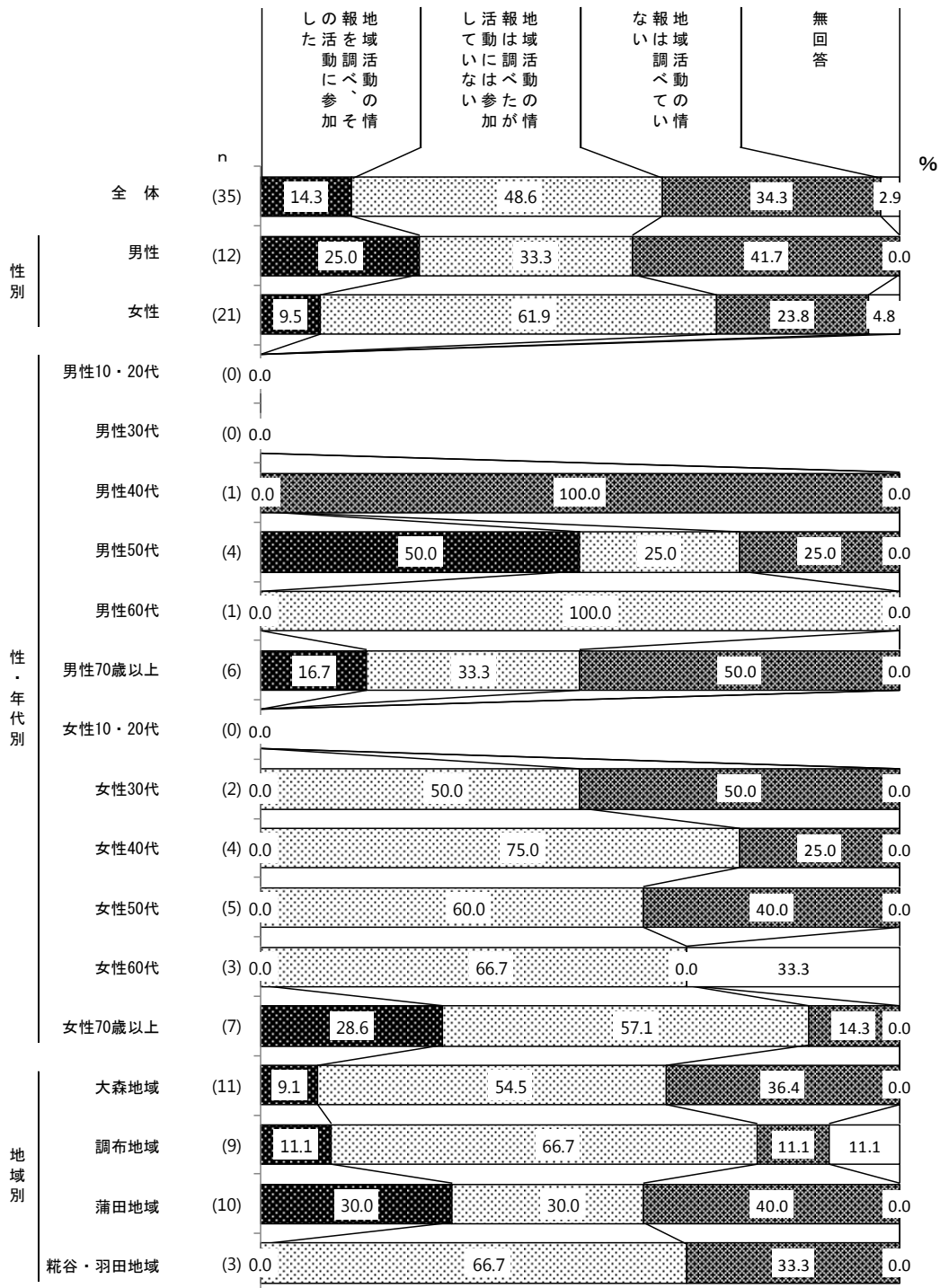
【問5で「1. 知っている」と回答された方】

問5-1 「オーちゃんネット」で大田区内のイベントなどの地域活動の情報を調べたことがありますか。(○は1つ)



「オーちゃんネット」を知っている方の中で「オーちゃんネット」で地域活動の情報を調べたか聞いたところ、「地域活動の情報を調べ、その活動に参加した」が14.3%、「地域活動の情報は調べたが活動には参加していない」が48.6%、「地域活動の情報は調べていない」が34.3%となっている。

【オーちゃんネットの利用度】
 (性別・性/年代別・地域別)

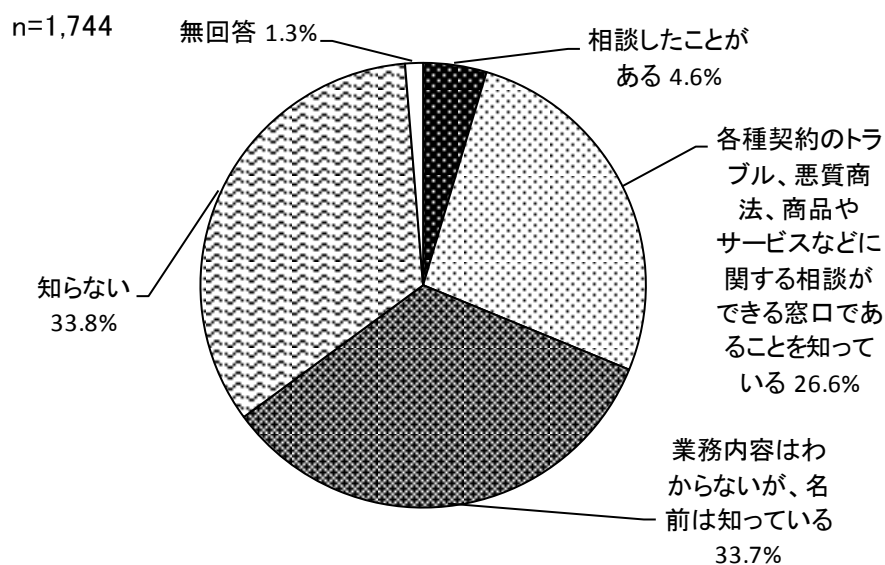


性別にみると、「地域活動の情報を調べ、その活動に参加した」では、『男性』(25.0%)が『女性』(9.5%)よりも15.5ポイント高くなっている。

(6) 大田区立消費者生活センター

・大田区立消費者生活センターの認知度

問6 あなたは大田区立消費者生活センターを知っていますか。(〇は1つ)

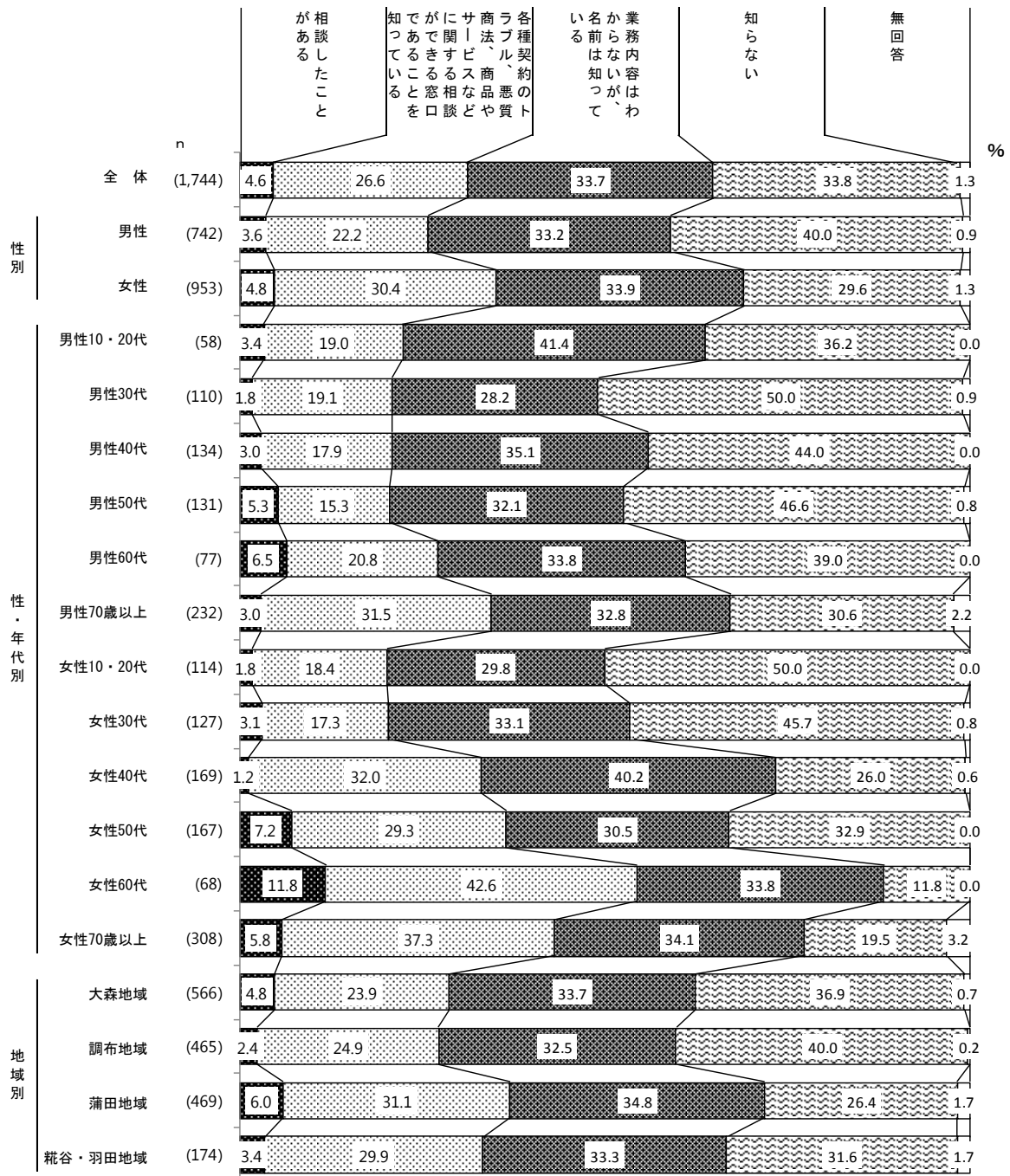


大田区立消費者生活センターの認知について聞いたところ、「相談したことがある」が4.6%、「各種契約のトラブル、悪質商法、商品やサービスなどに関する相談ができる窓口であることを知っている」が26.6%、「業務内容はわからないが、名前は知っている」が33.7%となっており、これらを合計した《認知している》方の割合は64.9%となっていた。

一方で、「知らない」は33.8%となっている。

【大田区立消費者生活センターの認知度】

(性別・性/年代別・地域別)

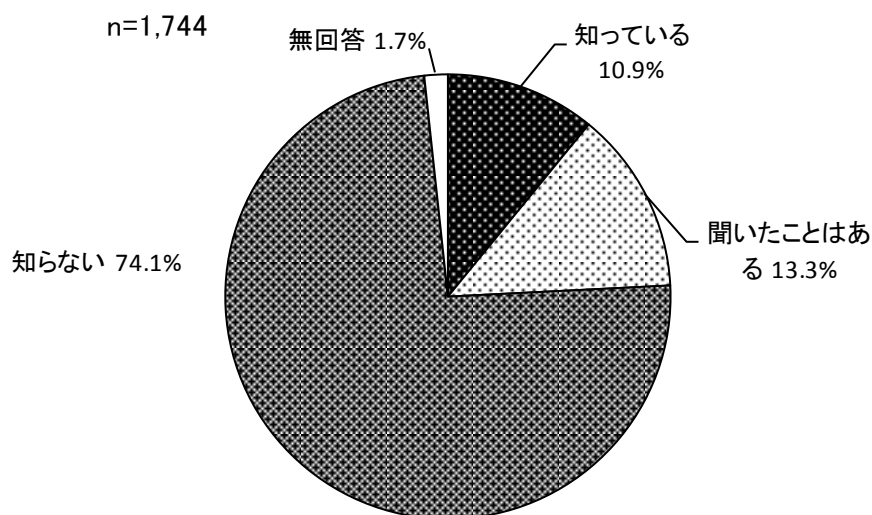


性別にみると、「各種契約のトラブル、悪質商法、商品やサービスなどに関する相談ができる窓口であることを知っている」では、『女性』(30.4%)が『男性』(22.2%)より8.2ポイント高くなっている。

(7) スポーツについて

・総合型地域スポーツクラブの認知度

問7 あなたは身近な地域で子どもから高齢者までそれぞれの志向やレベルに合わせてスポーツに参加できる「総合型地域スポーツクラブ」が区内にあることを知っていますか。(〇は1つ)

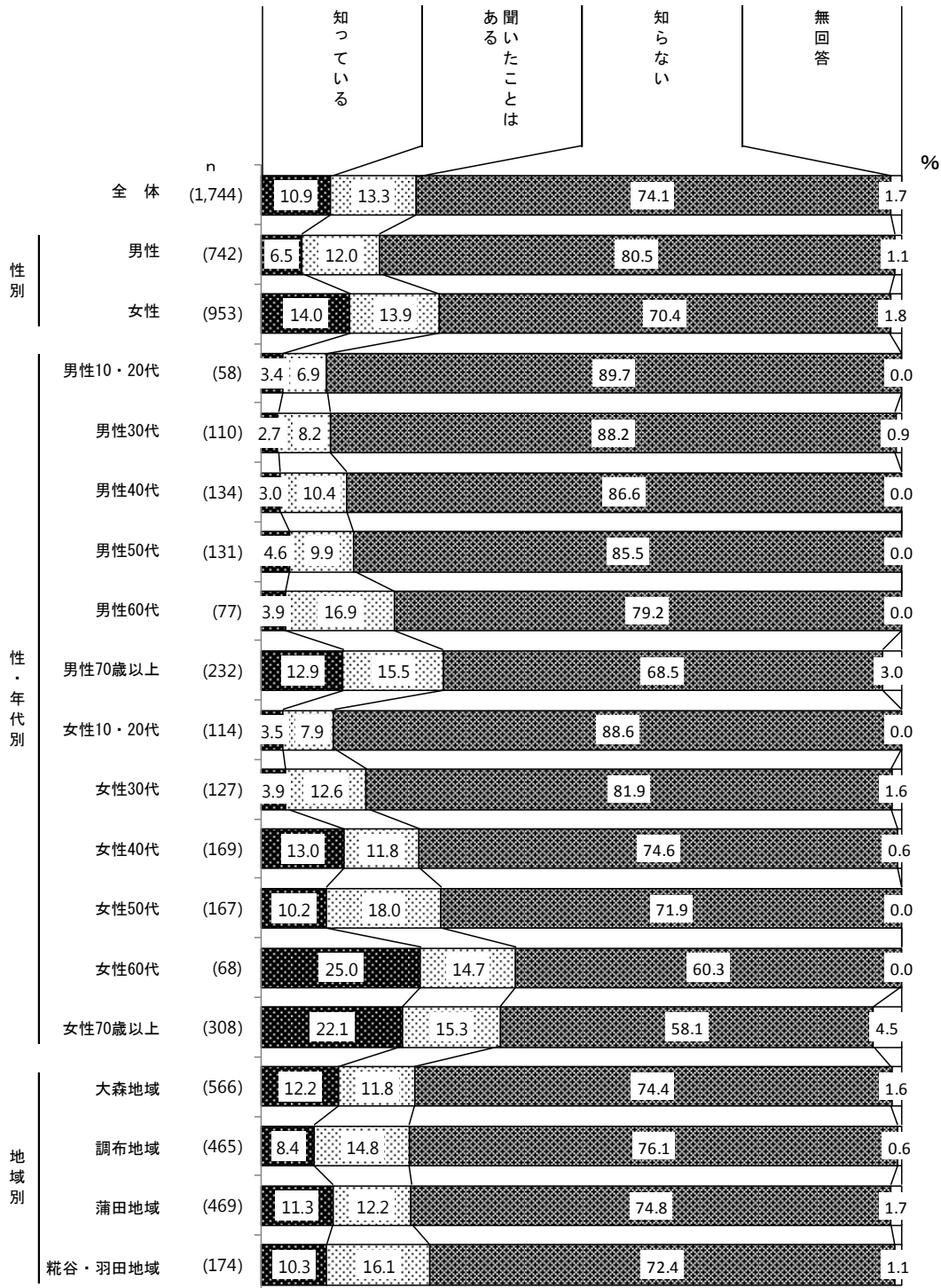


「総合型地域スポーツクラブ」が区内にあることを認知しているか聞いたところ、「知っている」が10.9%、「聞いたことはある」が13.3%となっており、これらを合計した《認知している》方の割合は24.2%となっている。

一方で、「知らない」は74.1%となっている。

【総合型地域スポーツクラブの認知度】

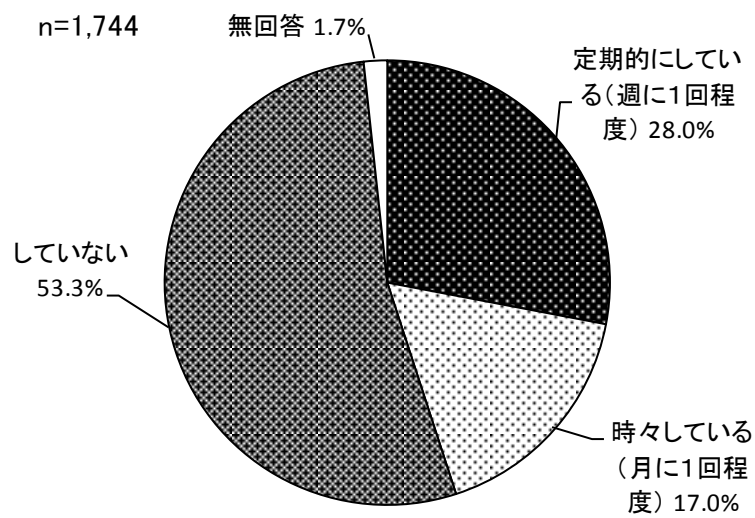
(性別・性/年代別・地域別)



性別にみると、「知っている」では『女性』(14.0%)が『男性』(6.5%)より7.5ポイント高くなっている。

・運動・スポーツ活動について

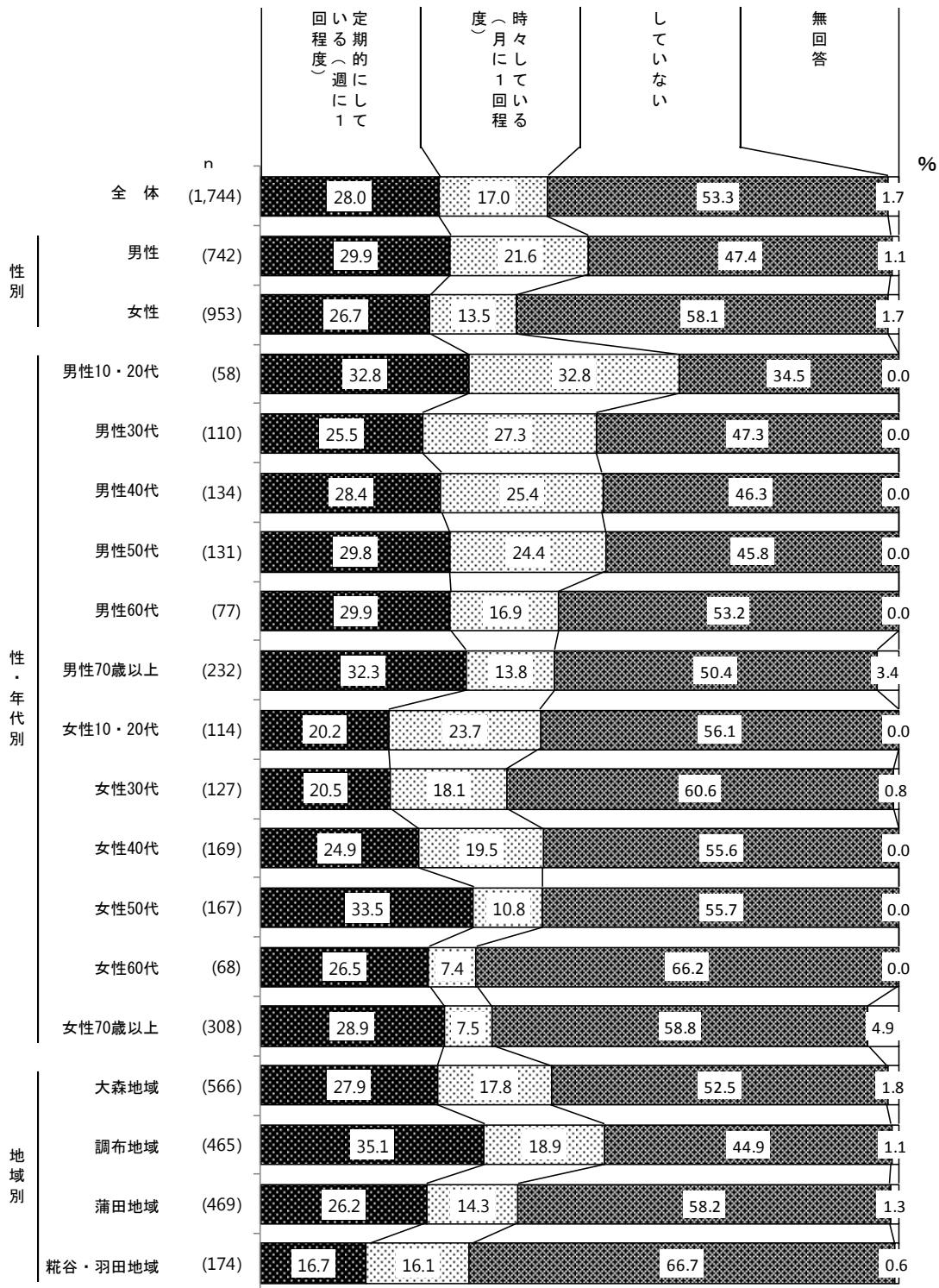
問8 あなたは運動・スポーツ活動をしていますか。(〇は1つ)



運動・スポーツの実施の有無について聞いたところ、「定期的に行っている(週に1回程度)」が28.0%、「時々している(月に1回程度)」が17.0%、「していない」が53.3%となっており、「定期的に行っている(週に1回程度)」と「時々している(月に1回程度)」を合計した《している》方の割合は45.0%となっている。

【運動・スポーツ活動について】

(性別・性/年代別・地域別)

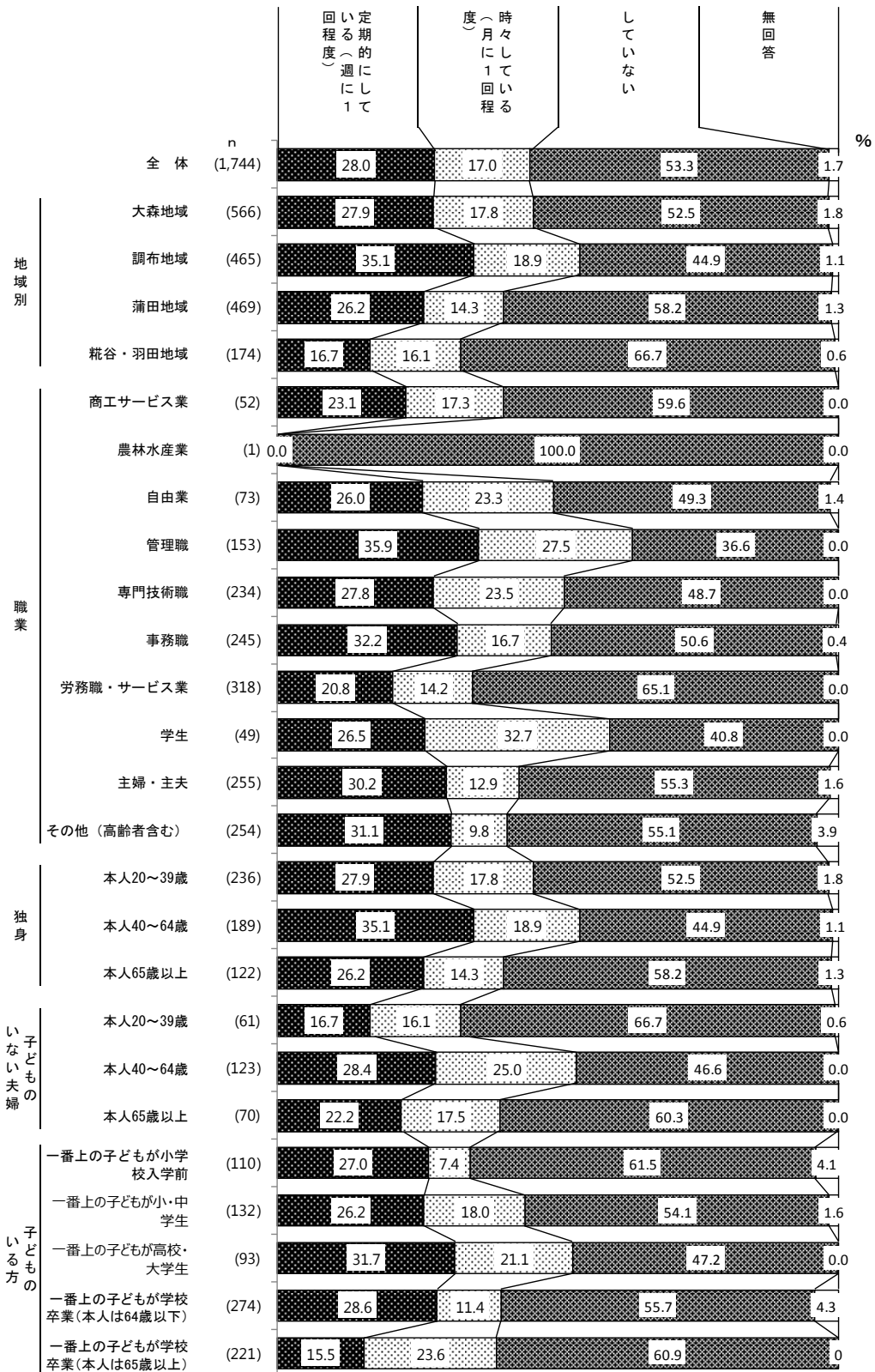


性別にみると、《運動をしている》(「定期的にしている (週に1回程度)」 + 「時々している (月に1回程度)」の合計) では、『男性』(51.5%) が『女性』(40.2%) より 11.3 ポイント高くなっている。

地域別にみると、「時々している (月に1回程度)」では、どの地域も1割台となっている。

・問8とF3、F5、F8

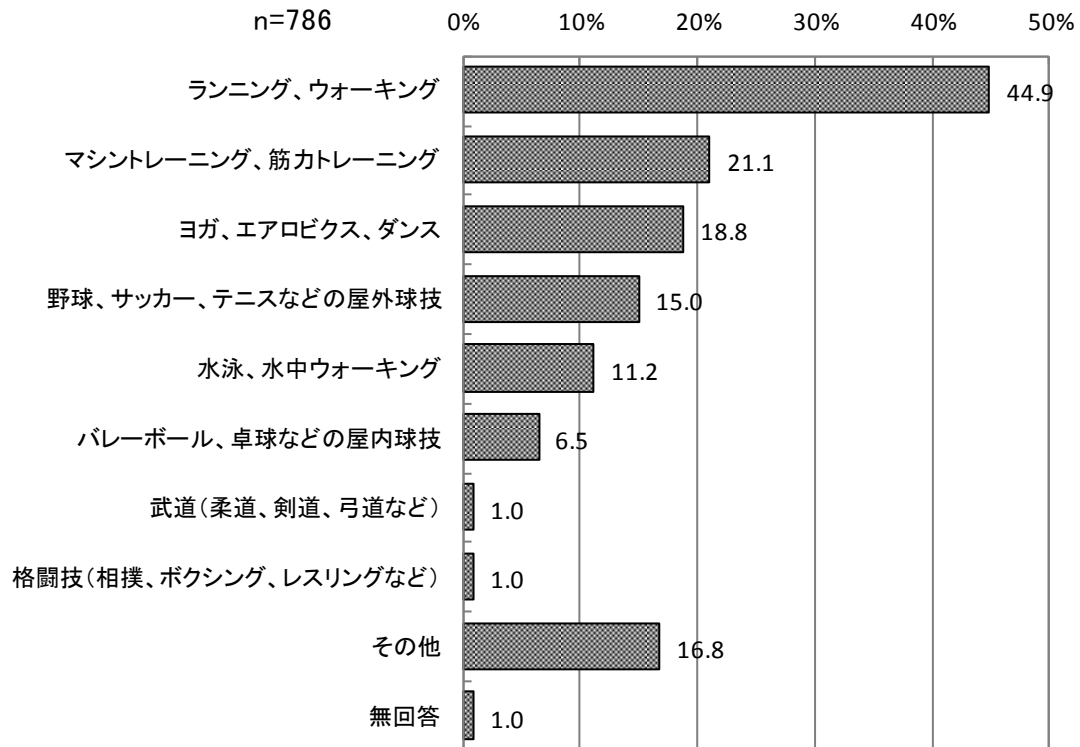
『運動・スポーツ活動』×『地域別』、『職業』、『ライフステージ』



・ 行うスポーツのジャンルについて

【問8で「1」または「2」と回答された方】

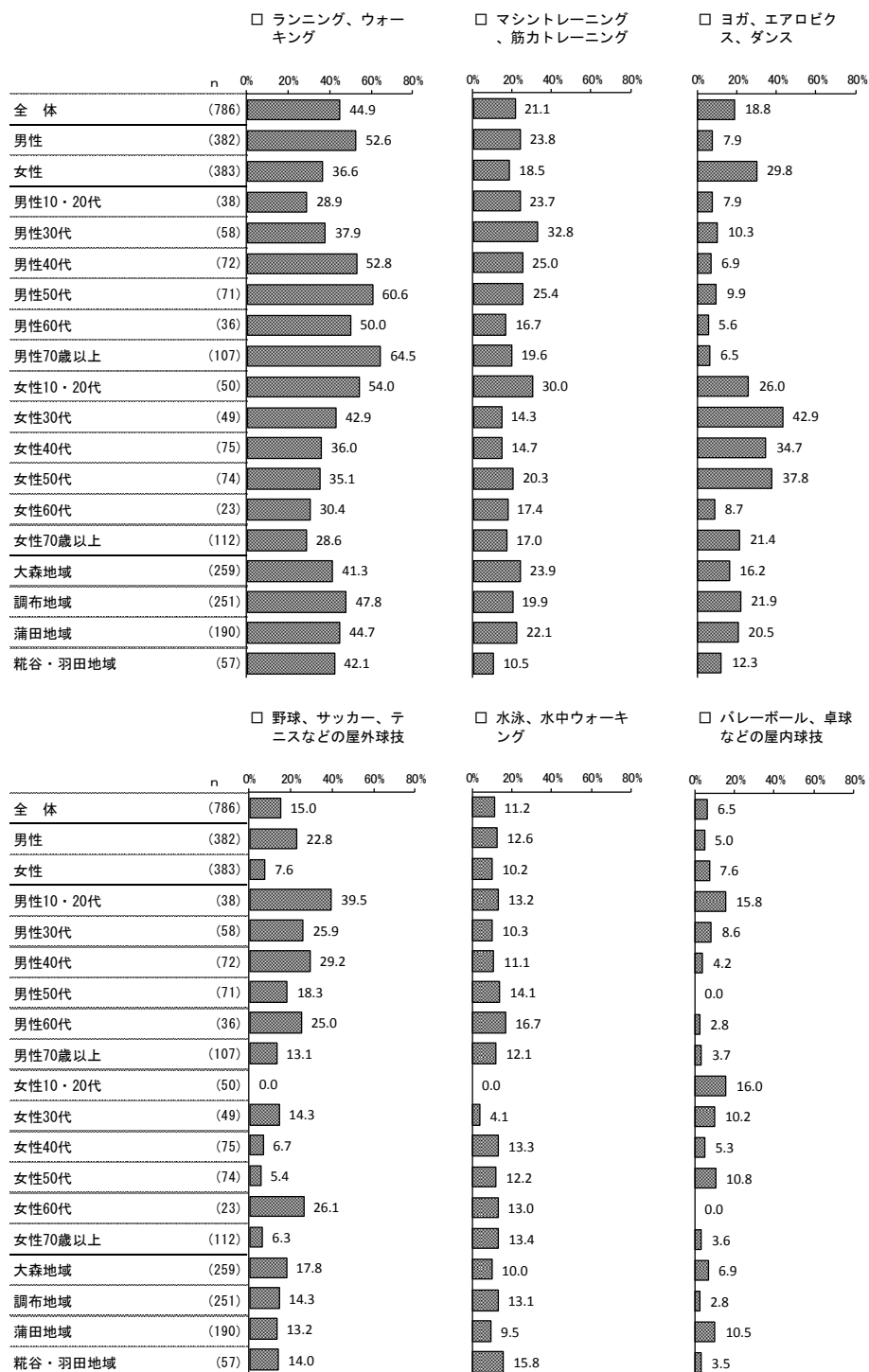
問8-1 通常行うスポーツのジャンルは何ですか。(〇はいくつでも)



運動・スポーツをしている方の中で行っているスポーツのジャンルについて聞いたところ、「ランニング、ウォーキング」が44.9%で最も高く、次いで「マシントレーニング、筋力トレーニング」(21.1%)、「ヨガ、エアロビクス、ダンス」(18.8%)、「野球、サッカー、テニスなどの屋外球技」(15.0%)となっている。

「その他」では、『ゴルフ』、『ボウリング』、『ラジオ体操』などが回答されている。

【行うスポーツのジャンルについて】 (性別・性/年代別・地域別 上位6項目)



性別にみると、「ランニング、ウォーキング」では『男性』(52.6%)が『女性』(36.6%)より16.0ポイント高く、「ヨガ、エアロビクス、ダンス」では『女性』(29.8%)が『男性』(7.9%)より21.9%高くなっている。

・問8-1とF8

『行方スポーツのジャンル』 × 『ライフステージ』

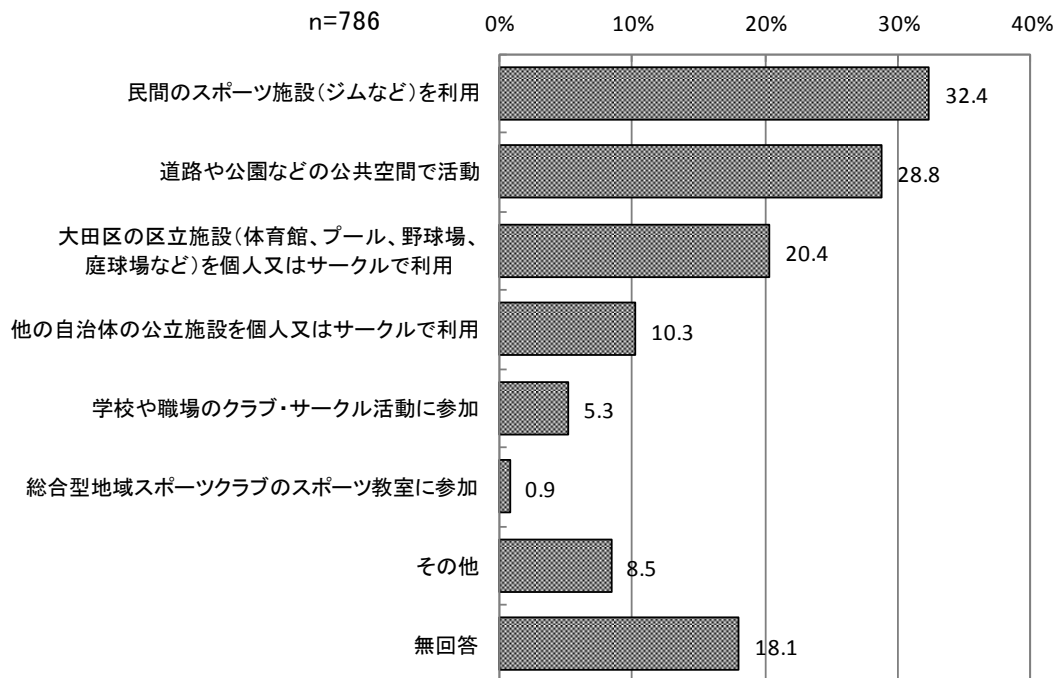
[上段：件数/下段：%]

	全 体	野 球、サ ツカ ー、テ ニ スな どの 屋外 球技	バ レ ー ボ ー ル、 卓 球 な どの 屋 内 球 技	ラン ニ ン グ、 ウ ォ ー キ	ヨ ガ、 エ ア ロ ビ ク ス、 ダ ン ス	筋 マ シ ン ト レ ー ニ ン グ、 マ カ シ ン ト レ ー ニ ン グ	水 泳、 水 中 ウ ォ ー キ ン	武 道 （ 柔 道、 剣 道、 弓 道 な ど）	格 闘 技 （ 相 撲、 ボ ク シ ン グ、 レス リ ン グ な ど）	そ の 他	無 回 答
全 体	786 100.0	118 15.0	51 6.5	353 44.9	148 18.8	166 21.1	88 11.2	8 1.0	8 1.0	132 16.8	8 1.0
本人18～39歳（独身の方）	126 100.0	19 15.1	13 10.3	55 43.7	27 21.4	35 27.8	7 5.6	1 0.8	2 1.6	15 11.9	-
本人40～64歳（独身の方）	75 100.0	9 12.0	-	38 50.7	12 16.0	16 21.3	5 6.7	1 1.3	2 2.7	16 21.3	-
本人65歳以上（独身の方）	42 100.0	1 2.4	1 2.4	18 42.9	9 21.4	8 19.0	4 9.5	1 2.4	-	9 21.4	1 2.4
本人18～39歳（子どものいない夫婦の方）	27 100.0	3 11.1	3 11.1	10 37.0	9 33.3	10 37.0	-	-	-	3 11.1	-
本人40～64歳（子どものいない夫婦の方）	65 100.0	9 13.8	2 3.1	27 41.5	17 26.2	15 23.1	13 20.0	1 1.5	-	11 16.9	-
本人65歳以上（子どものいない夫婦の方）	28 100.0	4 14.3	1 3.6	14 50.0	5 17.9	4 14.3	4 14.3	1 3.6	-	4 14.3	-
一番上の子どもが小学校入学前	43 100.0	13 30.2	3 7.0	17 39.5	7 16.3	5 11.6	4 9.3	1 2.3	-	8 18.6	-
一番上の子どもが小・中学生	62 100.0	15 24.2	9 14.5	24 38.7	15 24.2	12 19.4	12 19.4	1 1.6	2 3.2	5 8.1	-
一番上の子どもが高校・大学生	49 100.0	8 16.3	7 14.3	22 44.9	7 14.3	10 20.4	6 12.2	1 2.0	2 4.1	3 6.1	-
一番上の子どもが学校卒業（本人は64歳以下）	131 100.0	21 16.0	4 3.1	64 48.9	22 16.8	24 18.3	17 13.0	-	-	30 22.9	2 1.5
一番上の子どもが学校卒業（本人は65歳以上）	100 100.0	14 14.0	6 6.0	42 42.0	14 14.0	22 22.0	15 15.0	-	-	20 20.0	3 3.0

・スポーツをする環境について

【問8で「1」または「2」と回答された方】

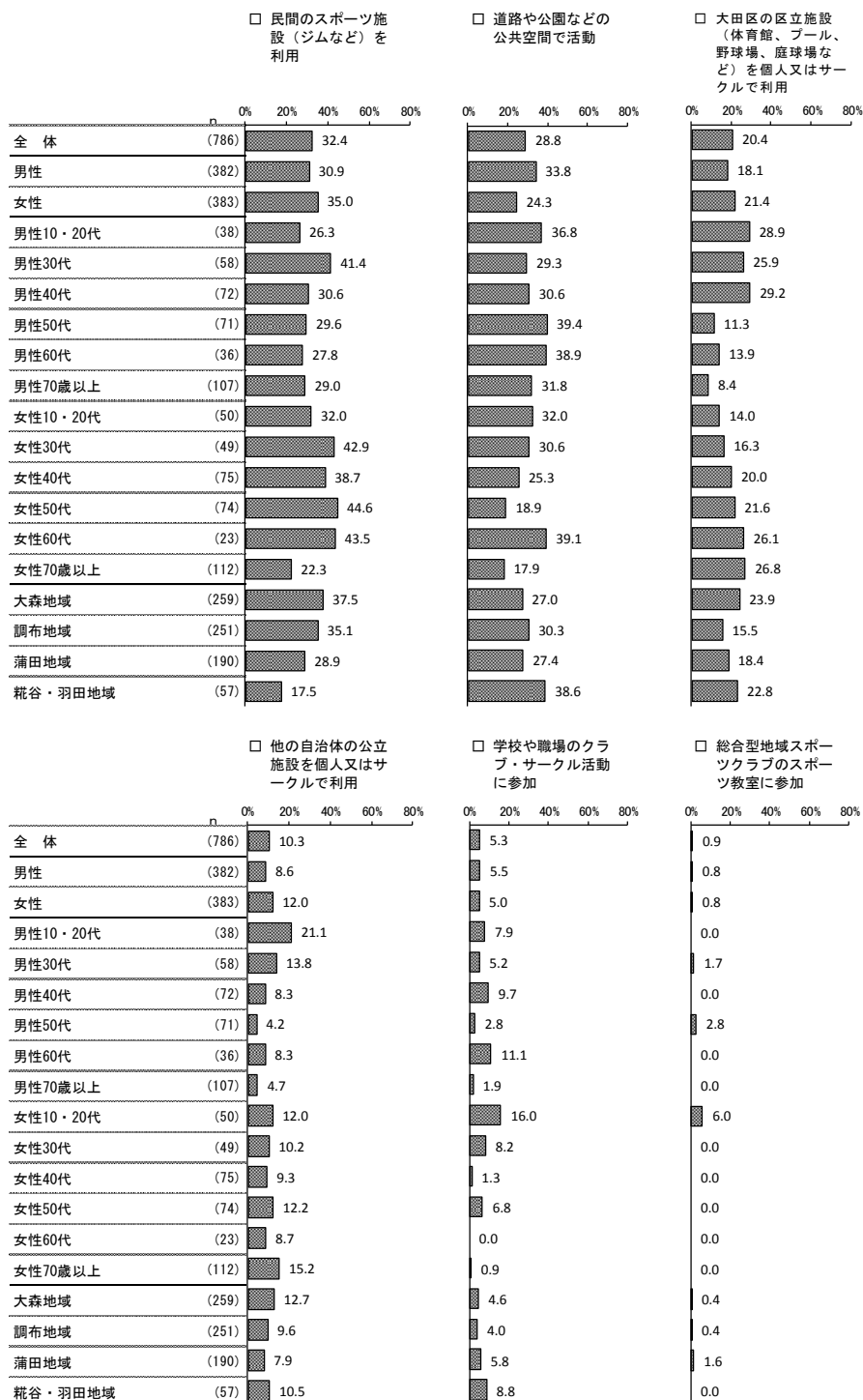
問8-2 スポーツをする際に、どのような環境で行いますか。(〇はいくつでも)



運動・スポーツをしている方の中でスポーツを行う際の環境について聞いたところ、「民間のスポーツ施設（ジムなど）を利用」が32.4%で最も高く、次いで「道路や公園などの公共空間で活動」（28.8%）、「大田区の区立施設（体育館、プール、野球場、庭球場など）を個人又はサークルで利用」（20.4%）となっている。

「その他」では、『ゴルフ場』、『自宅』などが回答されている。

【スポーツをする環境について】 (性別・性/年代別・地域別 上位6項目)



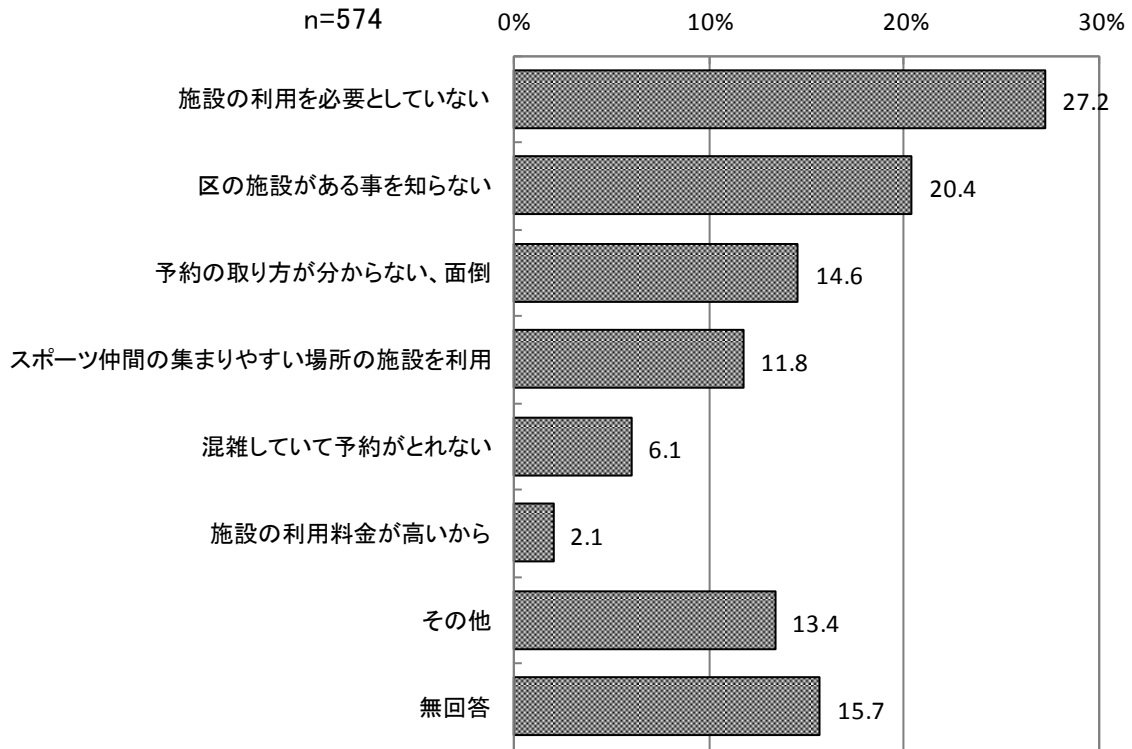
性別にみると、「民間のスポーツ施設 (ジムなど) を利用」、「大田区の区立施設 (体育館、プール、野球場、庭球場など) を個人又はサークルで利用」、「他の自治体の公立施設を個人またはサークルで利用」では『女性』の割合が『男性』より高くなっている。

性/年代別にみると、「民間のスポーツ施設 (ジムなど) を利用」では『男性 30 代』、『女性の 30 代と 50～60 代』で 4 割を超えている。

・区の施設を使わない理由

【問8-2で「2」～「7」と回答された方】

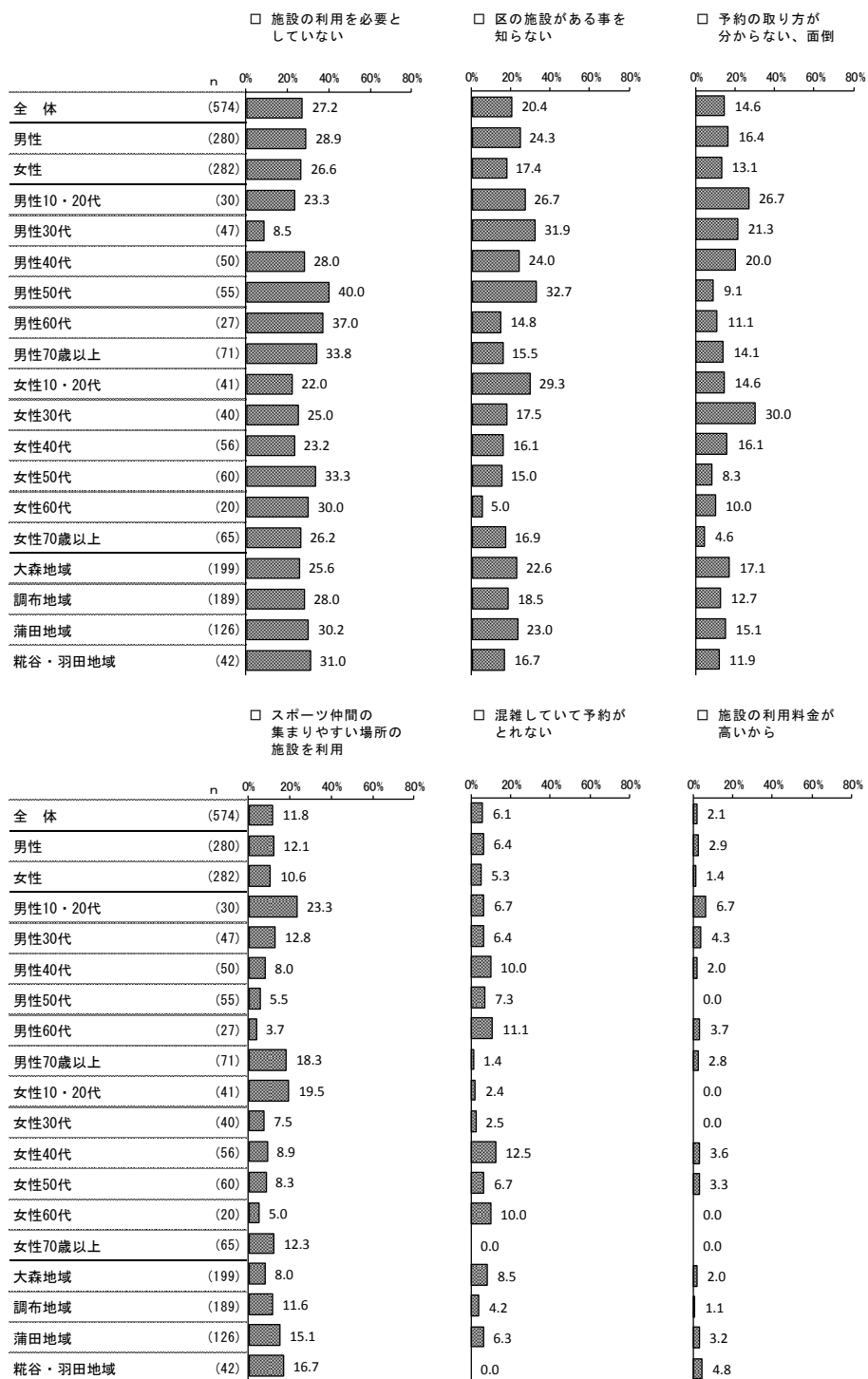
問8-2-1 区の施設を使わない理由は何ですか。(〇はいくつでも)



区の施設を使用しない方の中で区の施設を使用しない理由を聞いたところ、「施設の利用を必要としていない」が27.2%で最も高く、次いで「区の施設がある事を知らない」(20.4%)、「予約の取り方が分からない、面倒」(14.6%)、「スポーツ仲間の集まりやすい場所の施設を利用」(11.8%)となっている。

「その他」では、『高齢のため』、『多忙』、『入りづらい』などが回答されている。

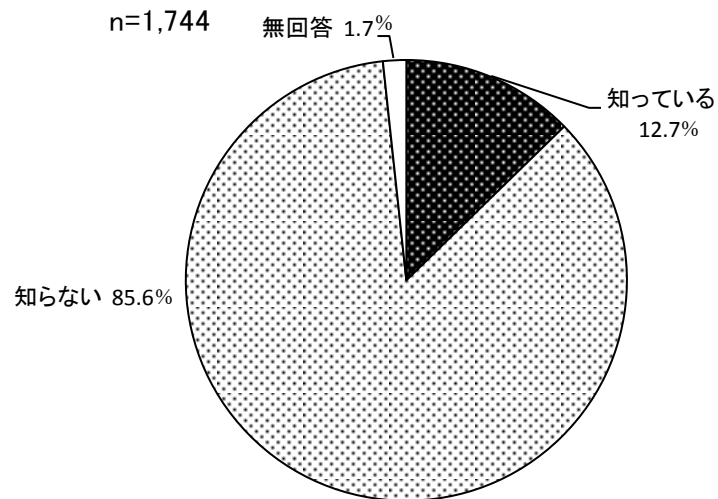
【区の施設を使わない理由】 (性別・性/年代別・地域別 上位6項目)



性別にみると、「区の施設があることを知らない」では『男性』(24.3%)が『女性』(17.4%)より6.9ポイント高くなっている。

・ホッケー競技開催の認知度

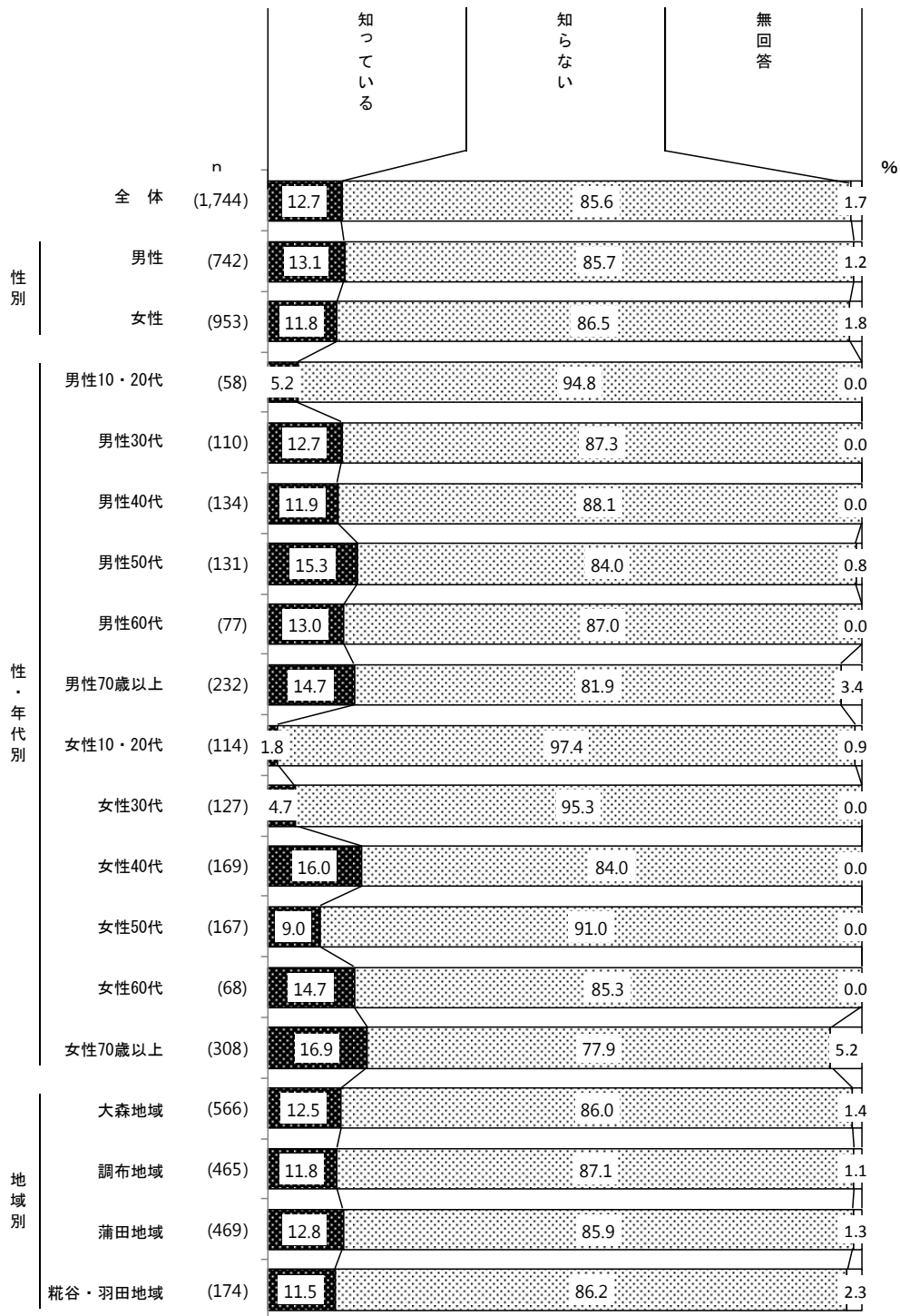
問9 東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会において、大田区内で「ホッケー競技」が開催されることを知っていますか。(○は1つ)



東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会で大田区内で「ホッケー競技」が開催されることの認知について聞いたところ、「知っている」が 12.7%、「知らない」が 85.6%となっている。

【ホッケー競技開催の認知度】

(性別・性/年代別・地域別)

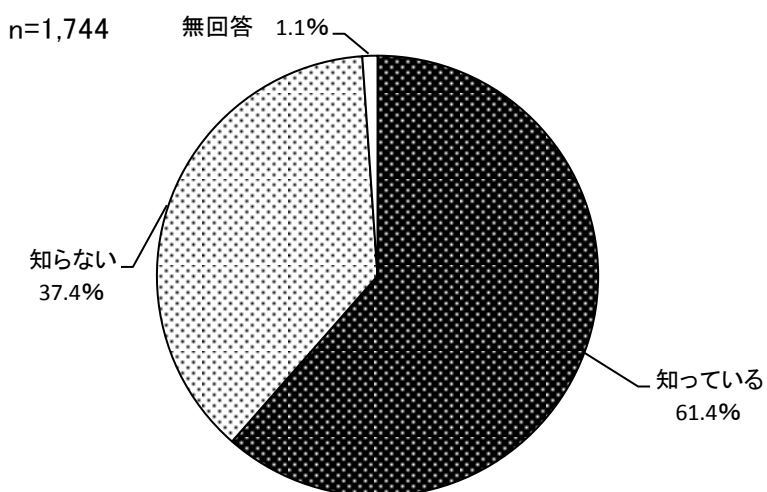


性別、性/年代別、地域別ともに大きな差は見られず「知らない」が最も高くなっている。

(8) 自転車ナビマーク・自転車ナビライン

・自転車ナビマーク・自転車ナビラインの認知度

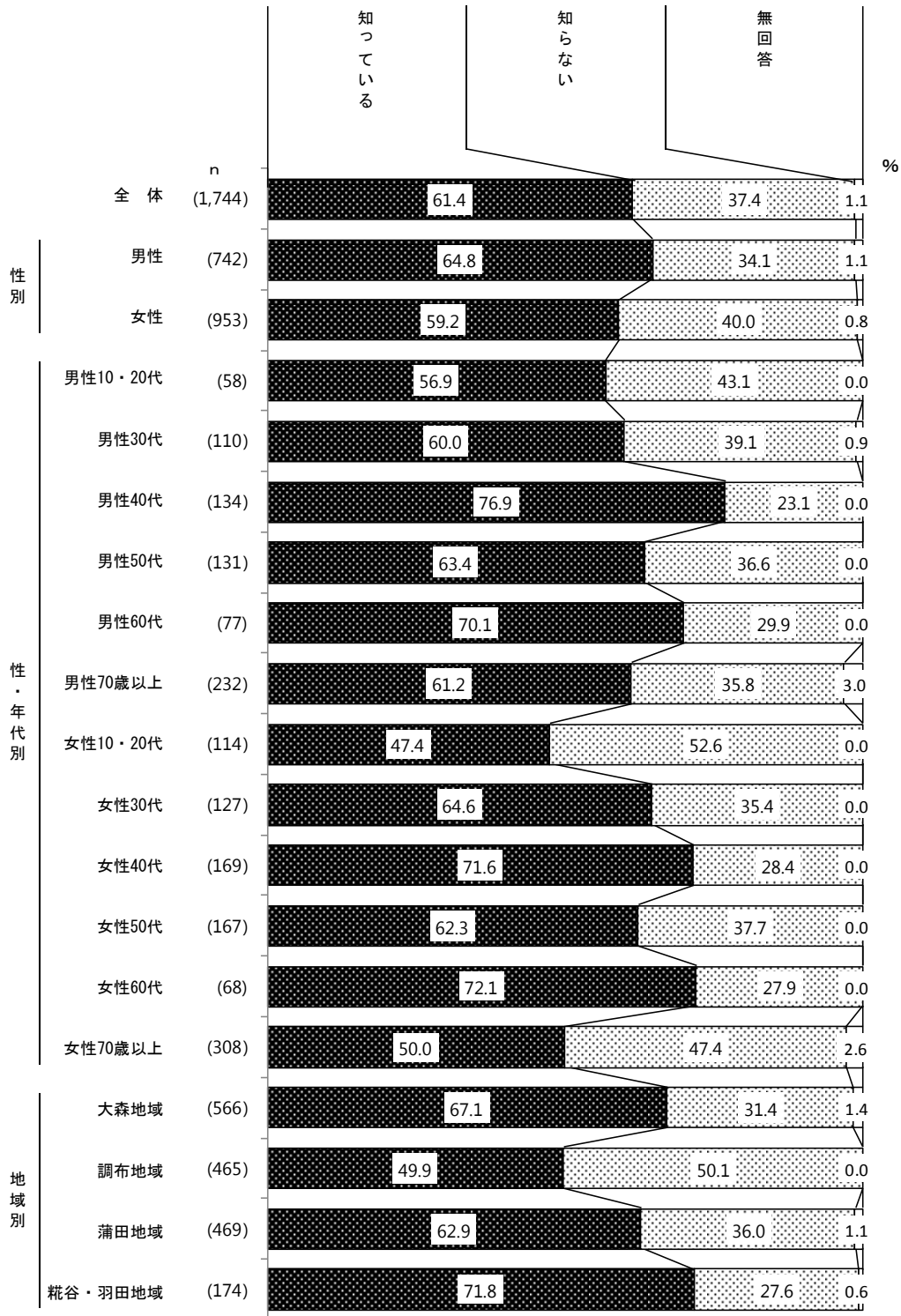
問 10 あなたは区内の道路に「自転車ナビマーク」「自転車ナビライン」が設置されていることを知っていますか。(○は1つ)



区内の道路に「自転車ナビマーク」や「自転車ナビライン」が設置されていることの認知について聞いたところ、「知っている」が61.4%、「知らない」が37.4%となっている。

【自転車ナビマーク・自転車ナビラインの認知度】

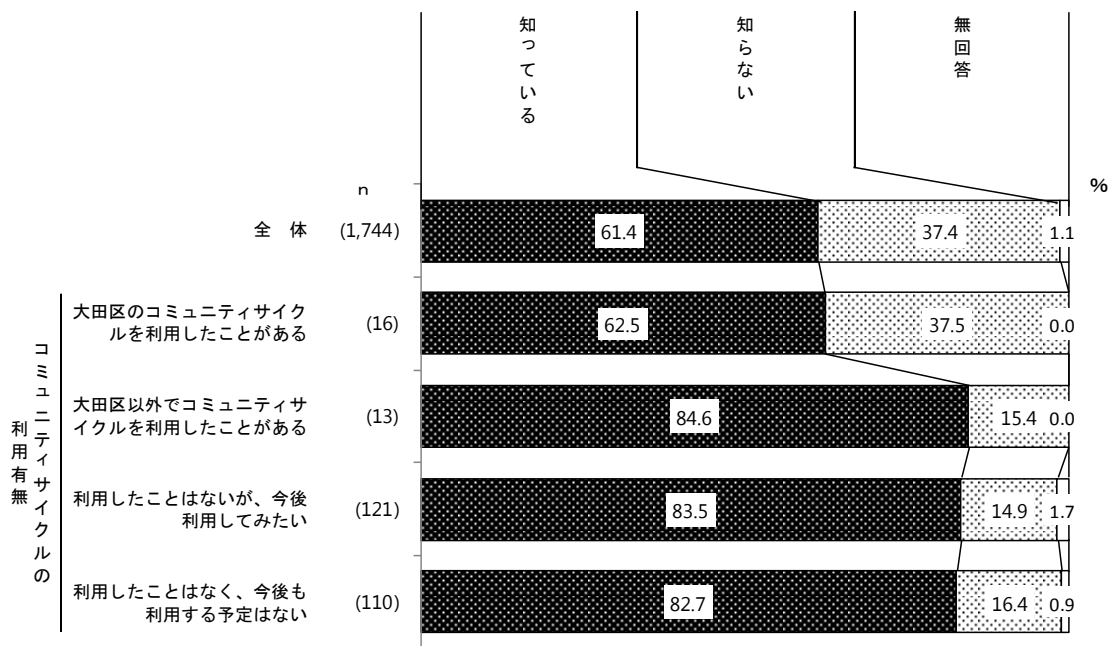
(性別・性/年代別・地域別)



性/年代別にみると、「知っている」では『男女とも40代と60代』で7割を超えて高くなっている。

・ 問 10 と 問 13-1

『走行環境の認知度』 × 『コミュニティサイクルの利用有無』

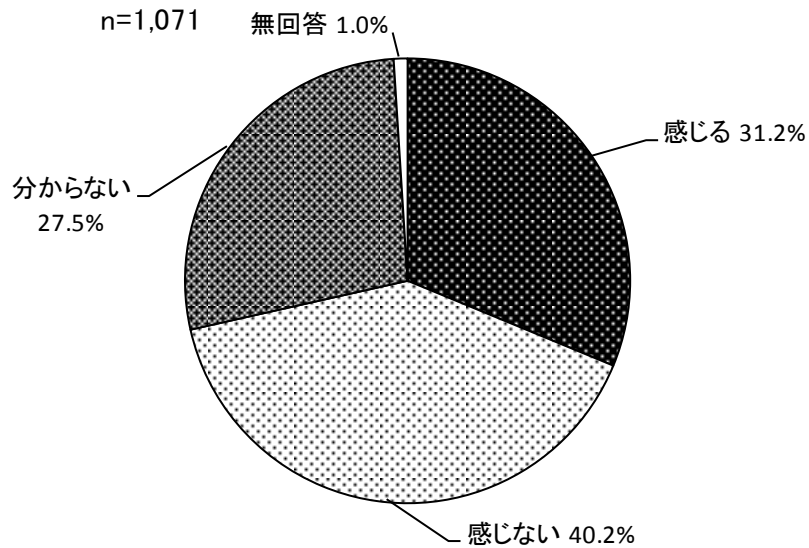


走行環境（自転車ナビマーク・自転車ナビライン）を「知っている」人を、コミュニティサイクルの利用有無別にみると、『利用したことはないが、今後利用してみたい』が83.5%となっている。

・道路交通環境について

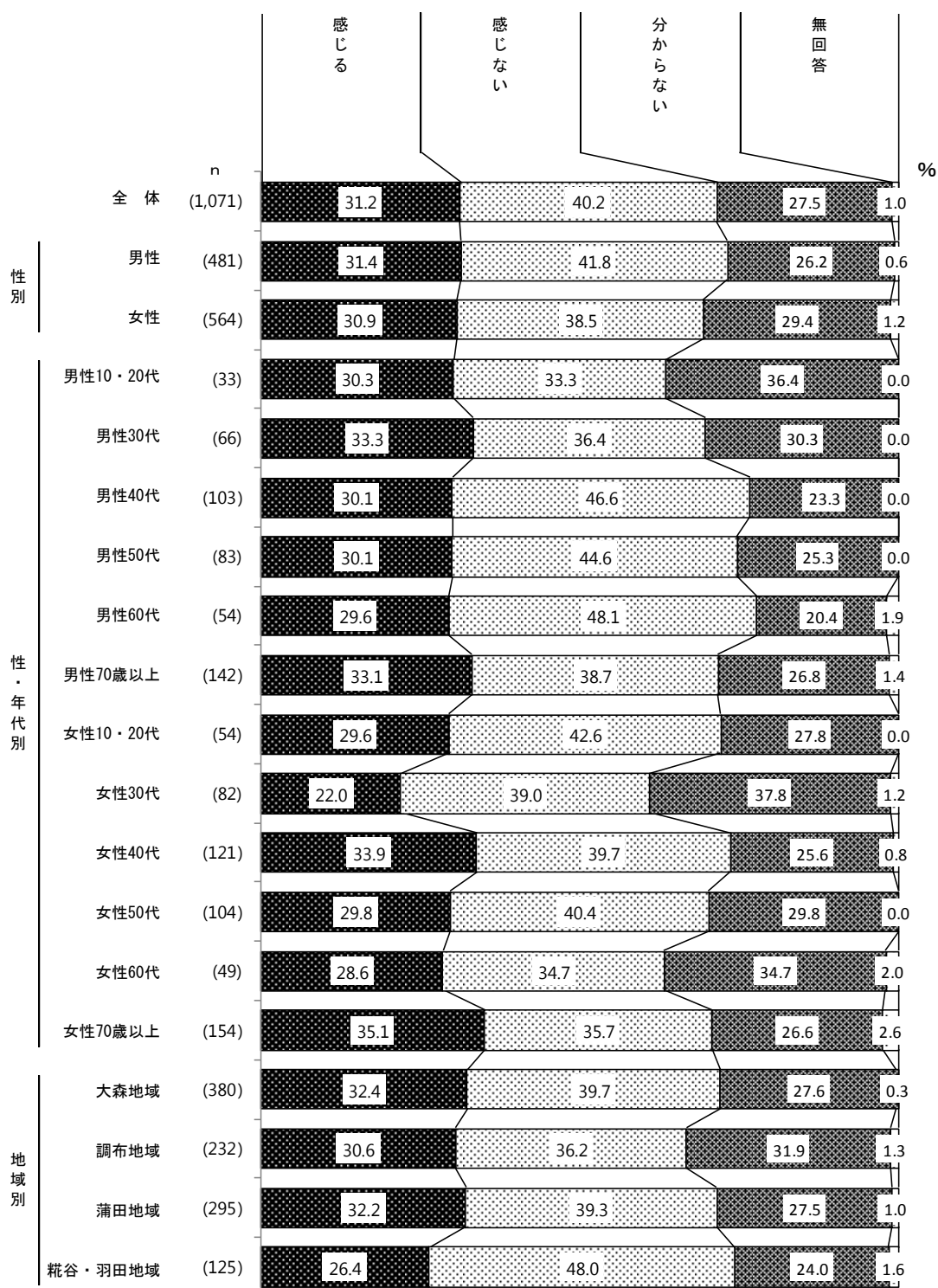
【問 10 で「1. 知っている」と回答された方】

問 10-1 「自転車ナビマーク」「自転車ナビライン」が設置されたことで道路交通環境が変化したと思いますか。(○は1つ)



区内の道路に「自転車ナビマーク」や「自転車ナビライン」が設置されていることを知っている方の中で「自転車ナビマーク」や「自転車ナビライン」が設置されたことで道路環境の変化について聞いたところ、変化を「感じる」が31.2%、「感じない」が40.2%、「分からない」が27.5%となっている。

【道路交通環境について】
(性別・性/年代別・地域別)

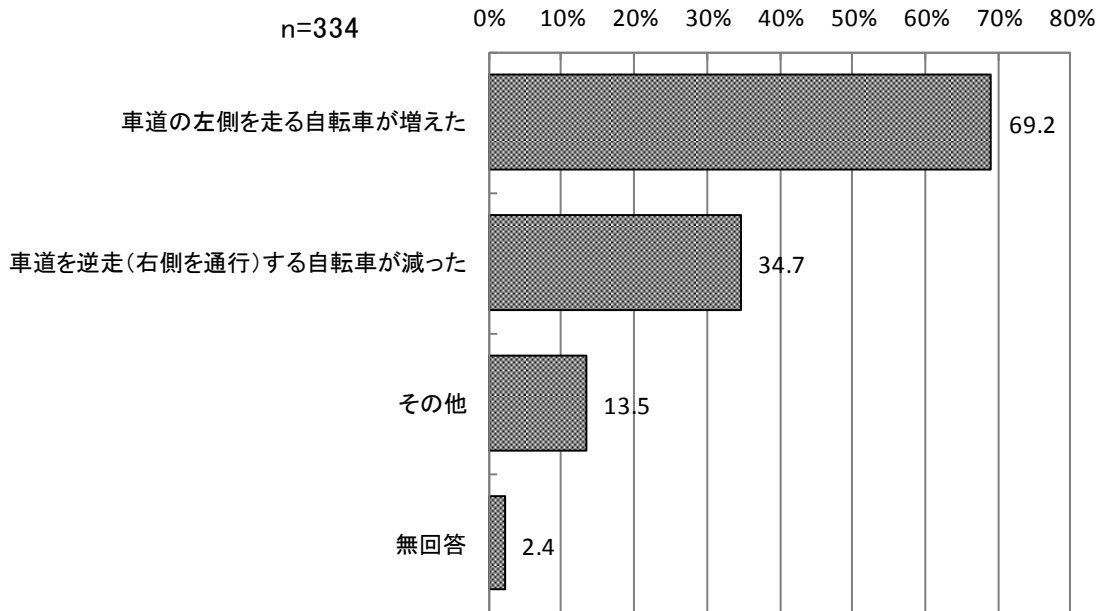


「感じる」とした人を性/年代別にみると、『男性』では30代(33.3%)、『女性』では70歳以上(35.1%)がそれぞれ最も多くなっている。

・どのような変化か

【問 10-1 で「1. 感じる」と回答された方】

問 10-1-1 どのように変化したと思いますか。(〇はいくつでも)

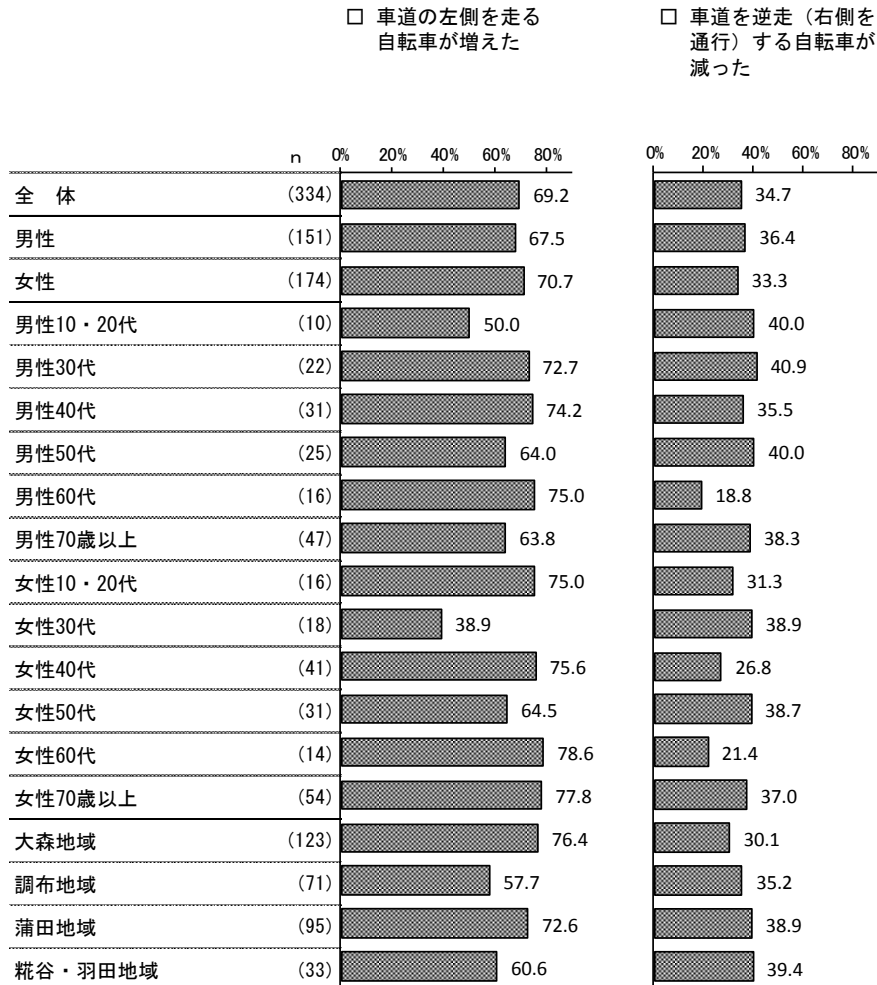


「自転車ナビマーク」や「自転車ナビライン」が設置されたことで道路環境の変化を感じた方の中でどのように変化したか聞いたところ、「車道の左側を走る自転車が增えた」が 69.2%、「車道を逆走（右側を通行）する自転車が減った」が 34.7%となっている。

「その他」では、『自分も意識するようになった』、『違反駐車が減った』などが回答されている。

【どのような変化か】

(性別・性/年代別・地域別 上位2項目)

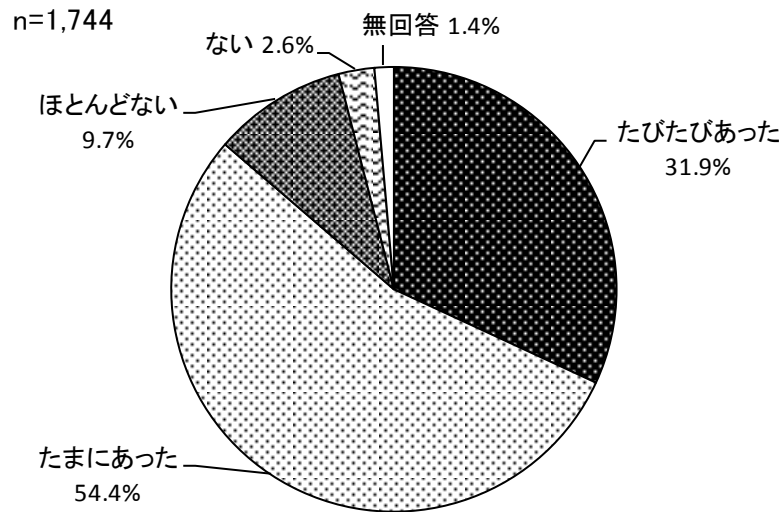


性/年代別にみると、「車道の左側を走る自転車が増えた」では『男性の30代40代60代』と、『女性の10・20代40代60歳以上』で7割を超えている。

地域別にみると、「車道の左側を走る自転車が増えた」では『大森地域』と『蒲田地域』で7割を超えている。

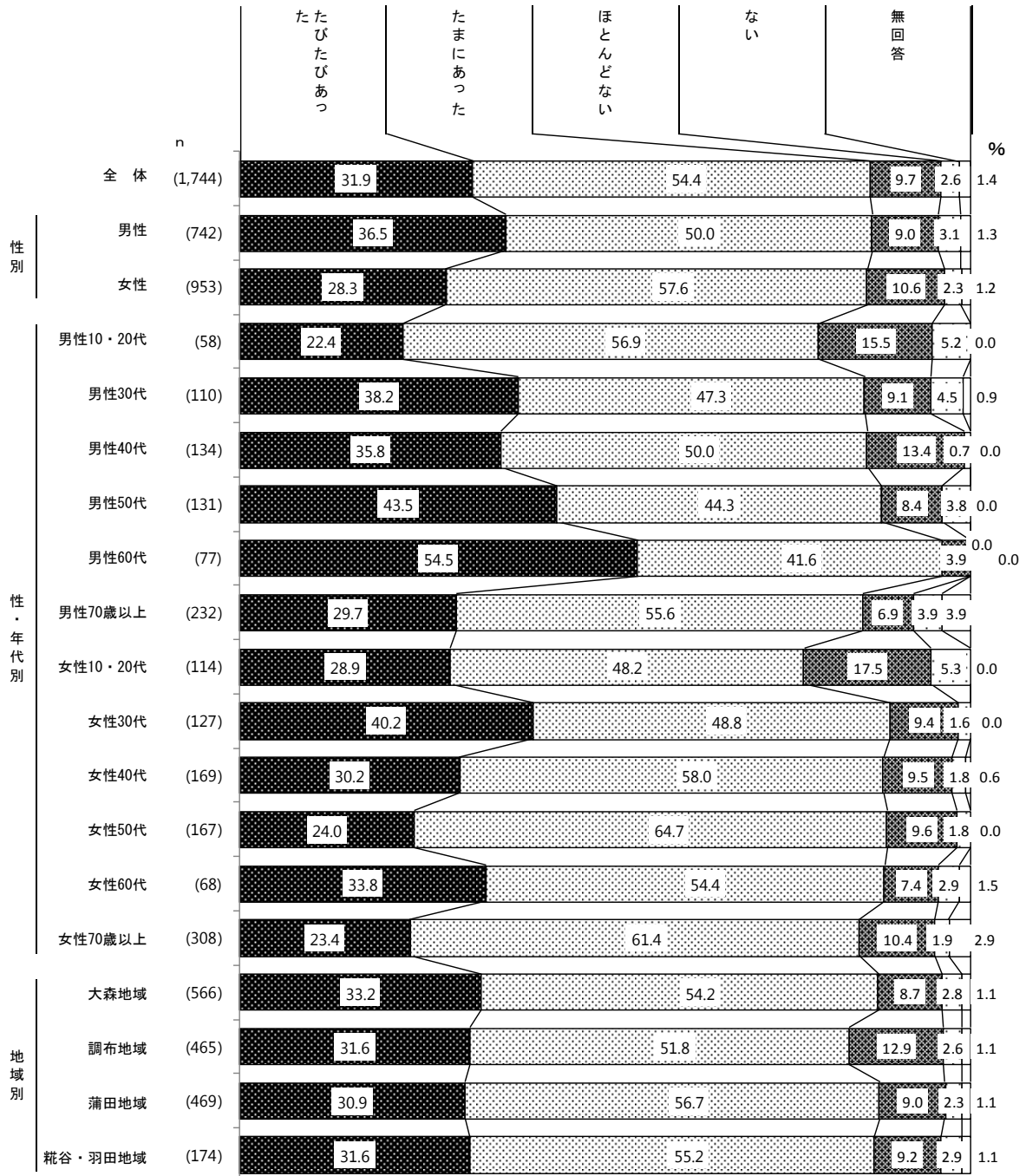
・危険運転をする自転車について

問 11 あなたは歩行中や自転車・自動車等に乗車中、危険運転をする自転車にヒヤリとしたことがありますか。(〇は1つ)



危険運転をする自転車にヒヤリとした経験があるか聞いたところ、「たびたびあった」が31.9%、「たまにあった」が54.4%となっており、ヒヤリとした経験が《あった》方の割合は86.3%となっている。

【危険運転をする自転車について】
(性別・性/年代別・地域別)

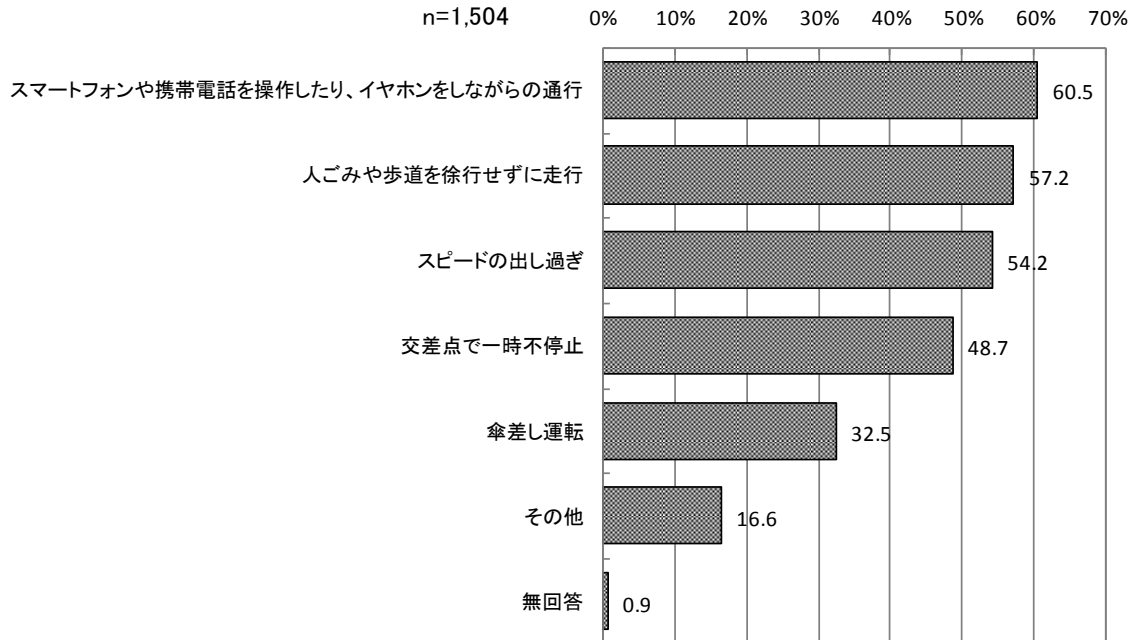


性別にみると、《あった（「たたびあった」＋「たまにあった」の合計）》では男女ともに8割台を超えている。

・自転車危険運転の種類について

【問 11 で「1」または「2」と回答された方】

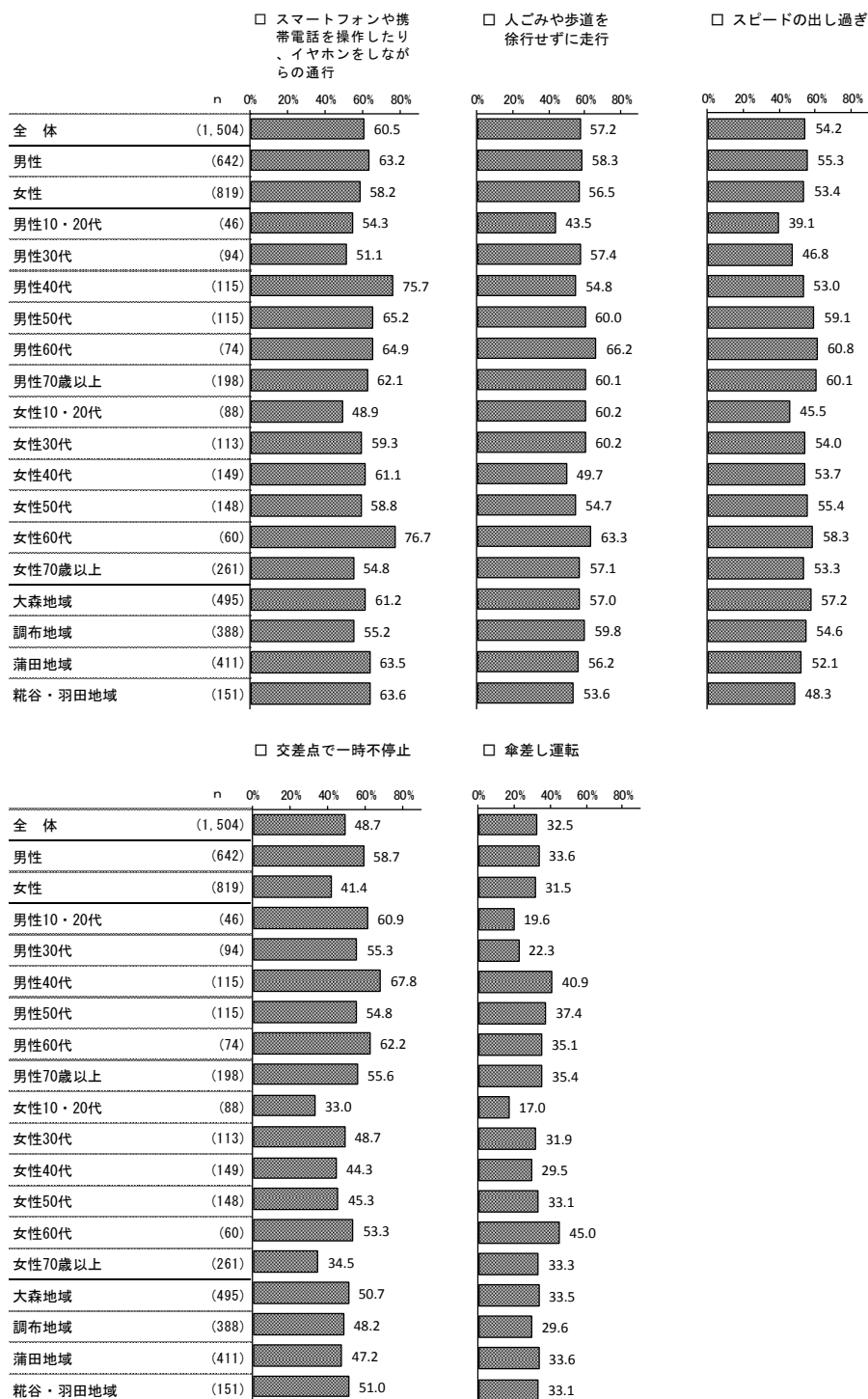
問 11-1 相手の自転車はどのような危険運転でしたか。(〇はいくつでも)



危険運転をする自転車にヒヤリとした経験がある方の中で相手の自転車がどのような危険運転だったか聞いたところ、「スマートフォンや携帯電話を操作したり、イヤホンをしながらの通行」が60.5%で最も高く、次いで「人ごみや歩道を徐行せずに走行」(57.2%)、「スピードの出し過ぎ」(54.2%)、「交差点で一時不停止」(48.7%)となっている。

「その他」では、『無灯火運転』、『ふらふら運転』、『急な進路変更』などが回答されている。

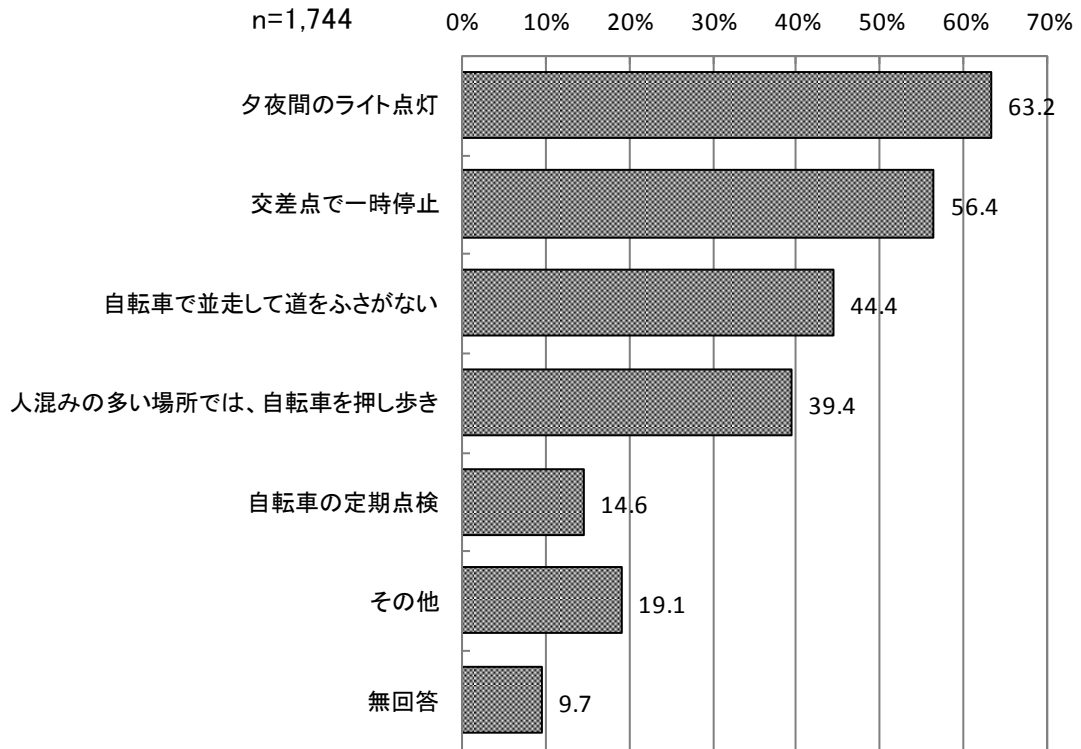
【自転車危険運転の種類について】 (性別・性/年代別・地域別 上位5項目)



性/年代別にみると、「スマートフォンや携帯電話を操作したり、イヤホンをしながらの通行」では『男性40代』と『女性60代』で7割を超えている。

・自転車の利用で気をつけていること

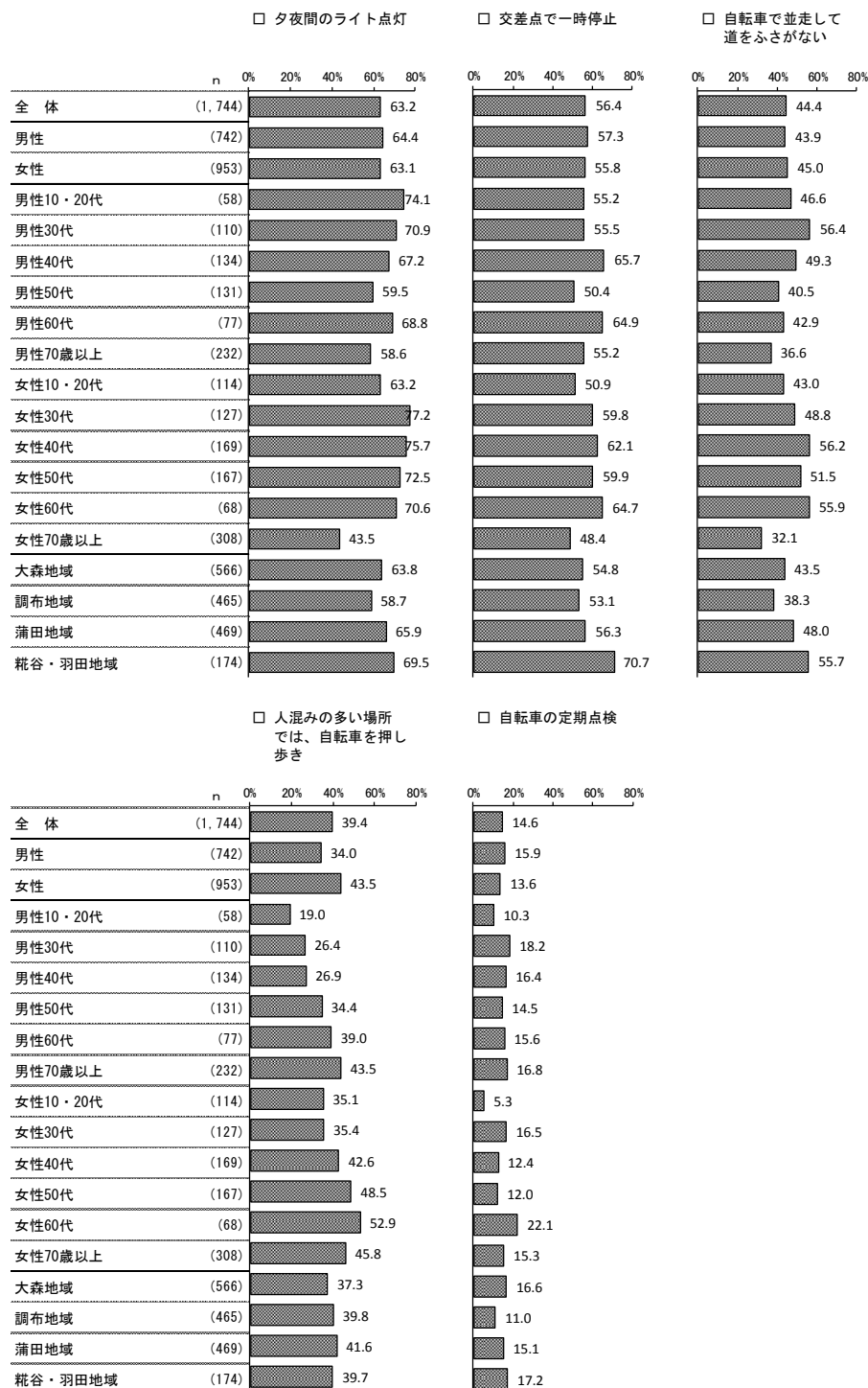
問 12 あなたは自転車を利用している際にどのようなことに気をつけていますか。(〇はいくつでも)



自転車を利用する際に気を付けていることを聞いたところ、「夕夜間のライト点灯」が63.2%で最も高く、次いで「交差点で一時停止」(56.4%)、「自転車で並走して道をふさがらない」(44.4%)、「人混みの多い場所では、自転車を押し歩き」(39.4%)となっている。

「その他」では、『スピードを出さない』、『自転車保険に入る』などが回答されている。

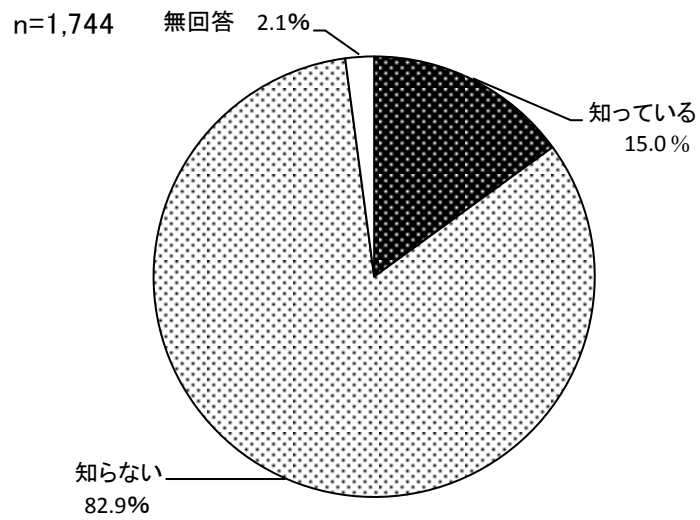
【自転車の利用で気をつけていること】
 (性別・性/年代別・地域別 上位5項目)



性/年代別にみると、「夕夜間のライト点灯」では『男性の10・20代30代』と『女性の30～60代』で7割を超えている。

・大田区のコミュニティサイクルの認知度

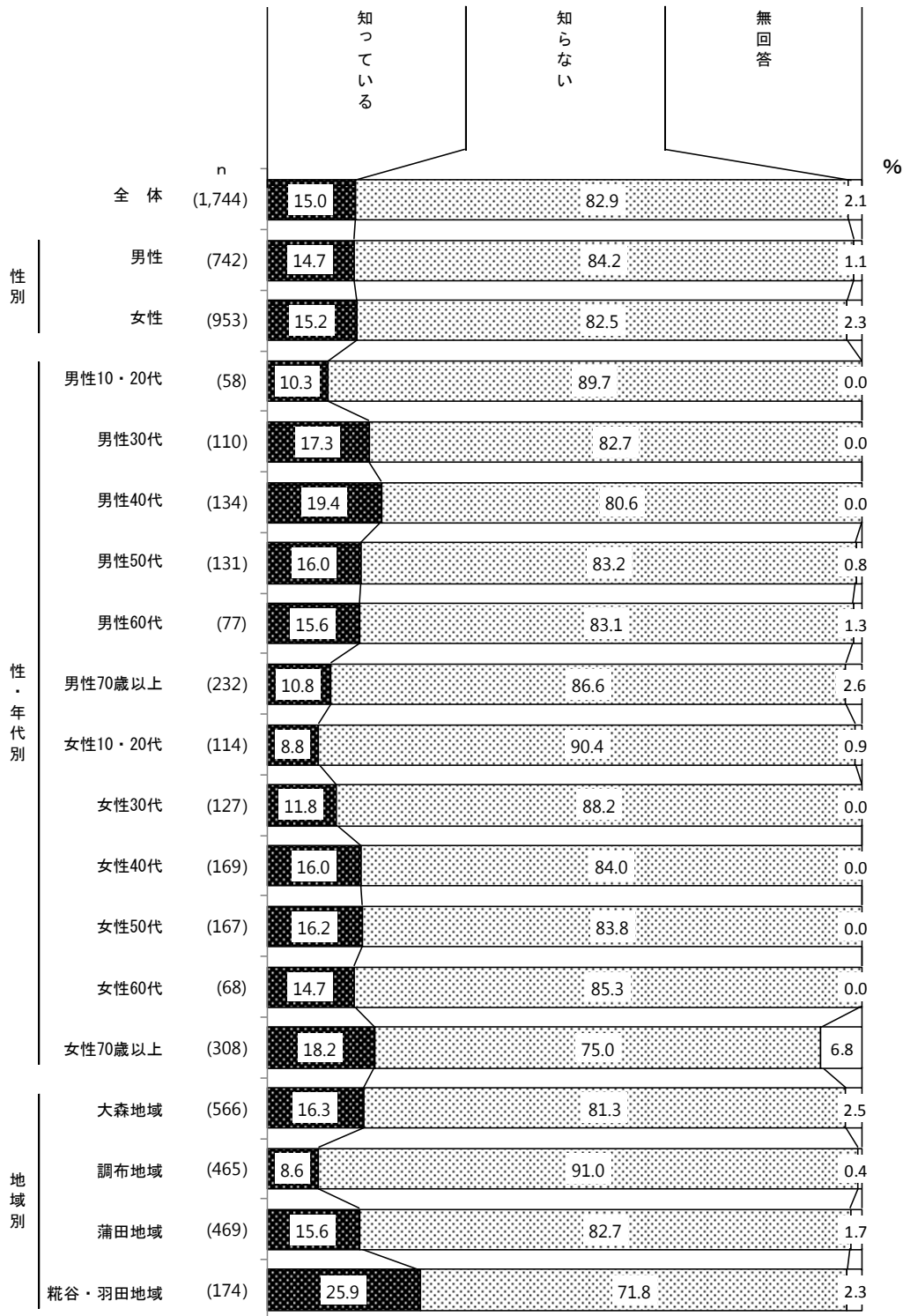
問 13 あなたは大田区内で「コミュニティサイクル」が運営されていることを知っていますか。



区内の「コミュニティサイクル」の運営の認知について聞いたところ、「知っている」が15.0%、「知らない」が82.9%となっている。

【大田区のコミュニティサイクルの認知度】

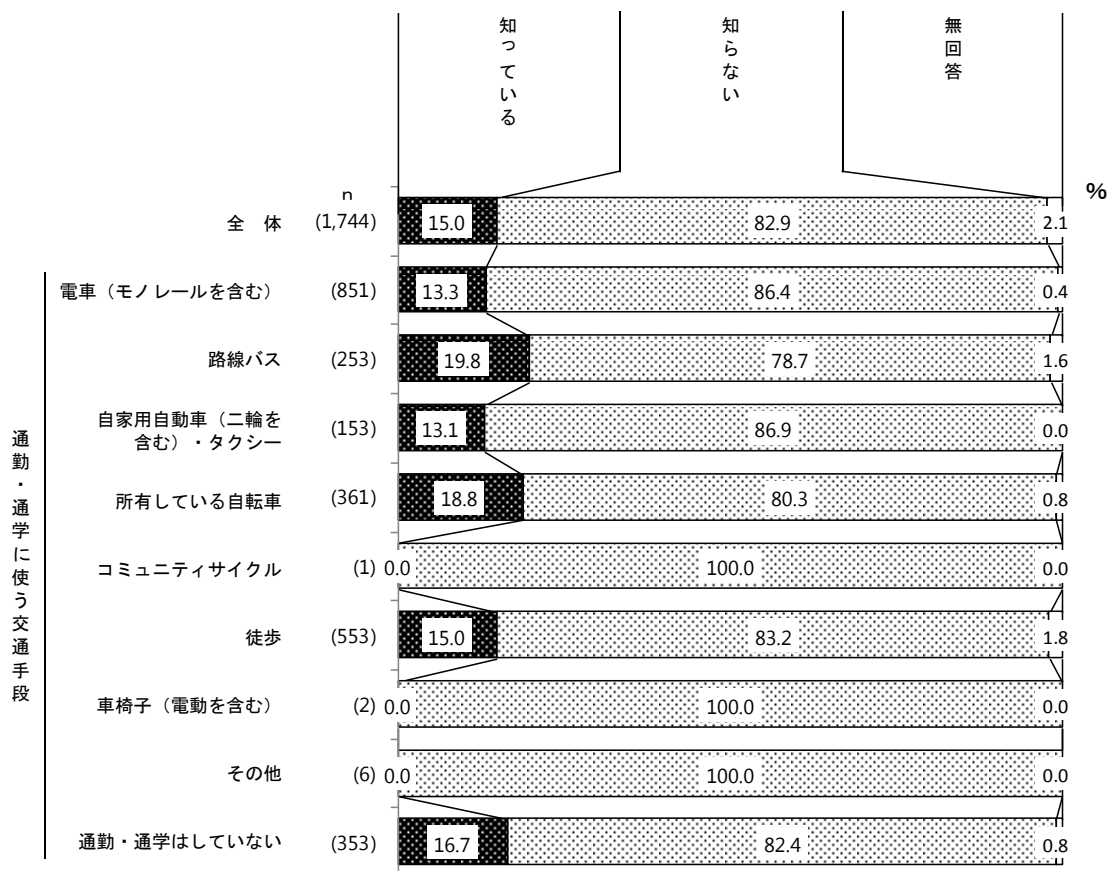
(性別・性/年代別・地域別)



「知っている」とした人を性/年代別にみると、『男性』では40代(19.4%)、『女性』では70歳以上(18.2%)がそれぞれ最も多くなっている。

・問 13 と問 14

『大田区のコミュニティサイクルの認知度』 × 『通勤・通学の交通手段』

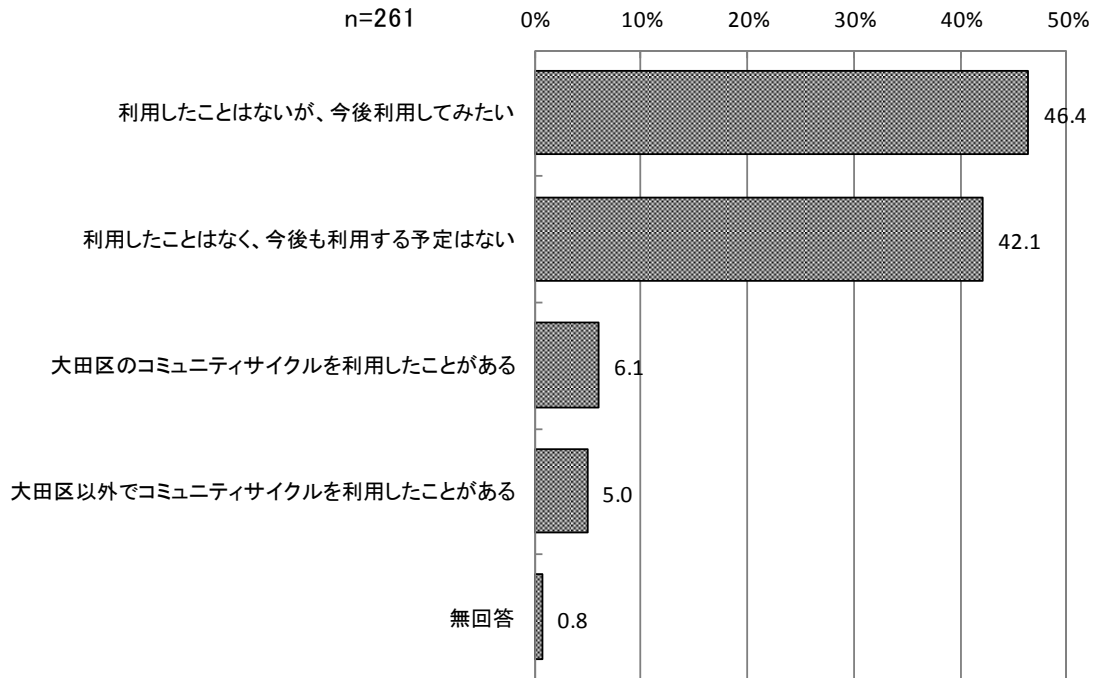


大田区のコミュニティサイクルを「知っている」人を、通勤・通学に使う交通手段別にみると、『路線バス』が 19.8%となっている。

・大田区のコミュニティサイクル利用の有無

【問 13 で「1. 知っている」と回答された方】

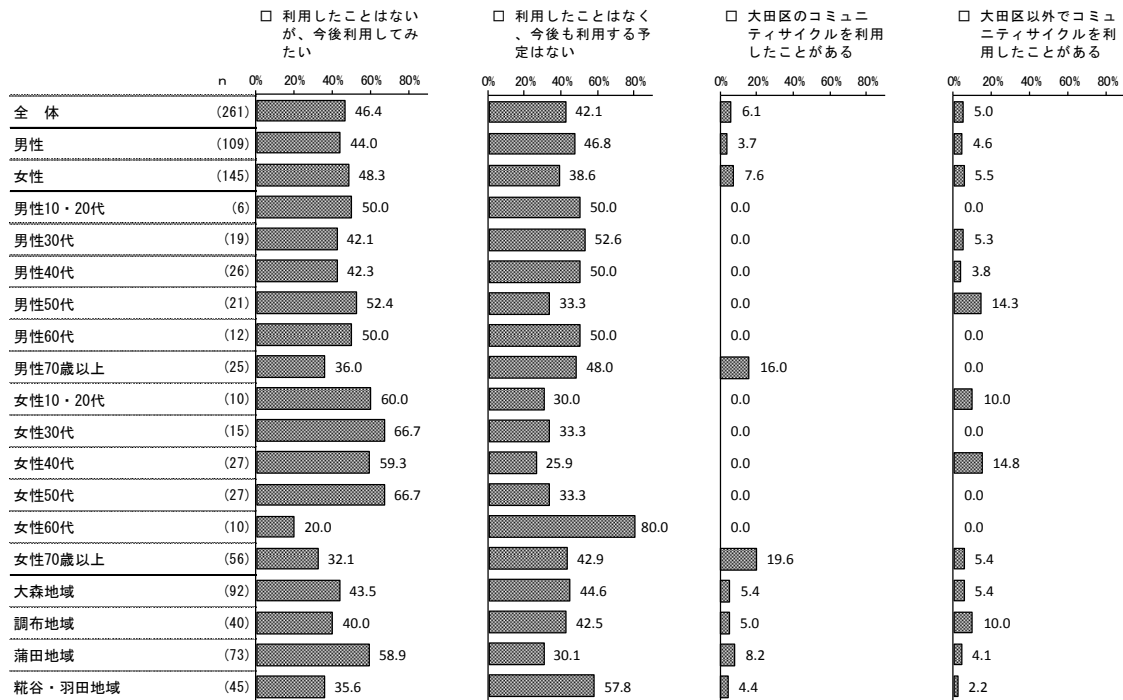
問 13-1 あなたはコミュニティサイクルを利用したことがありますか。(〇はいくつでも)



区内で「コミュニティサイクル」の運営を知っている方の中で「コミュニティサイクル」の利用の有無について聞いたところ、「利用したことはないが、今後利用してみたい」が46.4%で最も高く、次いで「利用したことはなく、今後も利用する予定はない」(42.1%)となっている。一方で、「大田区のコミュニティサイクルを利用したことがある」は6.1%となっている。

【大田区のコミュニティサイクル利用の有無】

(性別・性/年代別・地域別 上位4項目)



性別にみると、「利用したことはないが、今後利用してみたい」では『女性』(48.3%)が『男性』(44.0%)よりも4.3ポイント高く、「利用したことはなく、今後も利用する予定はない」では『男性』(46.8%)が『女性』(38.6%)より8.2ポイント高くなっている。

性/年代別にみると、「利用したことはないが、今後利用してみたい」では女性の10・20代30代50代で6割を超えている。

地域別では、「利用したことはないが、今後利用してみたい」では『蒲田地域』が58.9%で最も高くなっている。

・問 13-1 と問 17

『コミュニティサイクルの利用有無』 × 『公共交通機関の環境』

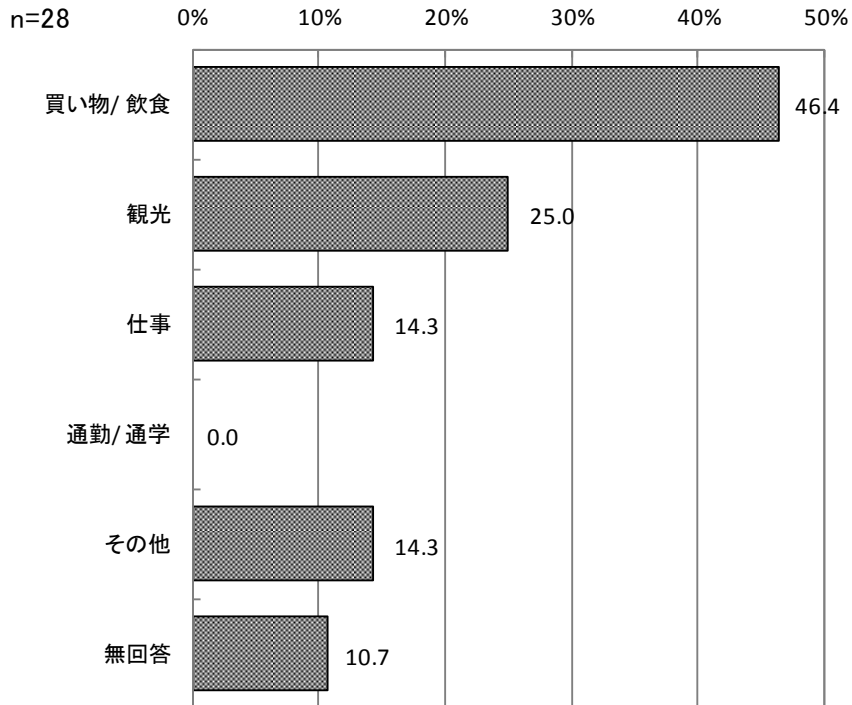
[上段：件数/下段：%]

		コミュニティサイクルの利用有無					
		全 体	大田区 のサイ クルが ある	大田区 以外 のサイ クルが ある	大田区 以外 のサイ クルを 利用し ない	利用し たこと はない	利用し たこと はない が、今 後利用 する予 定は
公共交通 機関の 環境	全 体	261 100.0	16 6.1	13 5.0	121 46.4	110 42.1	2 0.8
	とても利用しやすい	137 100.0	10 7.3	6 4.4	65 47.4	56 40.9	-
	まあまあ利用しやすい	97 100.0	2 2.1	7 7.2	43 44.3	44 45.4	2 2.1
	あまり利用しやすすくない	18 100.0	2 11.1	-	9 50.0	7 38.9	-
	不便である	9 100.0	2 22.2	-	4 44.4	3 33.3	-

・コミュニティサイクルの利用目的

【問 13-1 で「1」または「2」と回答された方】

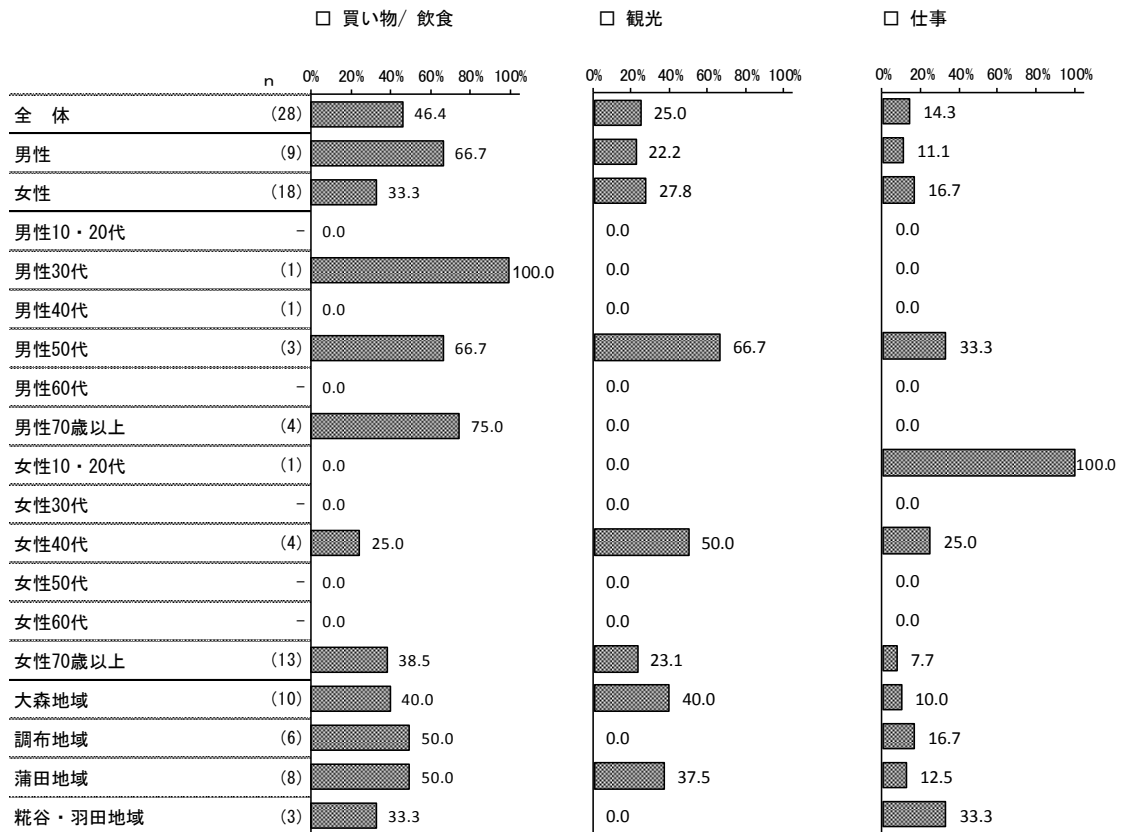
問 13-1-1 コミュニティサイクルの利用目的は何ですか。(〇はいくつでも)



コミュニティサイクルを利用したことがある方の中で利用目的について聞いたところ、「買い物/ 飲食」が46.4%で最も高く、次いで「観光」(25.0%)、「仕事」(14.3%)となっている。

「その他」では、『サークルの活動場所への移動』などが回答されている。

【コミュニティサイクルの利用目的】
 (性別・性/年代別・地域別 上位3項目)

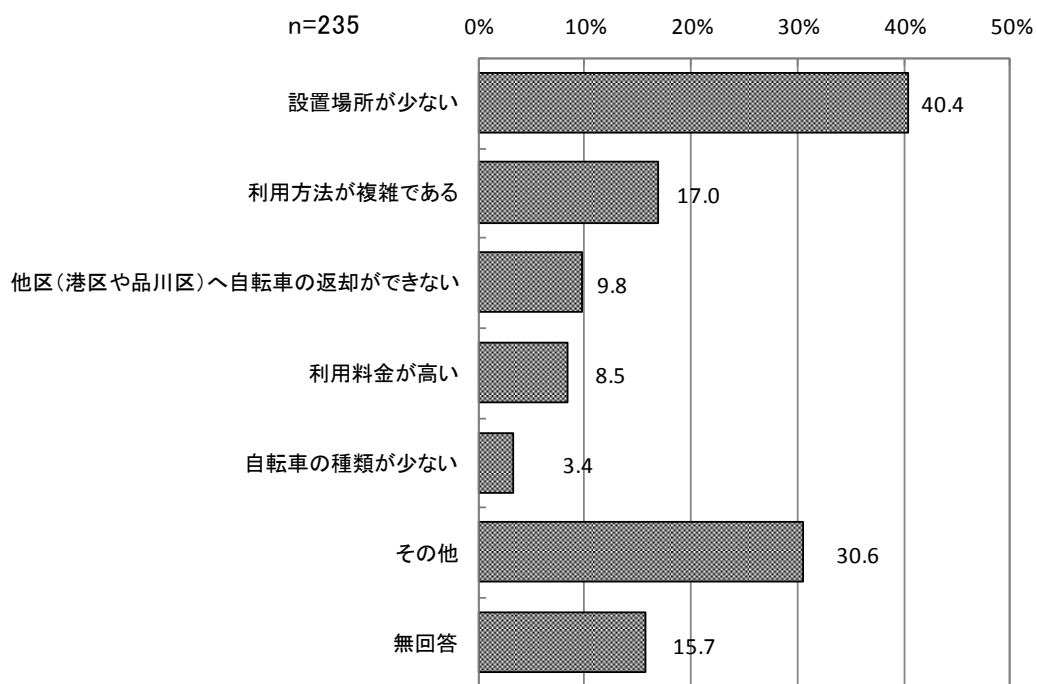


性別にみると、「買い物/飲食」では『男性』(66.7%)が『女性』(33.3%)より33.4ポイント高くなっている。

・コミュニティサイクルを利用しない理由

【問 13-1 で「3」または「4」と回答された方】

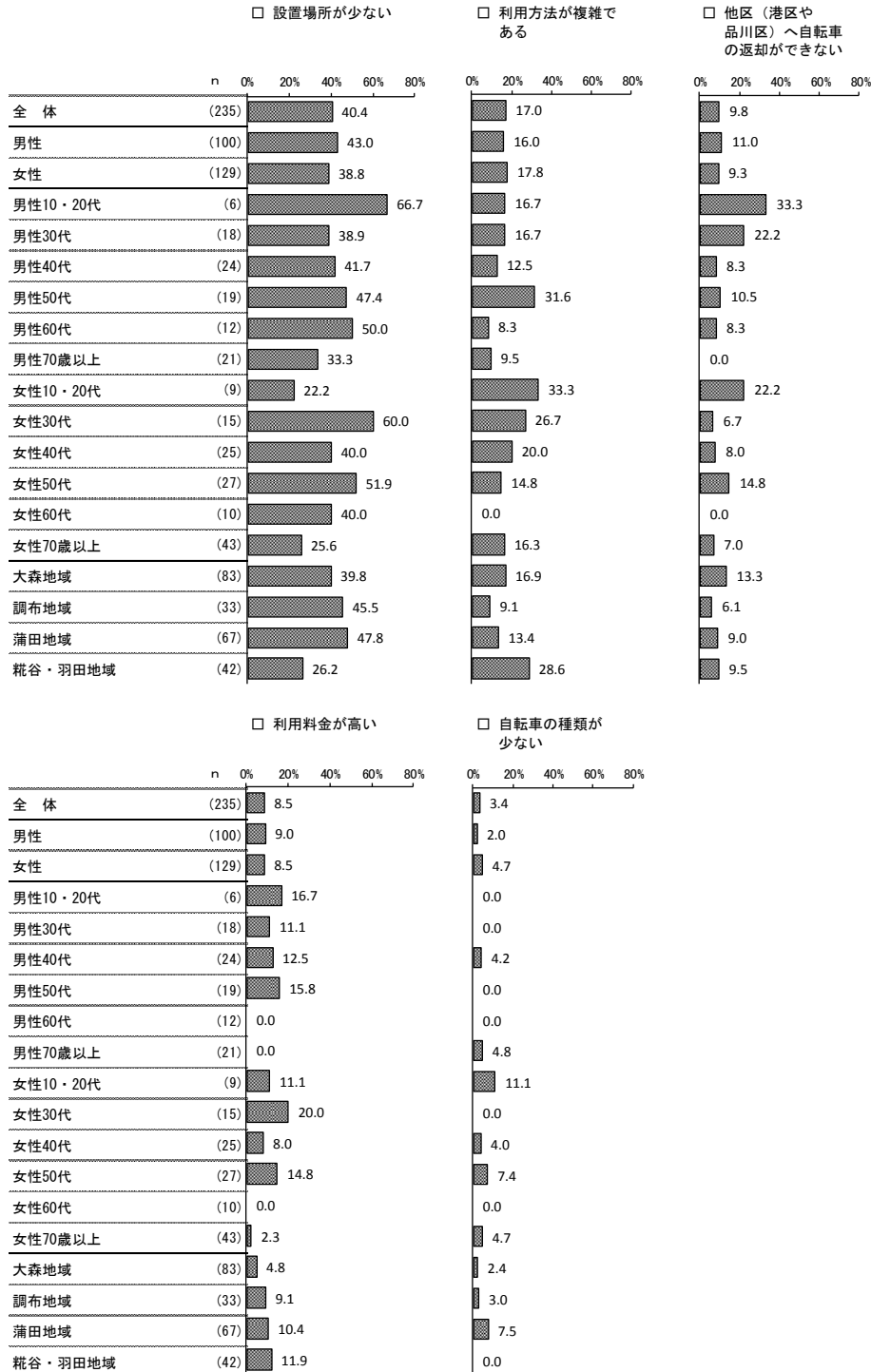
問 13-1-2 コミュニティサイクルを利用しない（利用したことがない）理由を教えてください。
（〇はいくつでも）



コミュニティサイクルを利用したことがない方の中で利用しない理由について聞いたところ、「設置場所が少ない」が40.4%で最も高く、次いで「利用方法が複雑である」(17.0%)、「他区(港区や品川区)へ自転車の返却ができない」(9.8%)となっている。「その他」では『自分の自転車に乗るため』や『自転車自体を乗らない・乗れない』等が多く挙げられているほか、『自分の自転車で間に合っている』、『設置場所がどこにあるのか分からない』などが回答されている。

【コミュニティサイクルを利用しない理由】

(性別・性/年代別・地域別 上位5項目)



性別にみると、「設置場所が少ない」では『男性』(43.0%)が『女性』(38.8%)より4.2ポイント高くなっている。

・問13-1-2と問17

『コミュニティサイクルを利用しない理由』 × 『公共交通機関の環境』

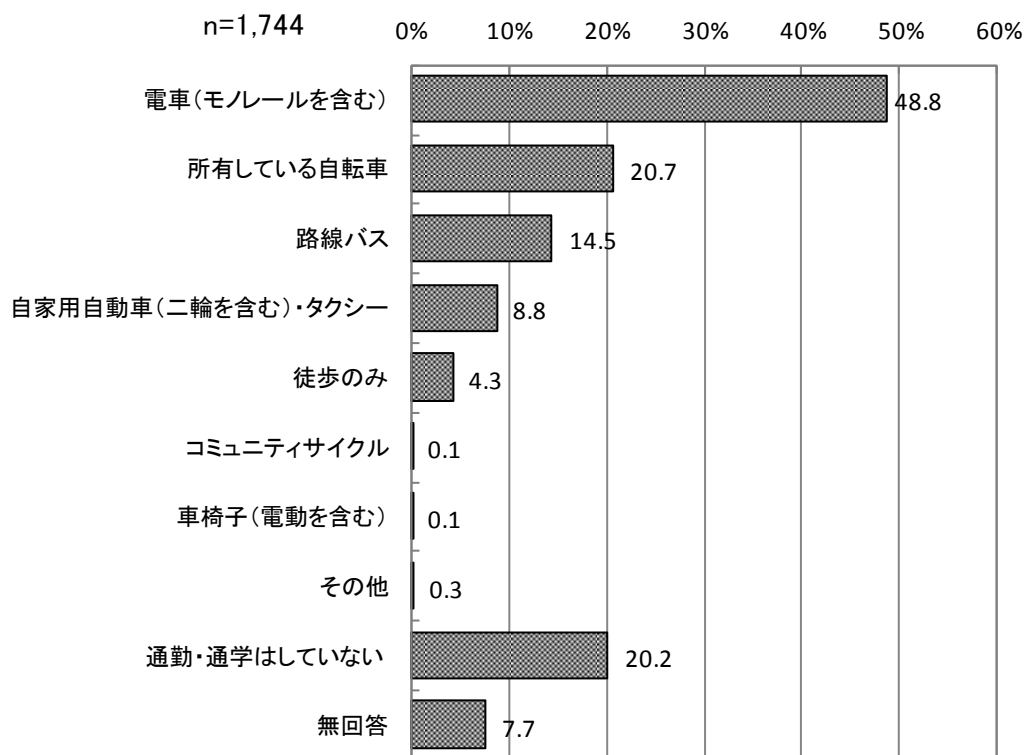
[上段：件数/下段：%]

		コミュニティサイクルを利用しない理由							
		全 体	設 置 場 所 が 少 な い	利 用 方 法 が 複 雑 で あ る	自 転 車 の 種 類 が 少 な い	利 用 料 金 が 高 い	な い へ 自 転 車 の 返 却 が で き な い	他 区 （ 港 区 や 品 川 区 ）	そ の 他
公 共 交 通 機 関 の 環 境	全 体	235 100.0	95 40.4	40 17.0	8 3.4	20 8.5	23 9.8	72 30.6	37 15.7
	とても利用しやすい	122 100.0	45 36.9	15 12.3	6 4.9	11 9.0	13 10.7	35 28.7	23 18.9
	まあまあ利用しやすい	90 100.0	40 44.4	17 18.9	1 1.1	6 6.7	8 8.9	30 33.3	14 15.6
	あまり利用しやすすくない	16 100.0	5 31.3	6 37.5	1 6.3	1 6.3	1 6.3	4 25.0	-
	不便である	7 100.0	5 71.4	2 28.6	-	2 28.6	1 14.3	3 42.9	-

(9) 交通手段について

・通勤・通学に使う交通手段

問 14 あなたが通勤・通学に使う交通手段は何ですか。(〇はいくつでも)

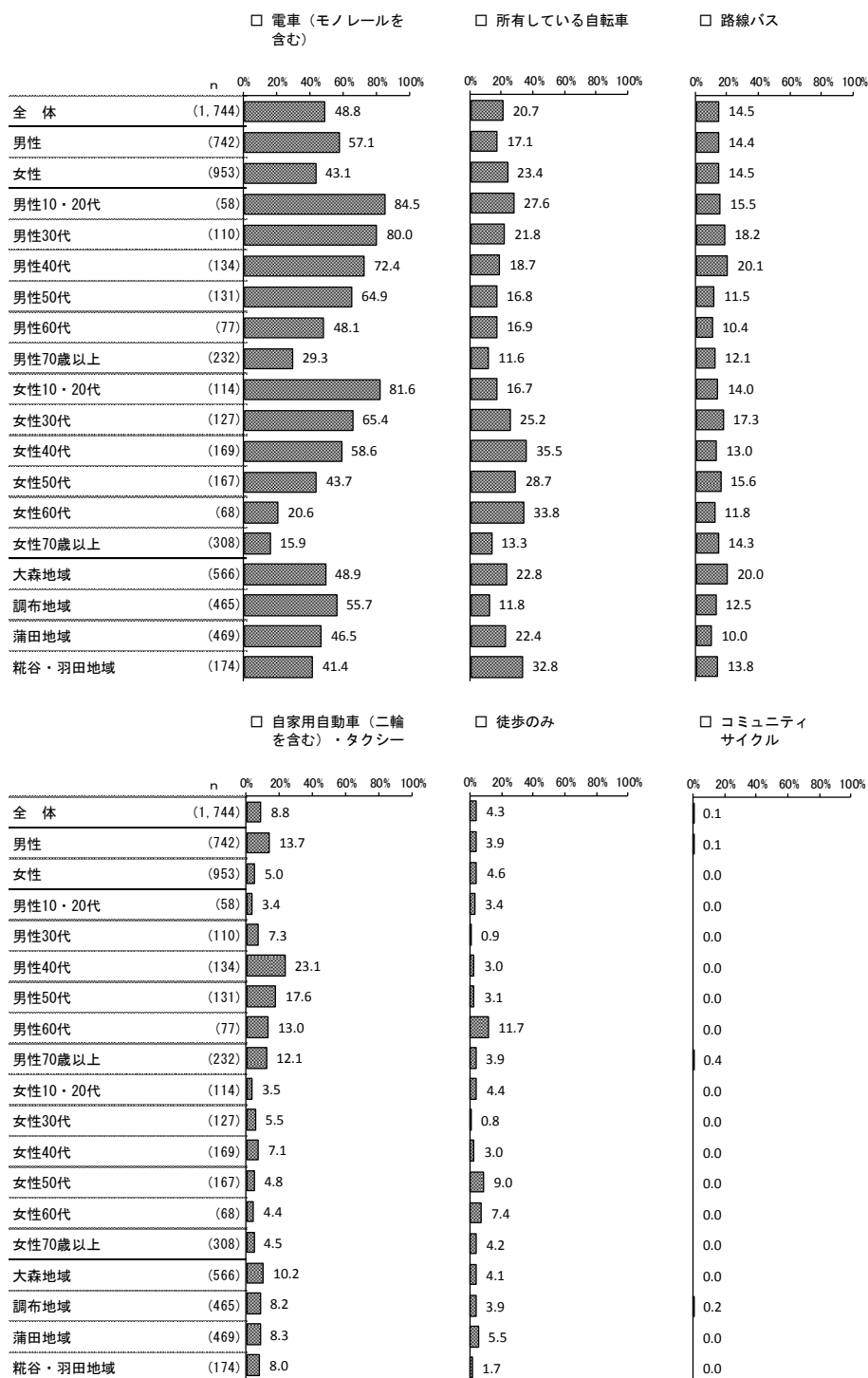


※「徒歩」は移動の途中は含まず、「徒歩のみ」として集計した。

通勤・通学に使う交通手段について聞いたところ、「電車(モノレールを含む)」が48.8%で最も高く、次いで「所有している自転車」(20.7%)、「路線バス」(14.5%)となっている。

一方で、「通勤・通学はしていない」は20.2%となっている。

【通勤・通学に使う交通手段】
 (性別・性/年代別・地域別 上位6項目)



性別にみると、「電車 (モノレールを含む)」では『男性』(57.1%)が『女性』(43.1%)より14.0ポイント高くなっている。

性/年代別では、「電車 (モノレールを含む)」では男女とも年齢が上がるにつれ、割合が低くなっている。

・問 14 と問 10

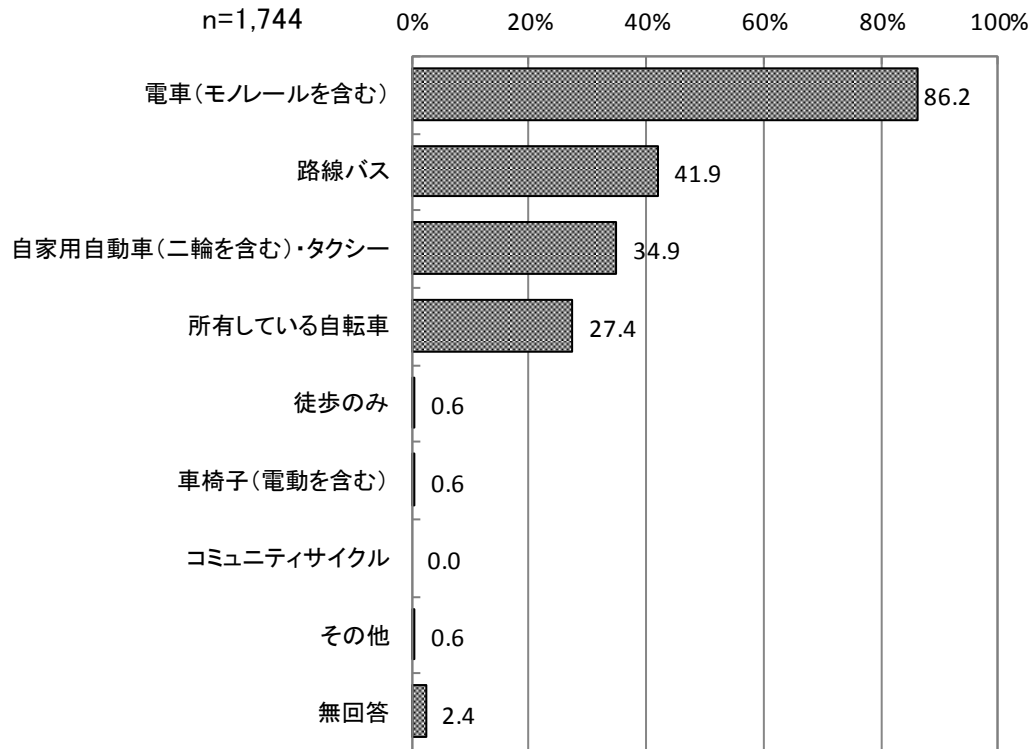
『通勤・通学の交通手段』 × 『走行環境の認知度』

[上段：件数/下段：%]

		通勤・通学の交通手段										
		全 体	電 車 （ モノ レール を 含 む）	路 線 バ ス	自 家 用 自 動 車 （ 二 輪 を 含 む） ・ タ ク シ ー	所 有 し て い る 自 転 車	コ ミ ュ ニ テ イ サ イ ク ル	徒 歩 の み	車 椅子 （ 電 動 を 含 む）	そ の 他	い 通 勤 ・ 通 学 は し て い な い	無 回 答
走 行 環 境 の 認 知 度	全 体	1,744 100.0	851 48.8	253 14.5	153 8.8	361 20.7	1 0.1	75 4.3	2 0.1	6 0.3	353 20.2	135 7.7
	知っている	1,071 100.0	500 46.7	165 15.4	114 10.6	298 27.8	1 0.1	40 3.7	1 0.1	3 0.3	203 19.0	66 6.2
	知らない	653 100.0	348 53.3	87 13.3	39 6.0	60 9.2	- -	35 5.4	1 0.2	3 0.5	149 22.8	54 8.3

・都内へ出かける際に使う交通手段

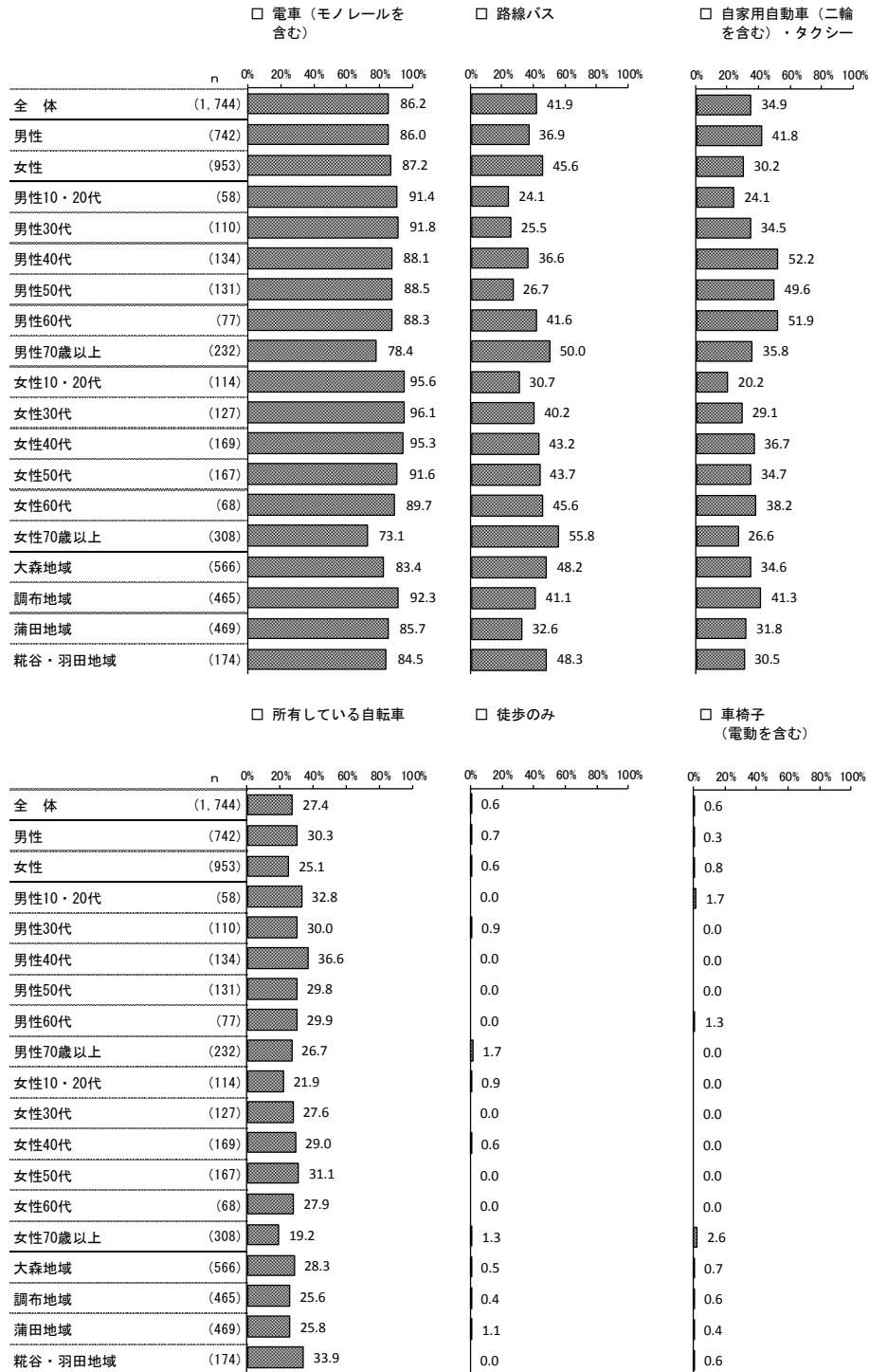
問 15 あなたが通勤・通学以外で都内（大田区以外の区）へ出かける際に使う交通手段は何ですか。（〇はいくつでも）



※「徒歩」は移動の途中は含まず、「徒歩のみ」として集計した。

通勤・通学以外で都内へ出かける際の交通手段について聞いたところ、「電車(モノレールを含む)」が86.2%で最も高く、次いで「路線バス」(41.9%)、「自家用自動車(二輪を含む)・タクシー」(34.9%)、「所有している自転車」(27.4%)となっている。

【都内へ出かける際に使う交通手段】 (性別・性/年代別・地域別 上位6項目)



性/年代別にみると、「路線バス」では『男性70歳以上』『女性70歳以上』が5割以上となっている。

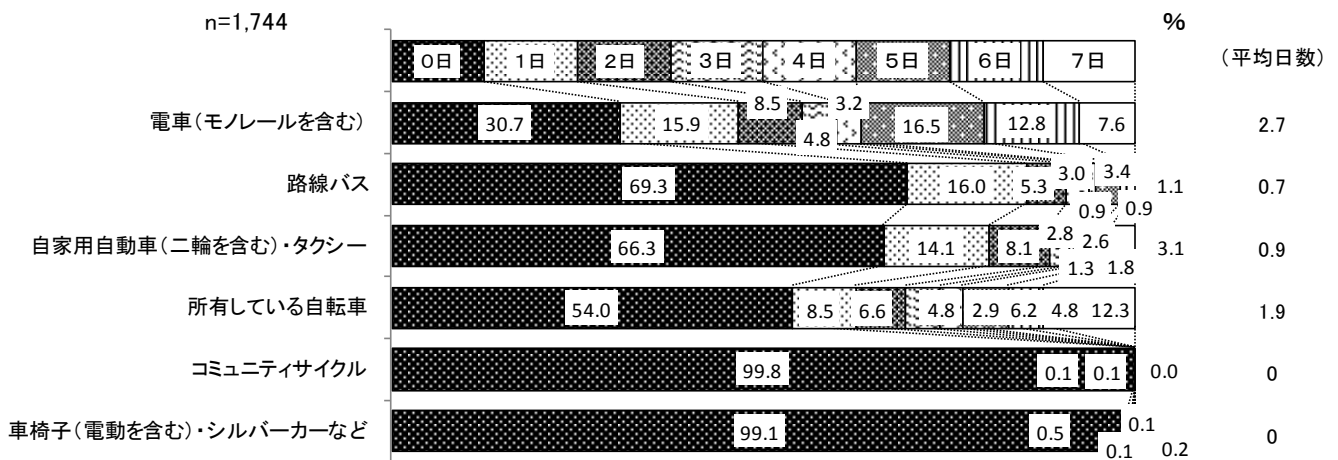
・問 15 と問 10

『大田区以外への交通手段』 × 『走行環境の認知度』

		大田区以外への交通手段									
		全 体	電 車 （ モ ノ レ ー ル を 含 む）	路 線 バ ス	自 家 用 自 動 車 （ 二 輪 を 含 む） ・ タ ク シ ー	所 有 し て い る 自 転 車	コ ミ ュ ニ テ イ サ イ ク ル	徒 歩 の み	車 椅子 （ 電 動 を 含 む）	そ の 他	無 回 答
走 行 環 境 の 認 知 度	全 体	1,744 100.0	1,504 86.2	731 41.9	608 34.9	477 27.4	- -	11 0.6	10 0.6	11 0.6	41 2.4
	知っている	1,071 100.0	933 87.1	481 44.9	423 39.5	366 34.2	- -	6 0.6	2 0.2	7 0.7	13 1.2
	知らない	653 100.0	568 87.0	247 37.8	181 27.7	107 16.4	- -	5 0.8	7 1.1	4 0.6	17 2.6

・一週間でそれぞれの交通手段を利用する頻度

問 16 普段の生活をする一週間で、それぞれの交通手段を使用する頻度（日数）を教えてください。



1週間のうち、『電車(モノレールを含む)』を利用する頻度を聞いたところ、「0日」が30.7%で最も高く、次いで「5日」(16.5%)、「1日」(15.9%)となっており、平均は2.7日となっている。

1週間のうち、『路線バス』を利用する頻度を聞いたところ、「0日」が69.3%で最も高く、次いで「1日」(16.0%)、「2日」(5.3%)となっており、平均は0.7日となっている。

1週間のうち、『自家用自動車(二輪を含む)・タクシー』を利用する頻度を聞いたところ、「0日」が66.3%で最も高く、次いで「1日」(14.1%)、「2日」(8.1%)となっており、平均は0.9日となっている。

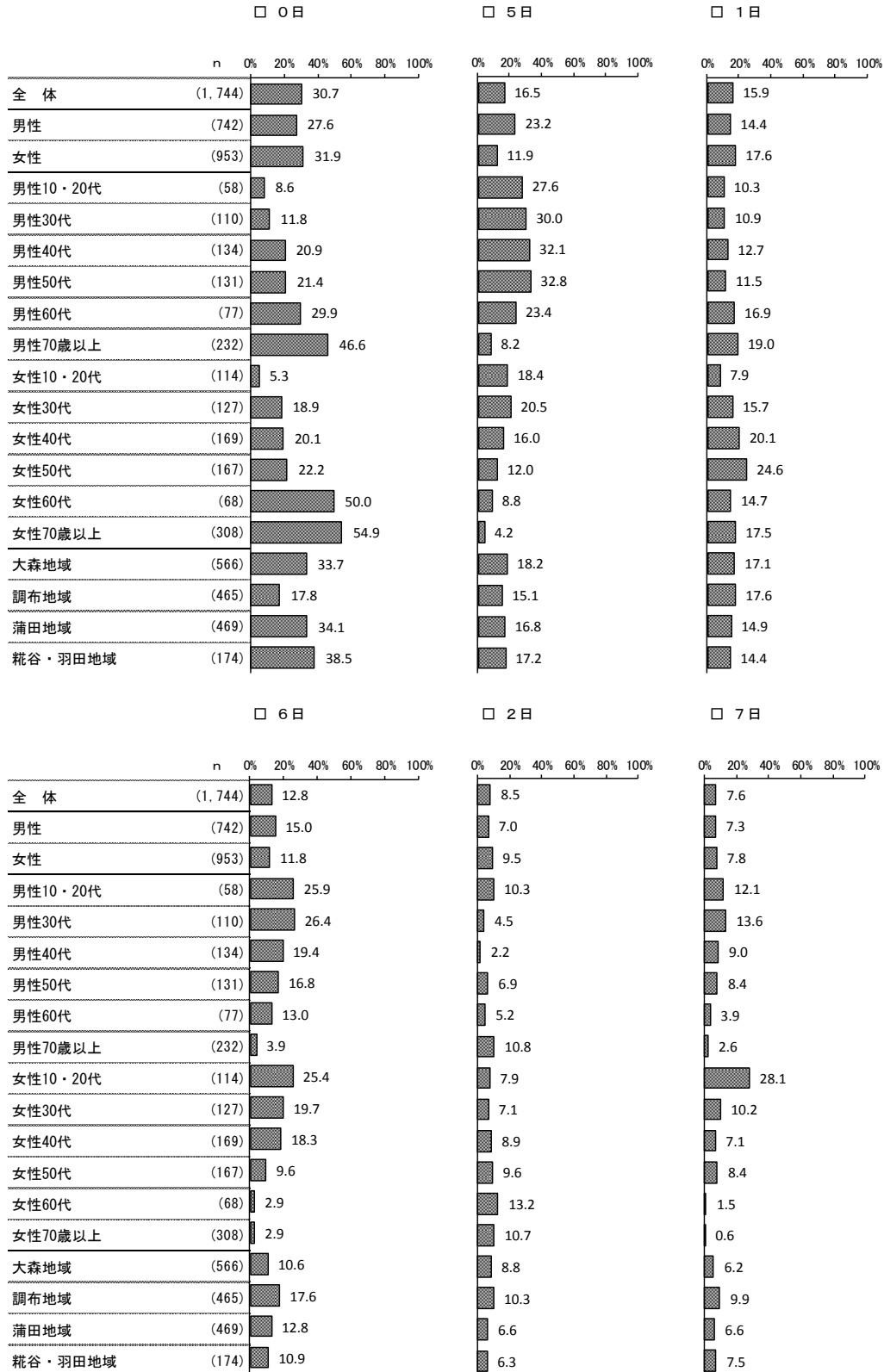
1週間のうち、『所有している自転車』を利用する頻度を聞いたところ、「0日」が54.0%で最も高く、次いで「7日」(12.3%)、「1日」(8.5%)となっており、平均は1.9日となっている。

1週間のうち、『コミュニティサイクル』を利用する頻度を聞いたところ、「0日」が99.8%で最も高く、次いで「1日」・「2日」(0.1%)となっており、平均は0日となっている。

1週間のうち、『車椅子(電動を含む)・シルバーカーなど』を利用する頻度を聞いたところ、「0日」が99.1%で最も高く、次いで「1日」(0.5%)、「7日」(0.2%)となっており、平均は0日となっている。

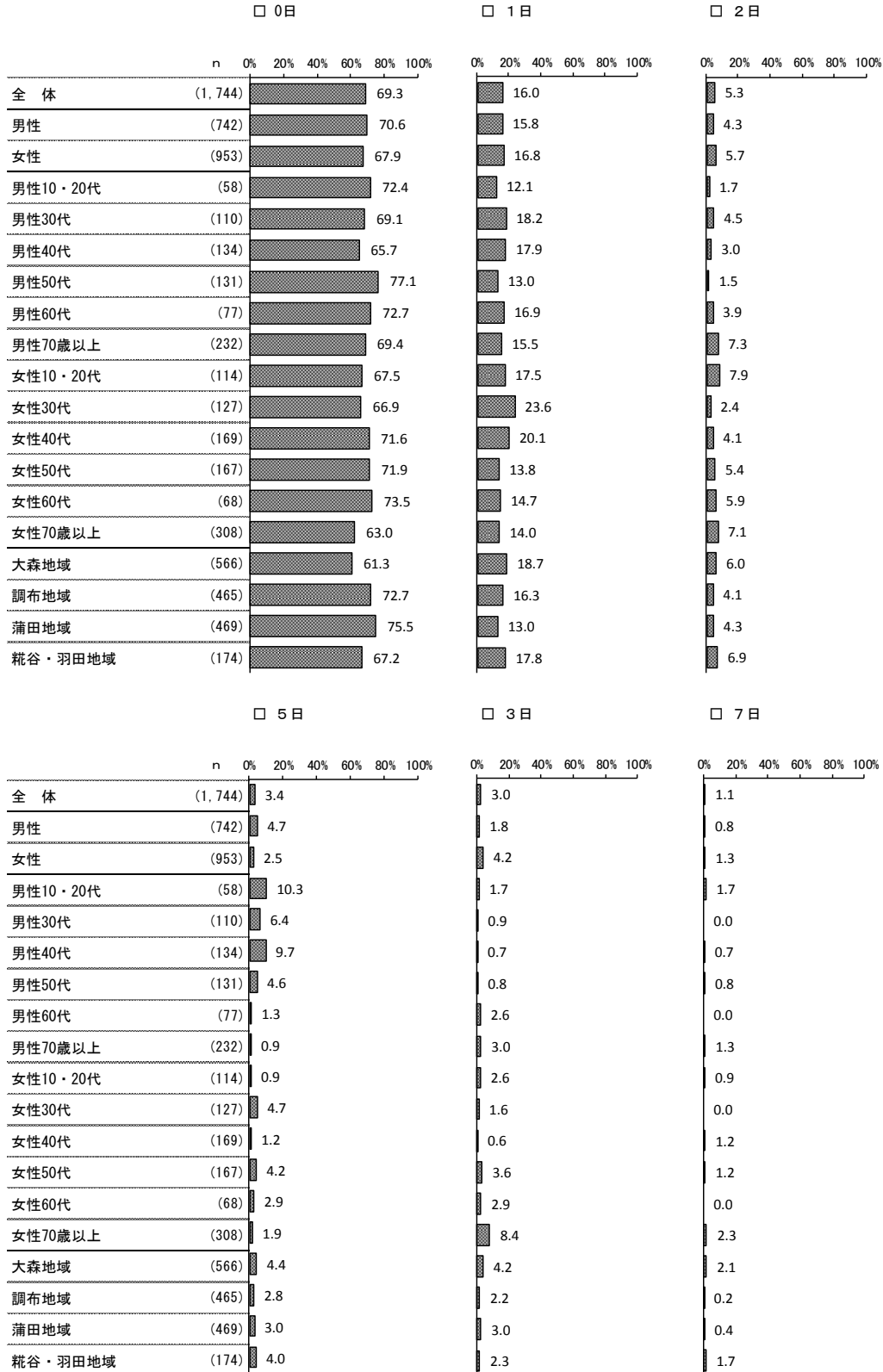
【一週間で電車（モノレールを含む）を利用する頻度】

（参考：性別・性/年代別・地域別 上位6項目）



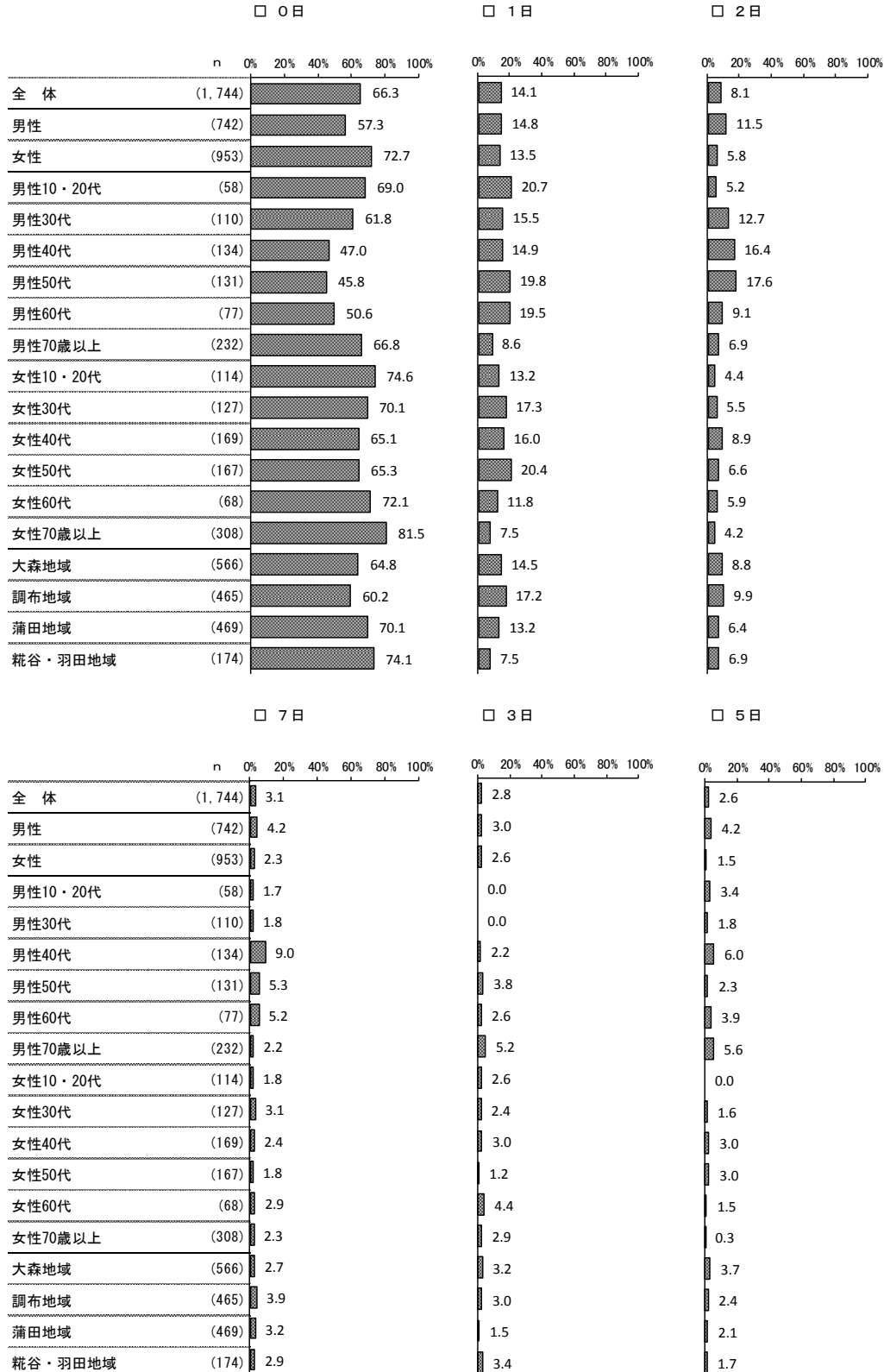
【一週間で路線バスを利用する頻度】

(参考：性別・性/年代別・地域別 上位6項目)



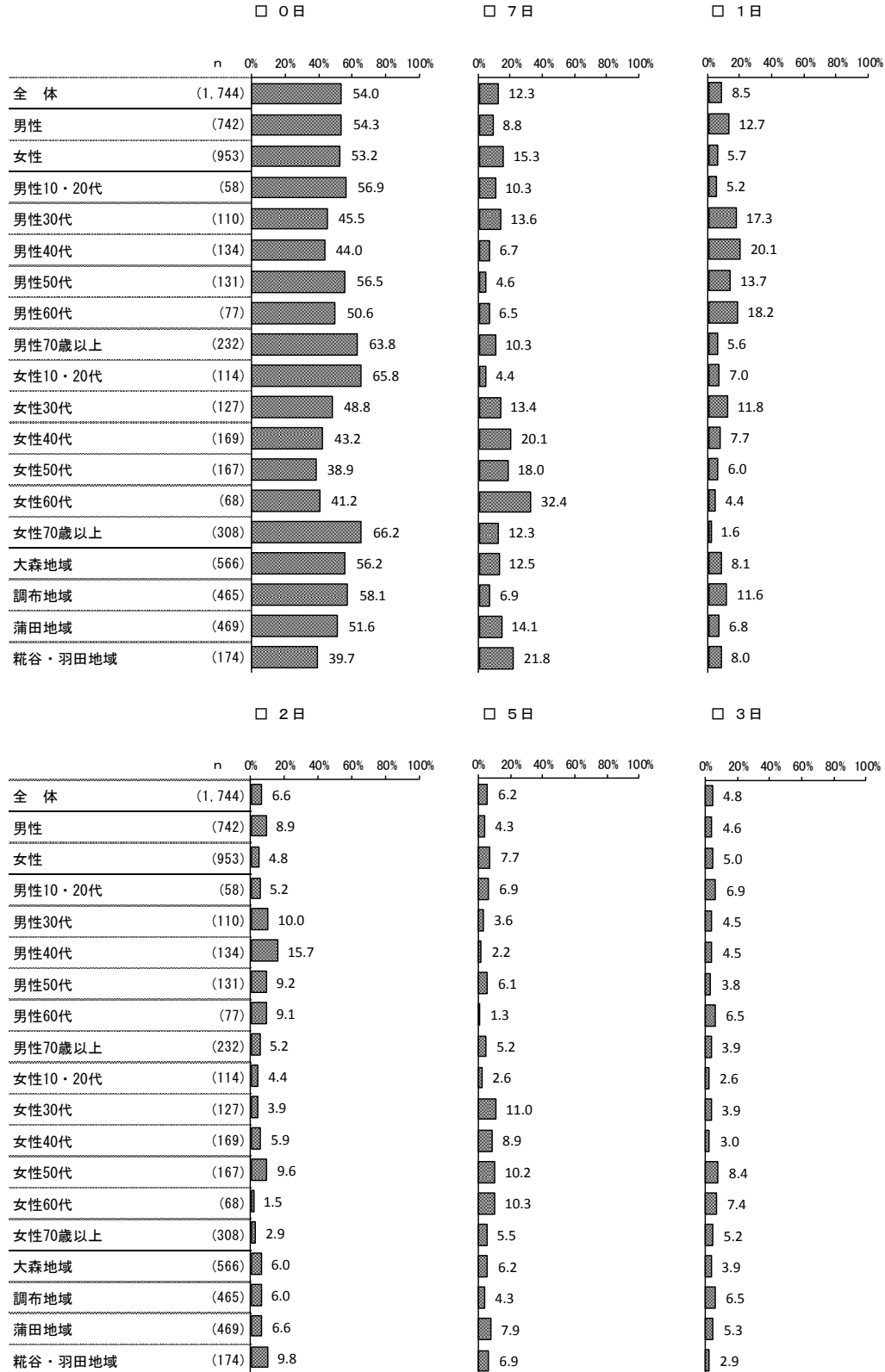
【一週間で自家用自動車（二輪を含む）・タクシーを利用する頻度】

（参考：性別・性/年代別・地域別 上位6項目）



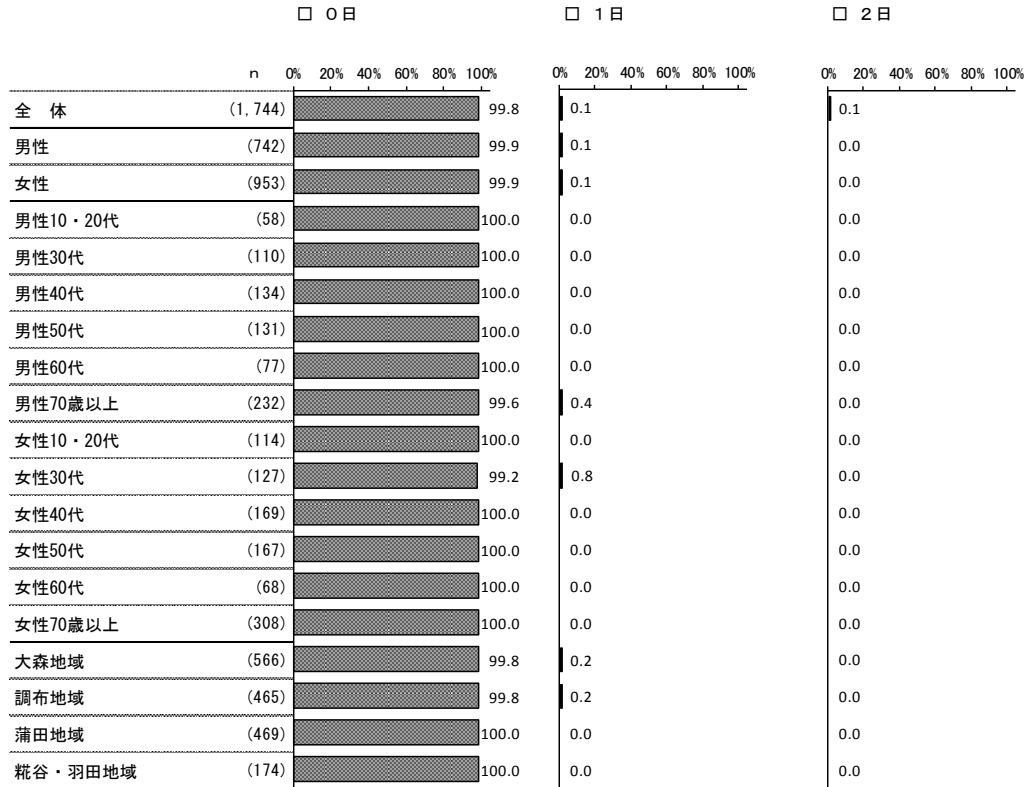
【一週間で所有している自転車を利用する頻度】

(参考：性別・性/年代別・地域別 上位6項目)



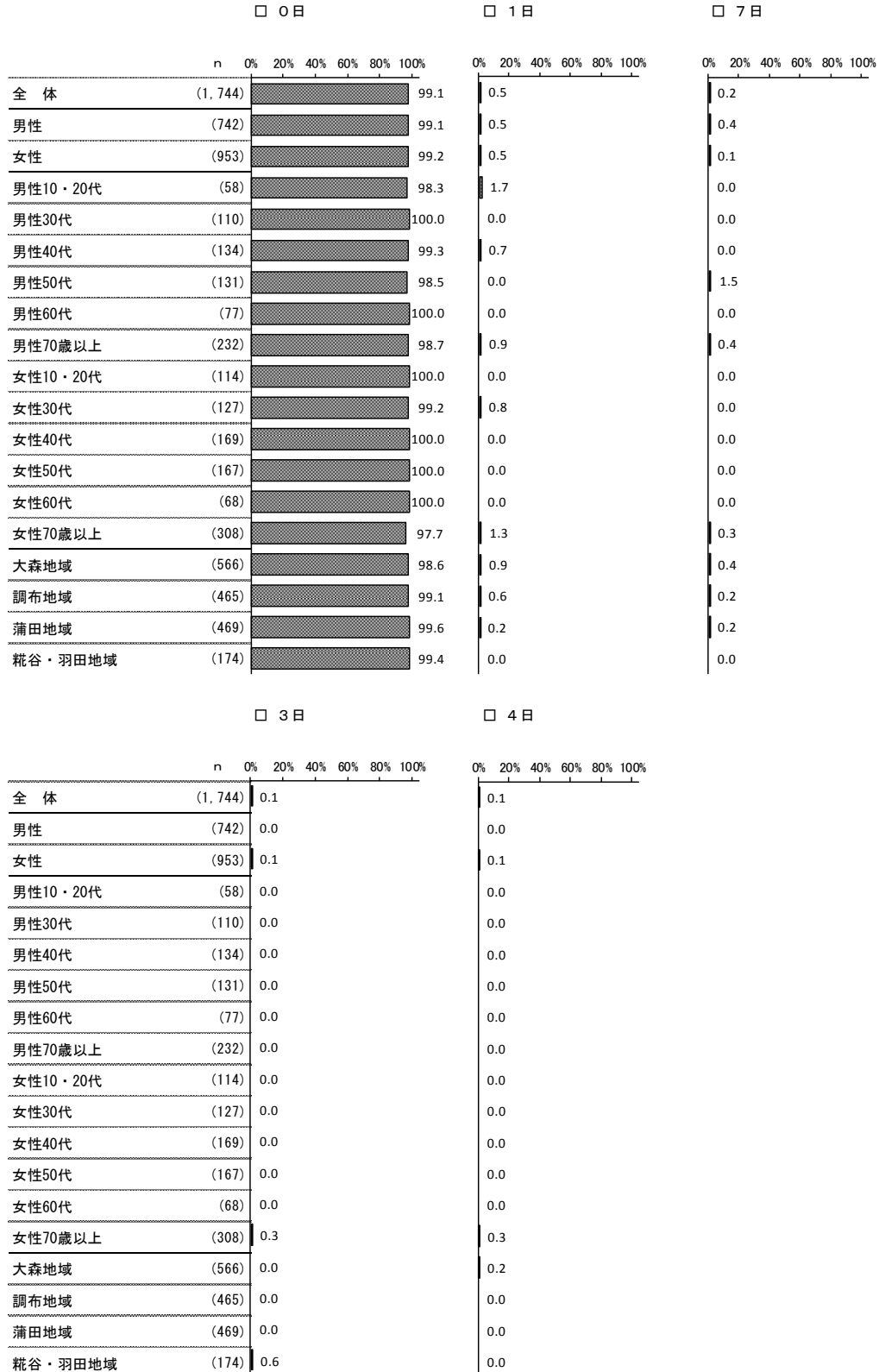
【一週間でコミュニティサイクルを利用する頻度】

(参考：性別・性/年代別・地域別 上位3項目)



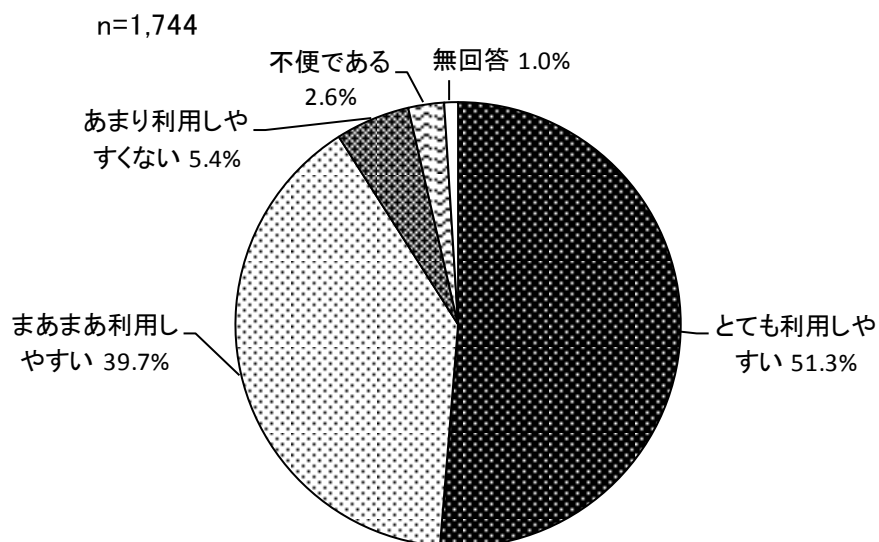
【一週間で車椅子（電動を含む）・シルバーカーなどを利用する頻度】

（参考：性別・性/年代別・地域別 上位5項目）



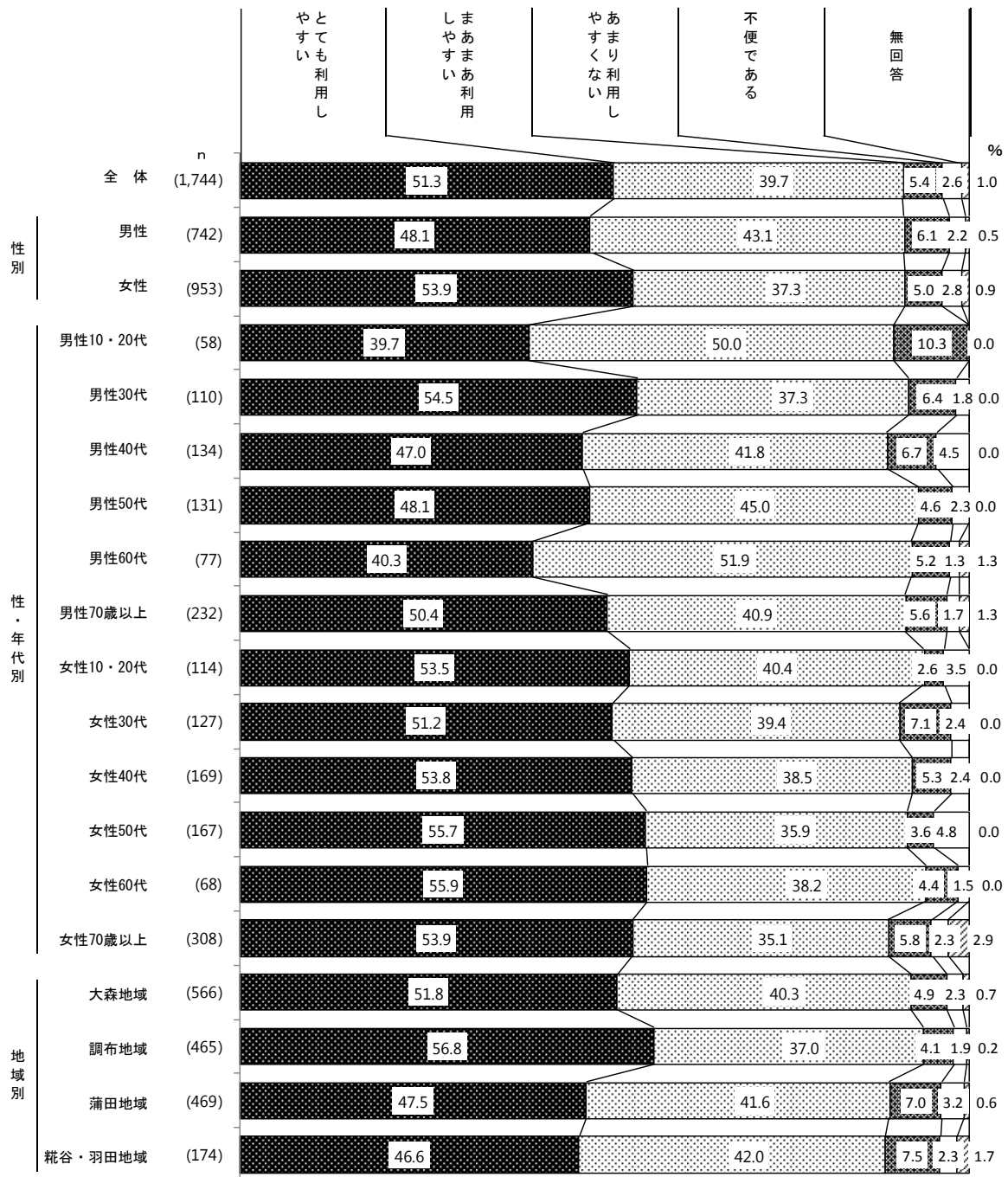
・公共交通網の利用環境について

問 17 あなたのご自宅の周辺は、近くにバス停や駅があるなど、公共交通機関が利用しやすい環境ですか。(〇は1つ)



自宅周辺の公共交通機関の利用環境について聞いたところ、「とても利用しやすい」が51.3%、「まあまあ利用しやすい」が39.7%となっており、《利用しやすい》と回答した方の割合は91.0%となっている。

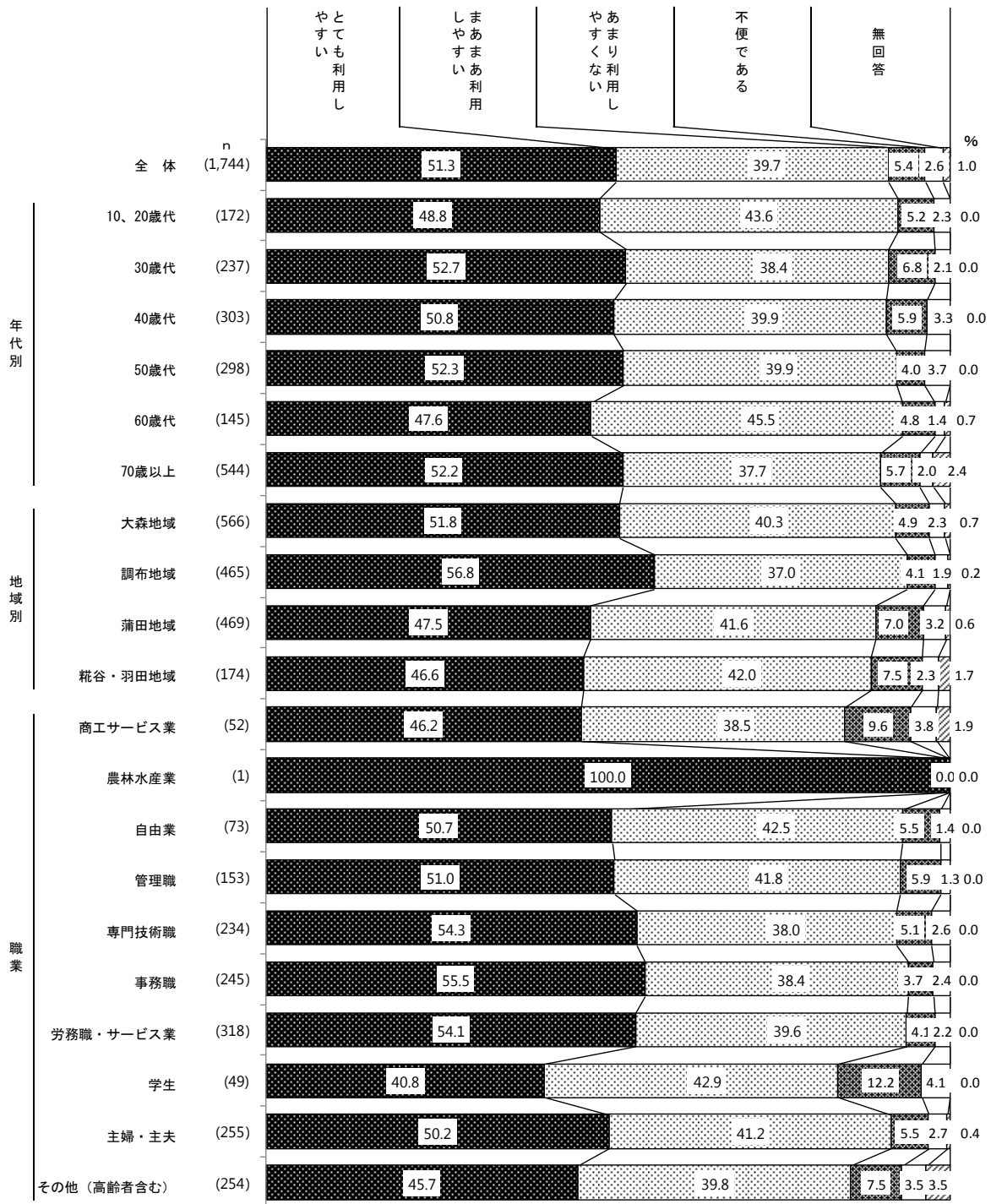
【公共交通網の利用環境について】
 (性別・性/年代別・地域別)



性別、性/年代別、地域別にみると、「《利用しやすい（「とても利用しやすい」＋「まあまあ利用しやすい」の合計）》ではどれも9割前後と高くなっている。

・問17とF2, F3, F5

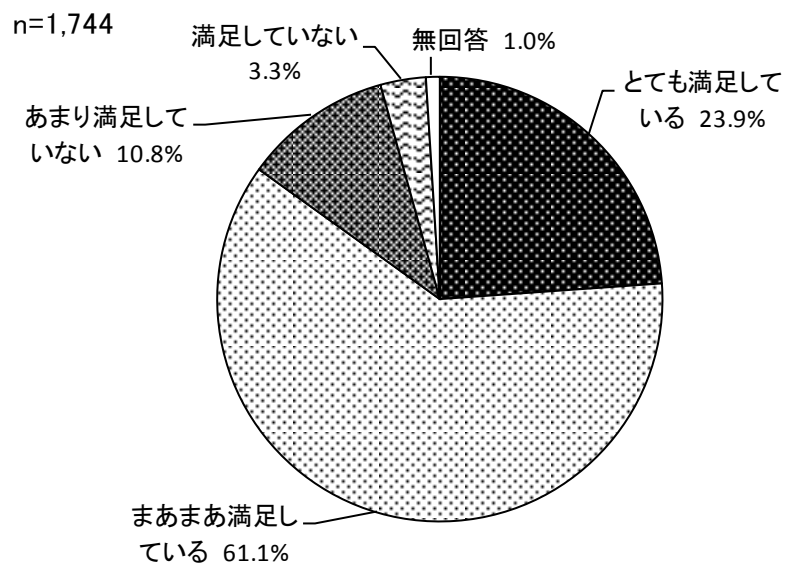
『公共交通機関の環境』 × 『年齢別』、『地域別』、『職業別』



年代別にみると、全ての年代においてほぼ9割の人が自宅周辺の公共交通環境を《「とても利用しやすい」+「まあまあ利用しやすい」の合計》と回答している。

・公共交通網の満足度について

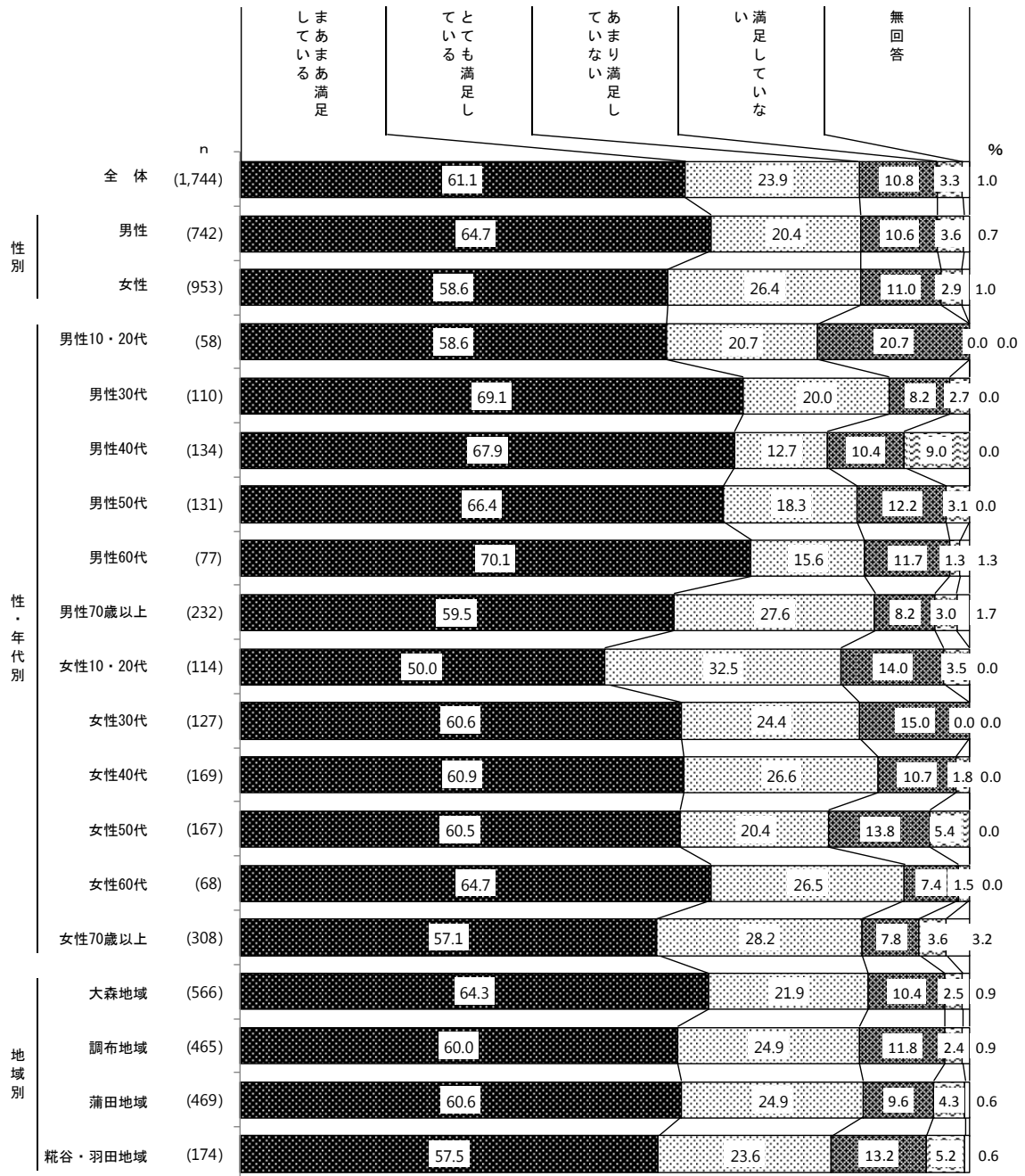
問 18 大田区内の公共交通網（電車・バスなど）に満足していますか。（○は1つ）



区内の公共交通網についての満足度を聞いたところ、「とても満足している」が23.9%、「まあまあ満足している」が61.1%となっており、《満足している》方の割合は85.0%となっている。

【公共交通網の満足度について】

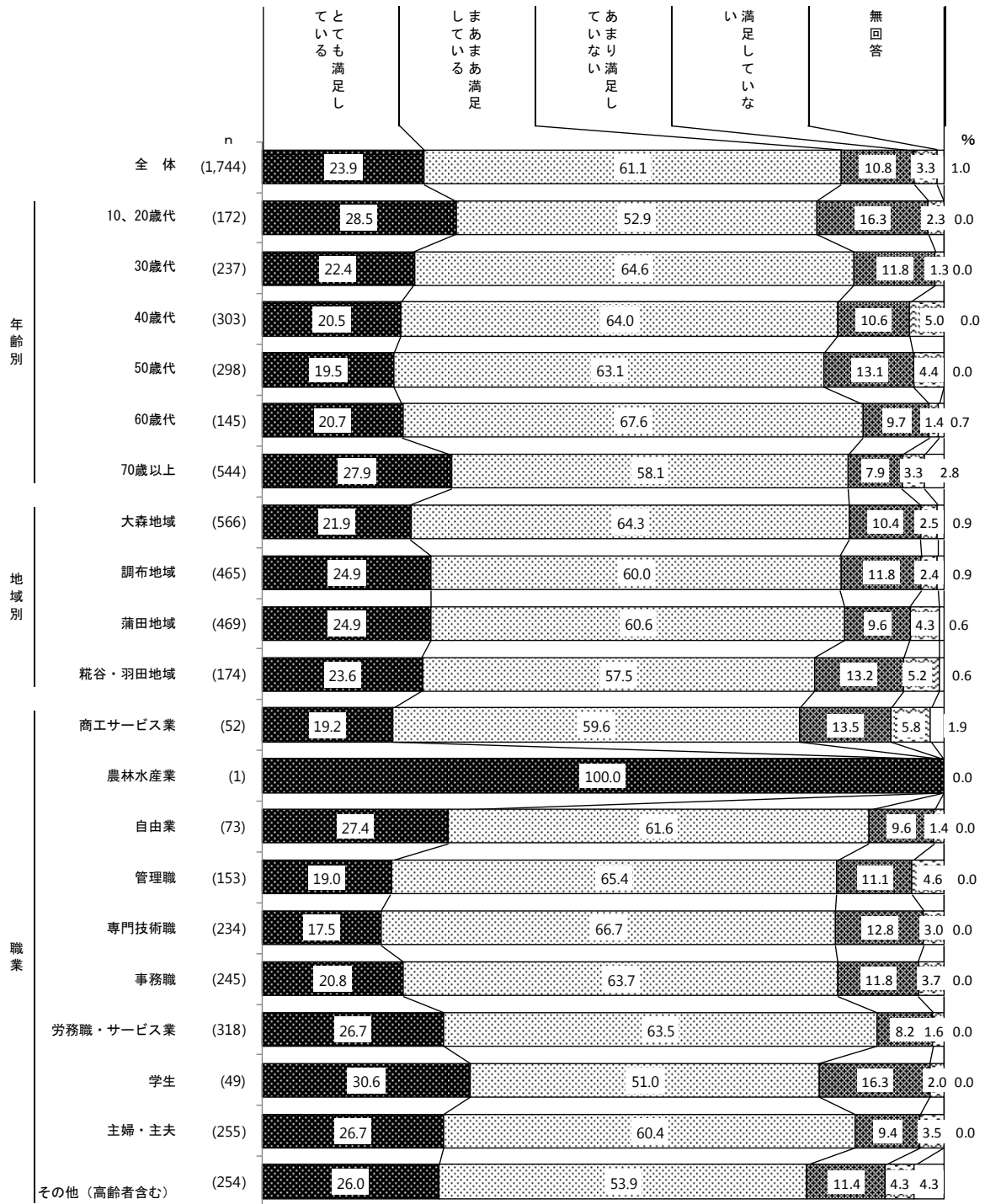
(性別・性/年代別・地域別)



性別、性/年代別、地位別にみると、「満足している（「とても満足している」＋「まあまあ満足している」の合計）」ではどれも8割前後と高くなっている。

・問 18 と F 2, F 3, F 5

『大田区の公共交通機関の満足度』 × 『年齢別』、『地域別』、『職業別』



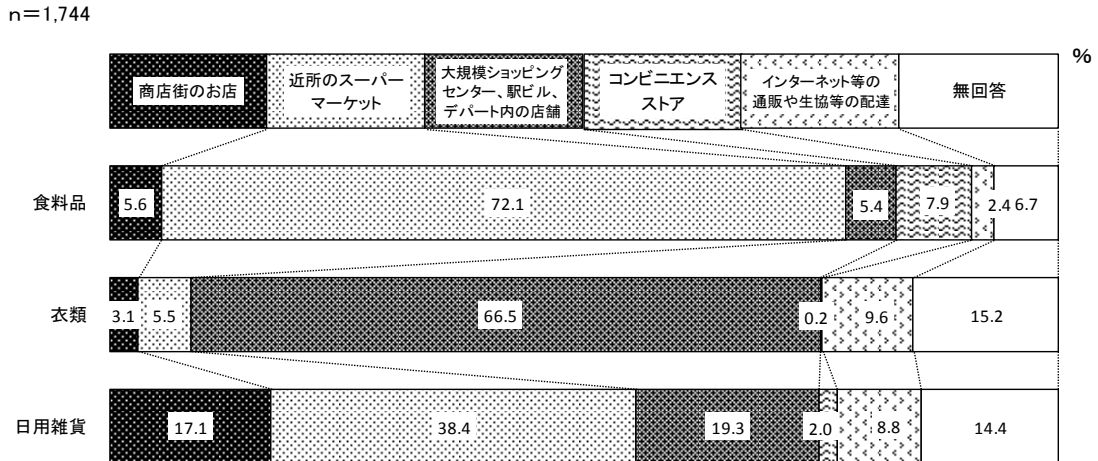
大田区の公共交通機関に《満足している（「とても満足している」＋「まあまあ満足している」の合計）》を地域別にみると、全ての地域で8割を超えている。

(10) 普段の買い物

・ 普段の買い物で利用するお店の業態

問 19 あなたが普段の買い物で利用するのはどのようなお店ですか。項目ごとに最も多く利用する業態とその理由をそれぞれ選択肢から1つ選んでください。

【普段の買い物で利用するお店の業態】



食料品を普段買うお店の業態を聞いたところ、「近所のスーパーマーケット」が72.1%で最も高く、次いで「コンビニエンスストア」(7.9%)、「商店街のお店」(5.6%)、「大規模ショッピングセンター、駅ビル・デパート内の店舗」(5.4%)となっている。

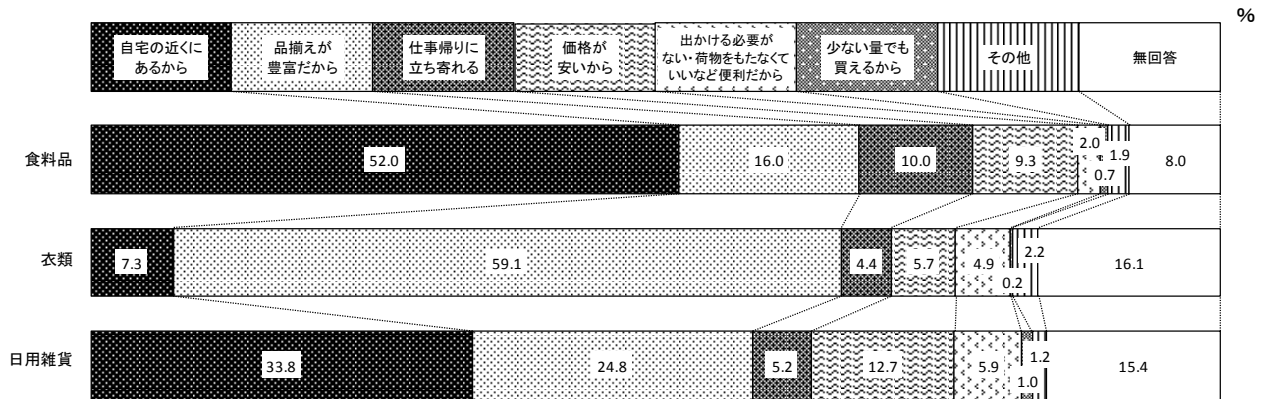
衣類を普段買うお店の業態を聞いたところ、「大規模ショッピングセンター、駅ビル・デパート内の店舗」が66.5%で最も高く、次いで「インターネット等の通販や生協等の配達」(9.6%)、「近所のスーパーマーケット」(5.5%)となっている。

日用雑貨を普段買うお店の業態を聞いたところ、「近所のスーパーマーケット」が38.4%で最も高く、次いで「大規模ショッピングセンター、駅ビル・デパート内の店舗」(19.3%)、「商店街のお店」(17.1%)となっている。

・ 普段の買い物で利用するお店の理由

【普段の買い物で利用するお店の理由】

n=1,744

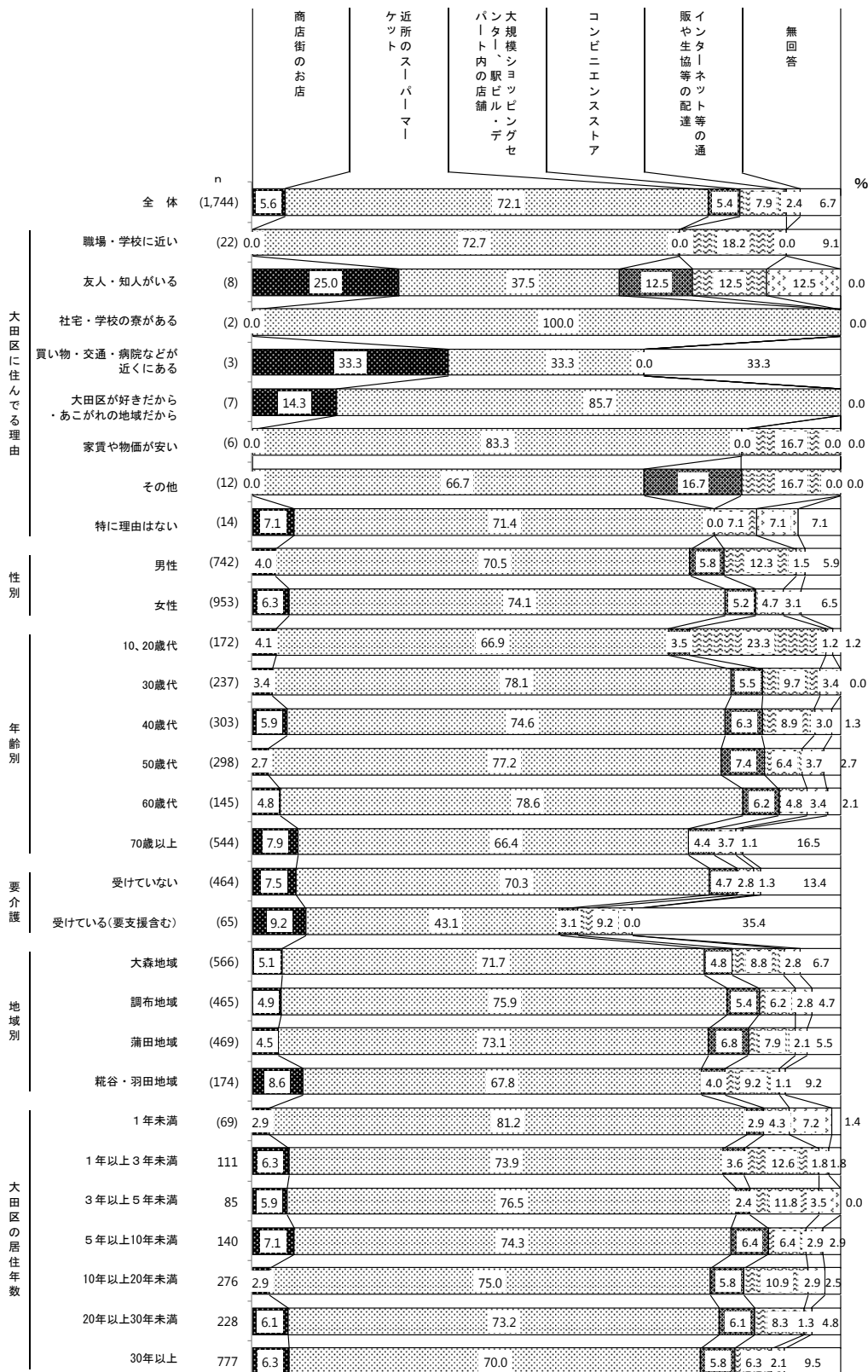


食料品を普段買うお店の理由について聞いたところ、「自宅の近くにあるから」が52.0%で最も高く、次いで「品揃えが豊富だから」(16.0%)、「仕事帰りに立ち寄れる」(10.0%)、「価格が安いから」(9.3%)となっている。

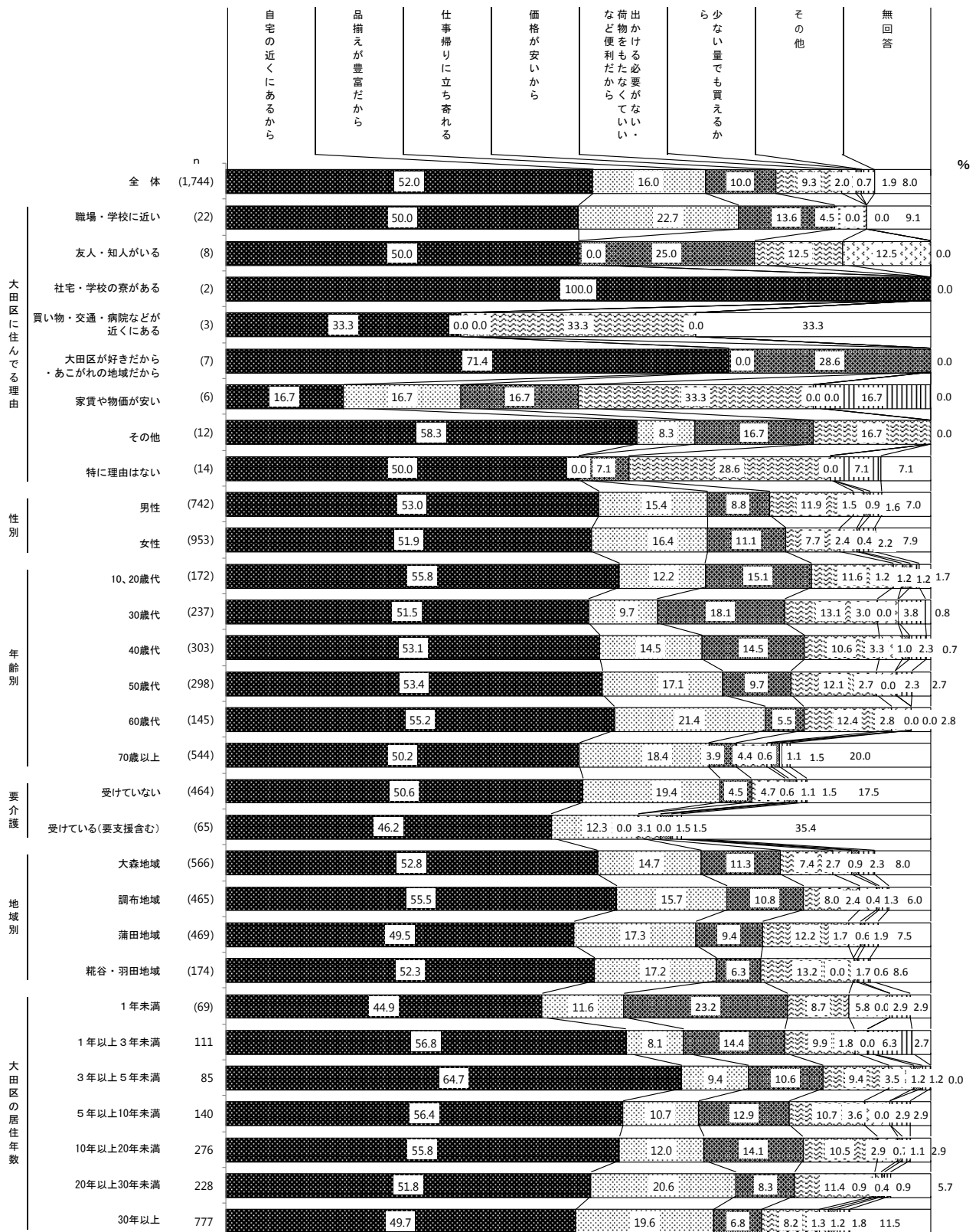
衣類を普段買うお店の理由について聞いたところ、「品揃えが豊富だから」が59.1%で最も高く、次いで「自宅の近くにあるから」(7.3%)、「価格が安いから」(5.7%)、「出かける必要がない・荷物を持たなくていいなど便利だから」(4.9%)となっている。

日用雑貨を普段買うお店の理由について聞いたところ、「自宅の近くにあるから」が33.8%で最も高く、次いで「品揃えが豊富だから」(24.8%)、「価格が安いから」(12.7%)となっている。

・問 19-1 (食料品・業態) と問 26、F1、F2、F2-1、F3、F9
『食料品 (業態)』 × 『大田区に住んでいる理由』等

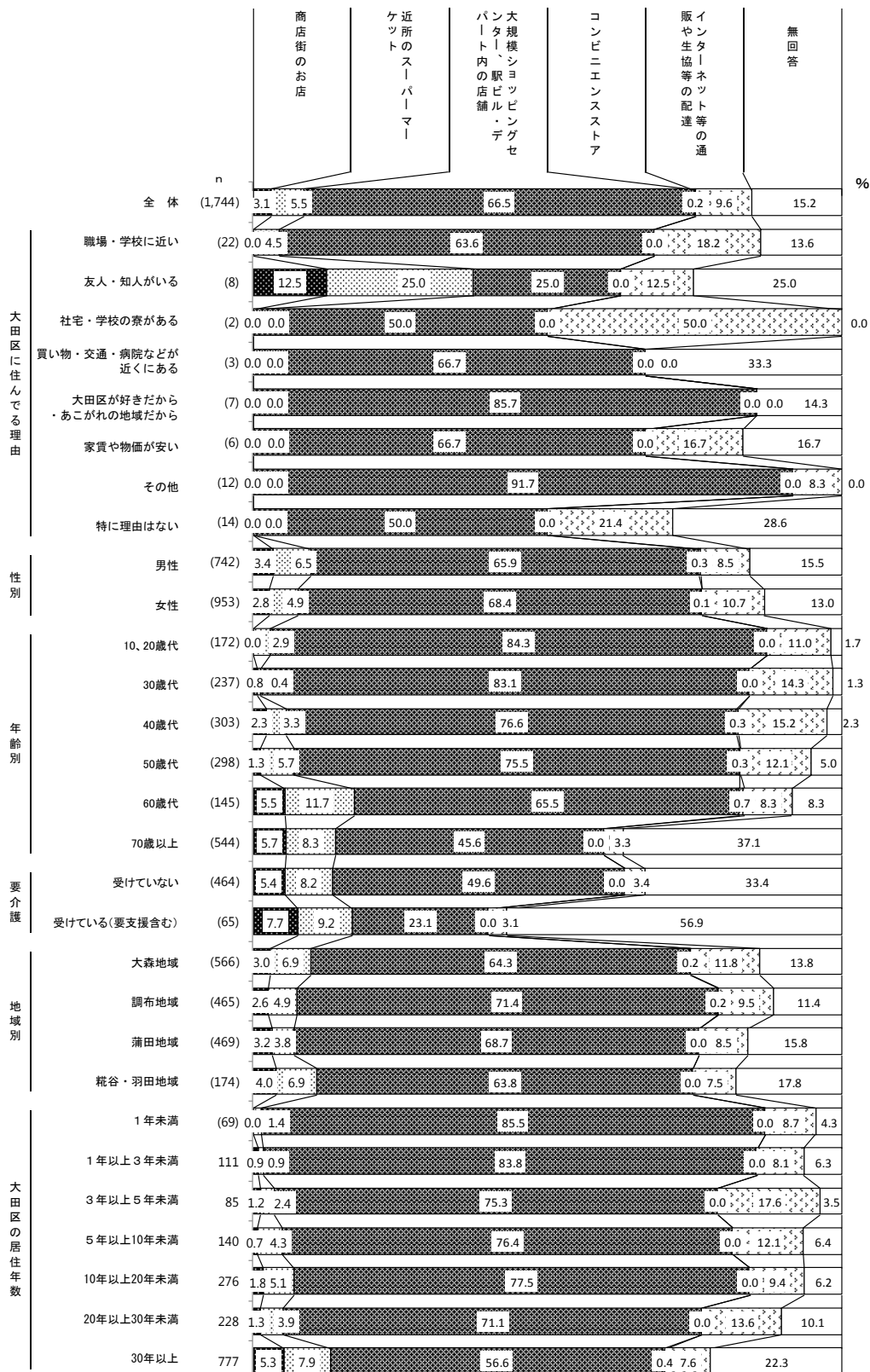


・問 19-1 (食料品・理由) と問 26、F1、F2、F2-1、F3、F9
『食料品 (理由)』 × 『大田区に住んでいる理由』等



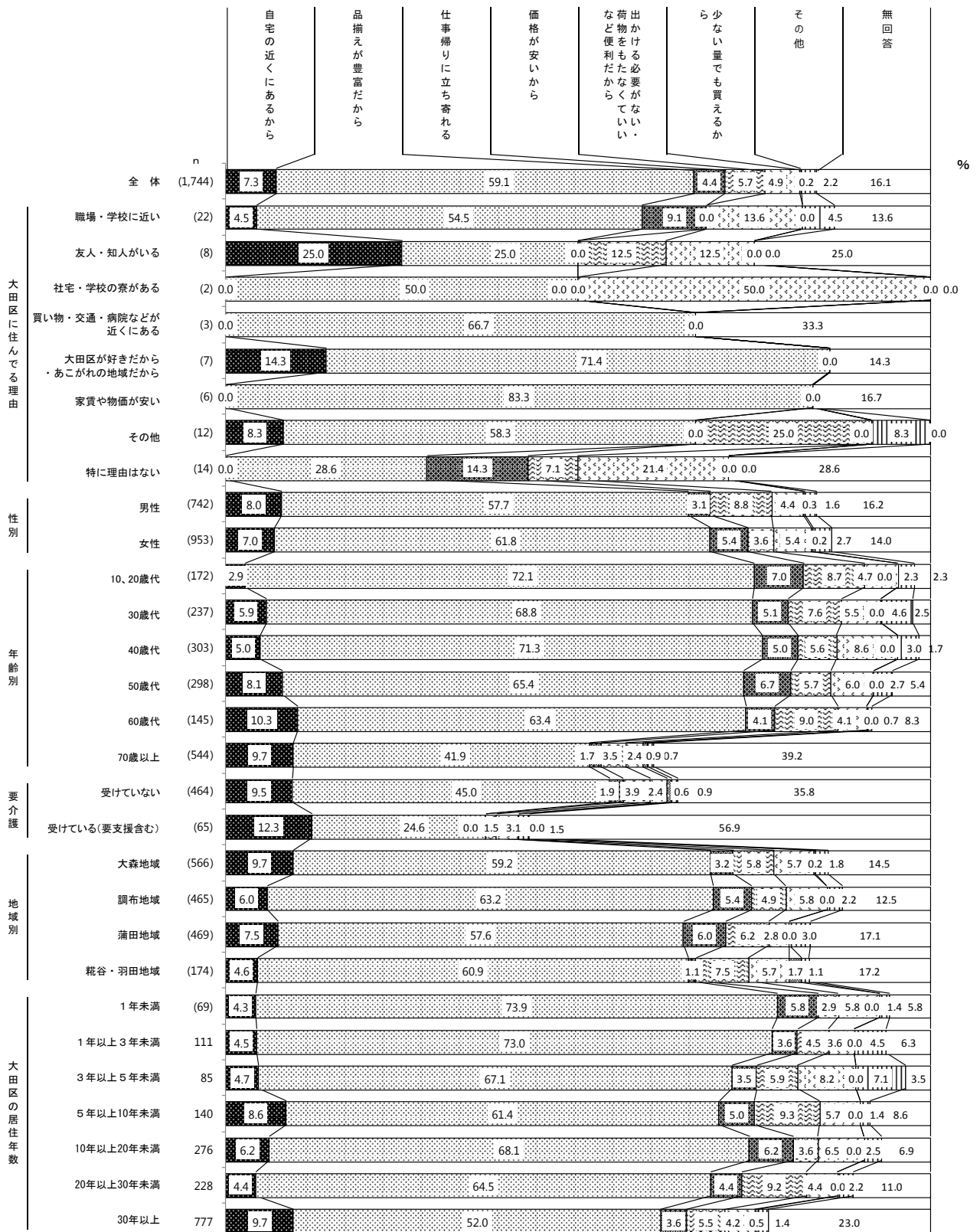
・問 19-2 (衣類・業態) と問 26、F 1、F 2、F 2-1、F 3、F 9

『衣類 (業態)』 × 『大田区に住んでいる理由』等

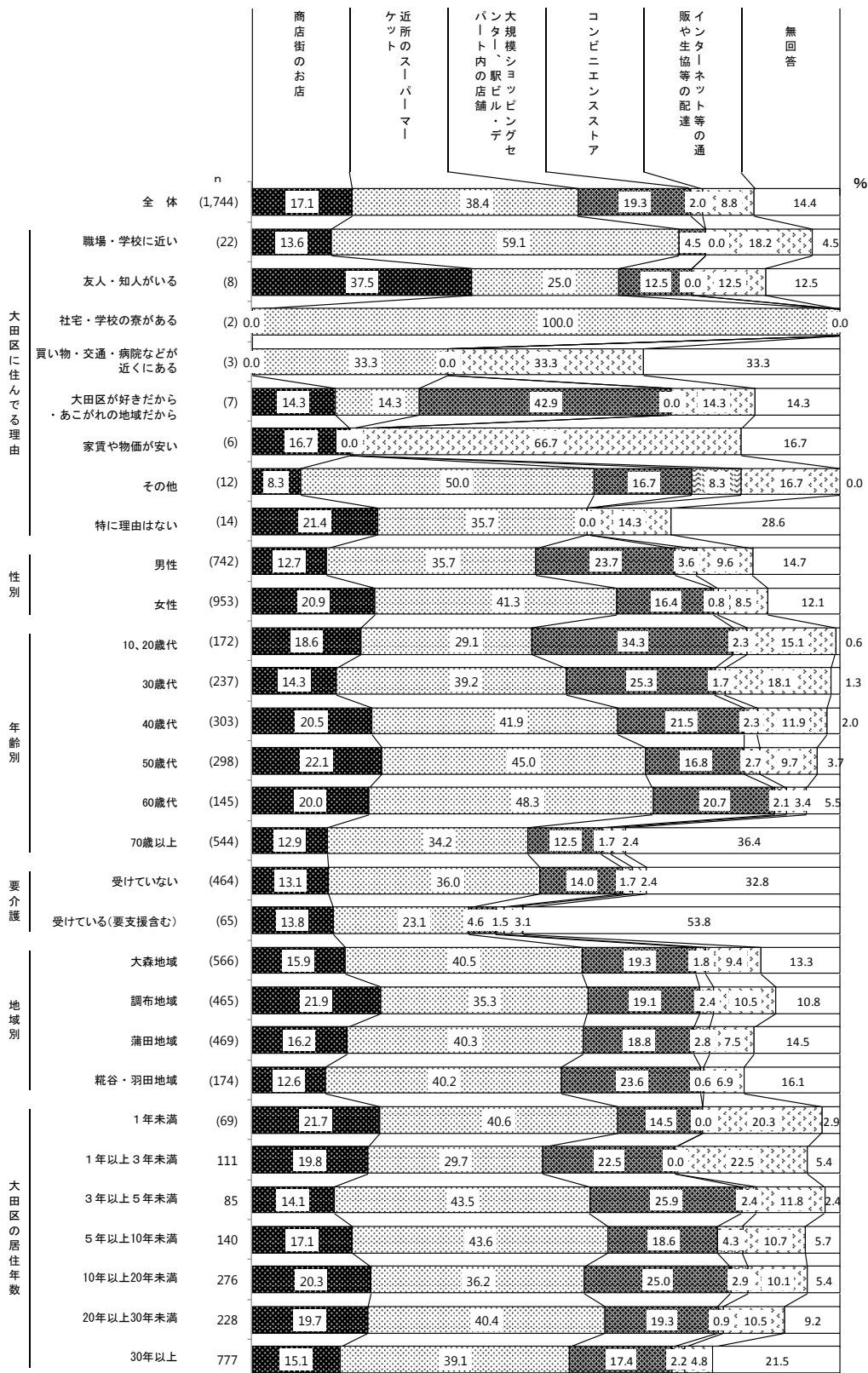


・問 19-2 (衣類・理由) と問 26、F1、F2、F2-1、F3、F9

『衣類 (理由)』 × 『大田区に住んでいる理由』等

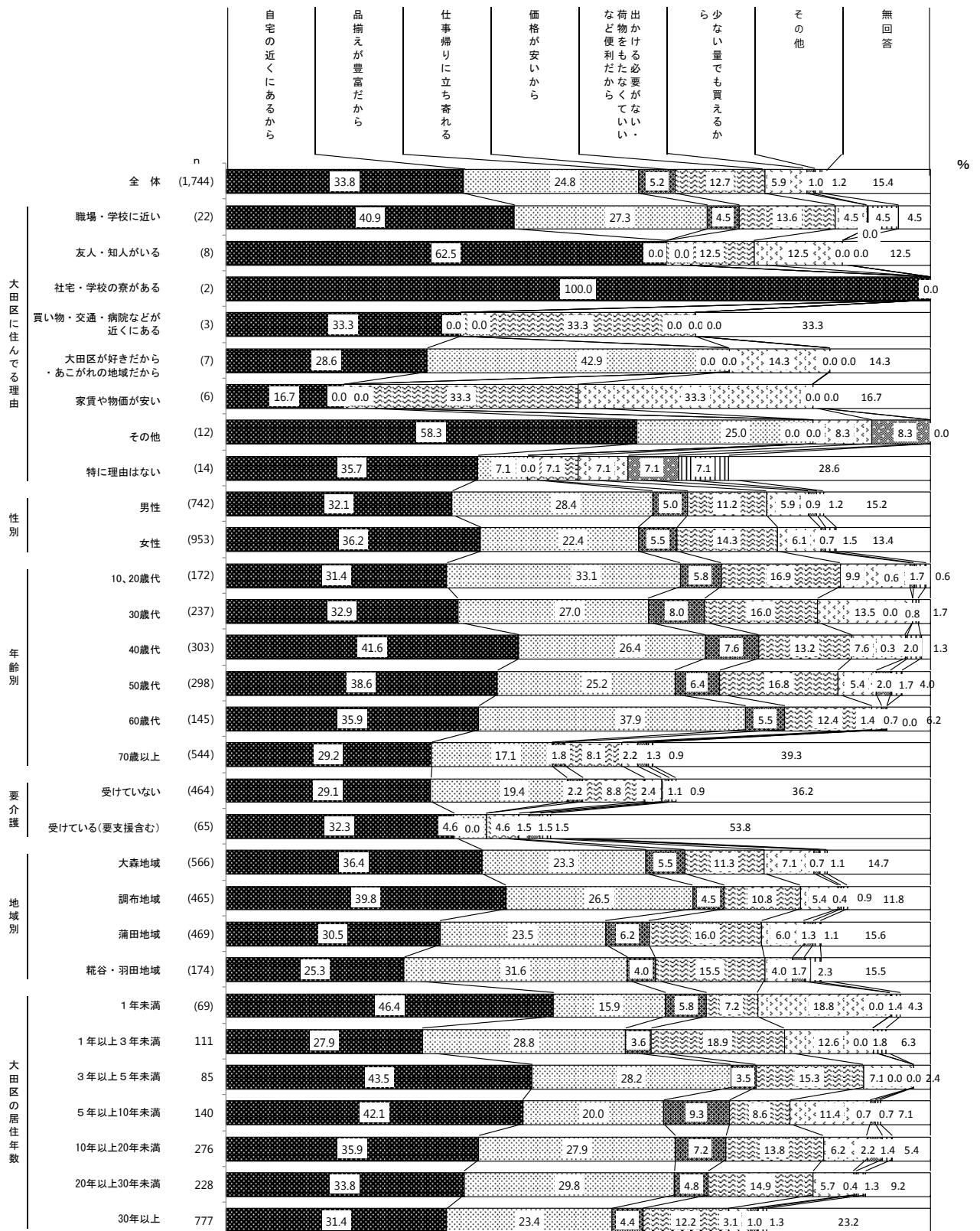


・問 19-3 (日用雑貨・業態) と問 26、F 1、F 2、F 2-1、F 3、F 9
『日曜雑貨(業態)』×『大田区に住んでいる理由』等



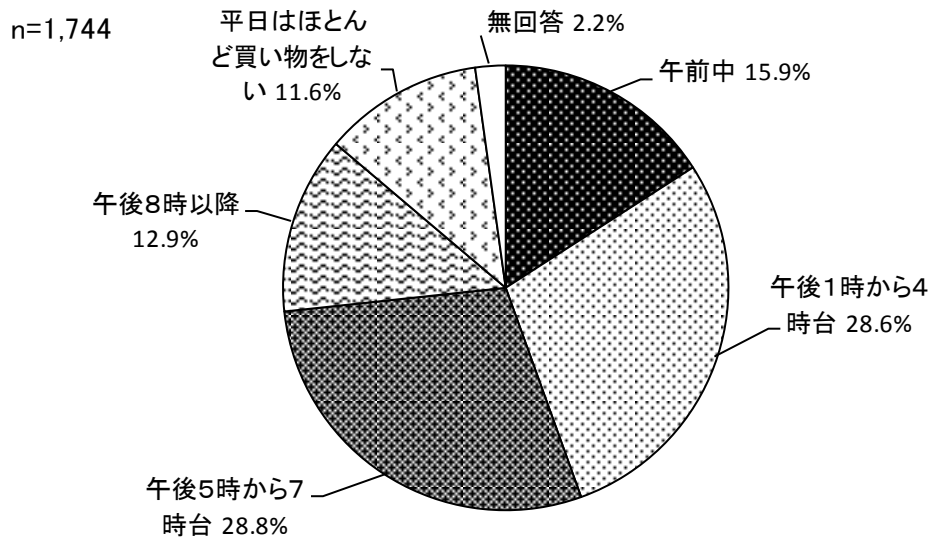
・問 19-3 (日用雑貨・理由) と問 26、F 1、F 2、F 2-1、F 3、F 9

『日曜雑貨 (理由)』 × 『大田区に住んでいる理由』 等



・平日に買い物をする時間帯について

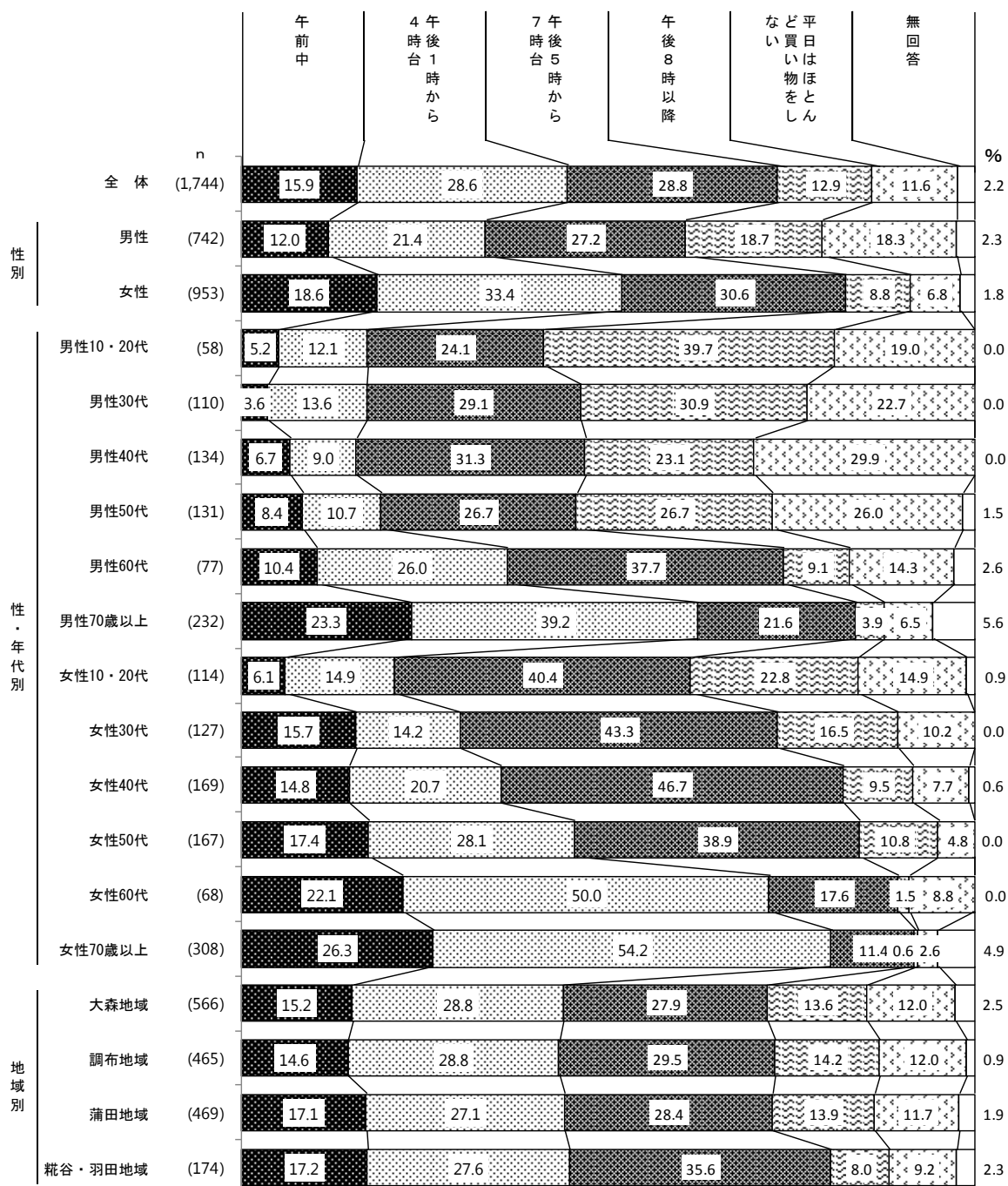
問 20 平日に食料品や日用品の買い物をする時間帯はどれですか。最も多いものを選んでください。(○は1つ)



平日の買い物をする時間帯を聞いたところ、「午後5時から7時台」が28.8%で最も高く、次いで「午後1時から4時台」(28.6%)となっており、午後1時から午後7時台で過半数を占めている。

【平日に買い物をする時間帯について】

(性別・性/年代別・地域別)

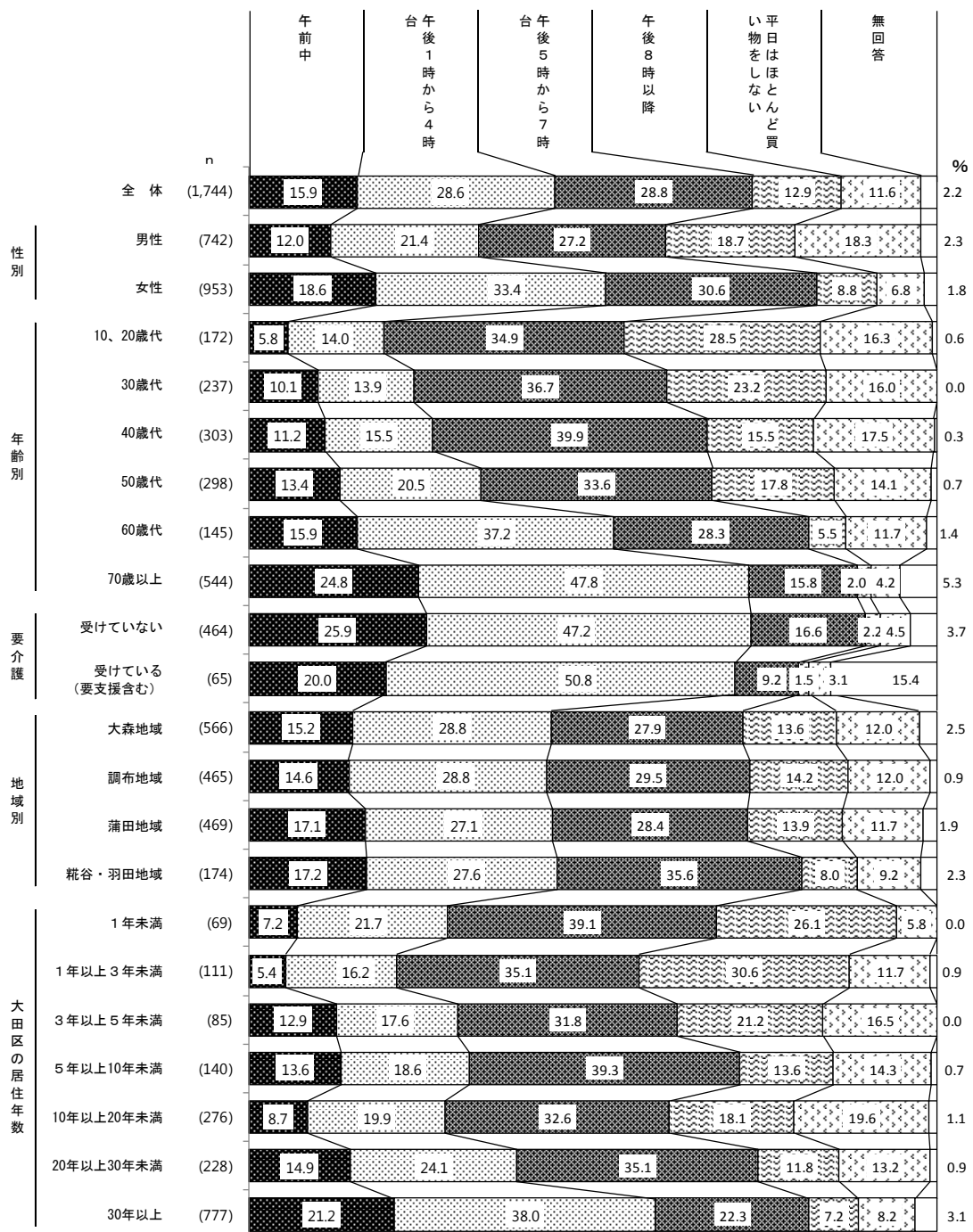


性別にみると、「午前中から午後7時台」では『男性』(60.6%)より『女性』(82.6%)の割合が22.0ポイント高く、「午後8時以降」では『男性』(18.7%)が『女性』(8.8%)より9.9ポイント高くなっている。

地域別にみると、『調布地域』『蒲田地域』『糀谷・羽田地域』では「午後5時から7時台」の割合が最も高くなっている。

・問 20 と問 26、F 1、F 2、F 2-1、F 3、F 9

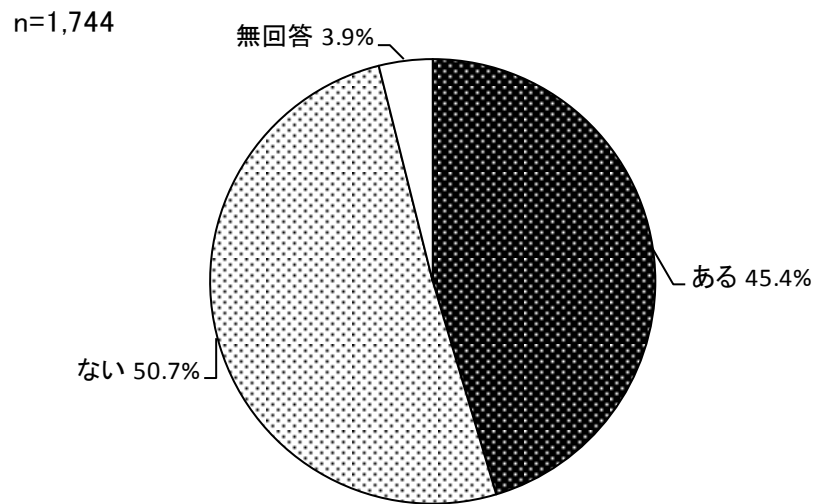
『平日に買い物をする時間帯』 × 『性別』、『年齢別』、『要介護』、『地域別』等



平日に買い物をする時間帯が「午前中」を、大田区の居住年数別にみると、『30年以上』が21.2%で最も高くなっている。

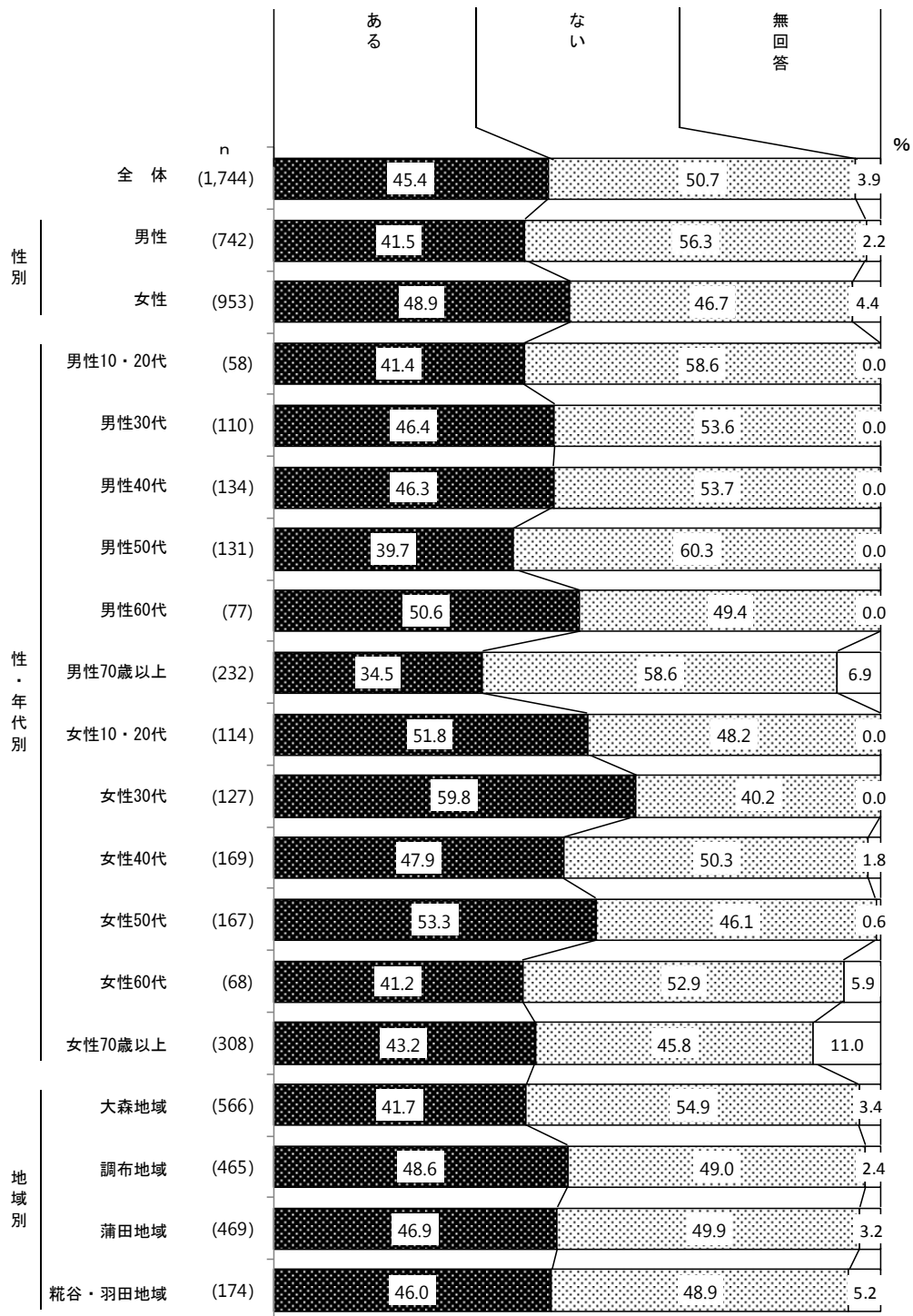
・近くにある自慢の店について

問 21 お住まいの近くにあるお店で、「他人に自慢したい」「今後もずっと残ってほしい」と思うお店はありますか。(〇は1つ)



他人に自慢したい、今後もずっと残ってほしいと思うお店の有無について聞いたところ、「ある」が45.4%、「ない」が50.7%となっている。

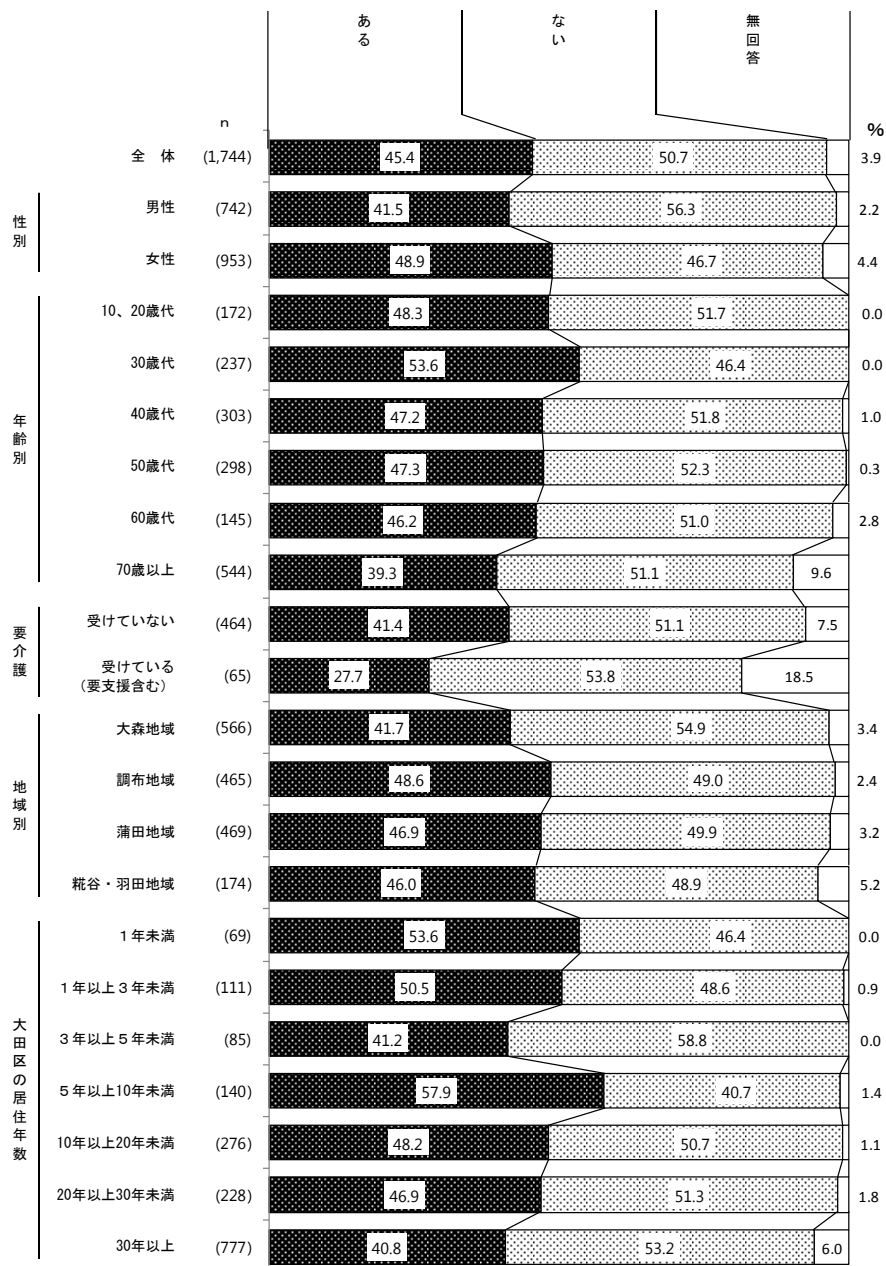
【近くにある自慢の店について】
 (性別・性/年代別・地域別)



性別にみると、「ある」では『女性』(48.9%)が『男性』(41.5%)よりも7.4ポイント高くなっている。

・問 21 と問 26、F 1、F 2、F 2-1、F 3、F 9

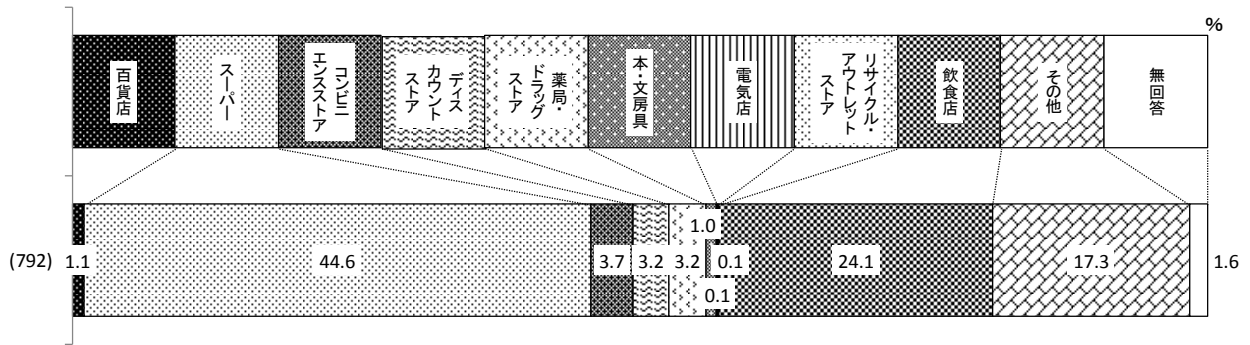
『自慢したいお店』 × 『性別』、『年齢別』、『要介護』、『地域別』等



自慢したいお店が「ある」を、年齢別にみると『30歳代』が53.6%と半数を超えて高くなっている。

【問 21 で「1. ある」と回答された方】

問 21-1 そのお店はどこですか。業種を選択肢から選んでいただき、店名をご記入ください。



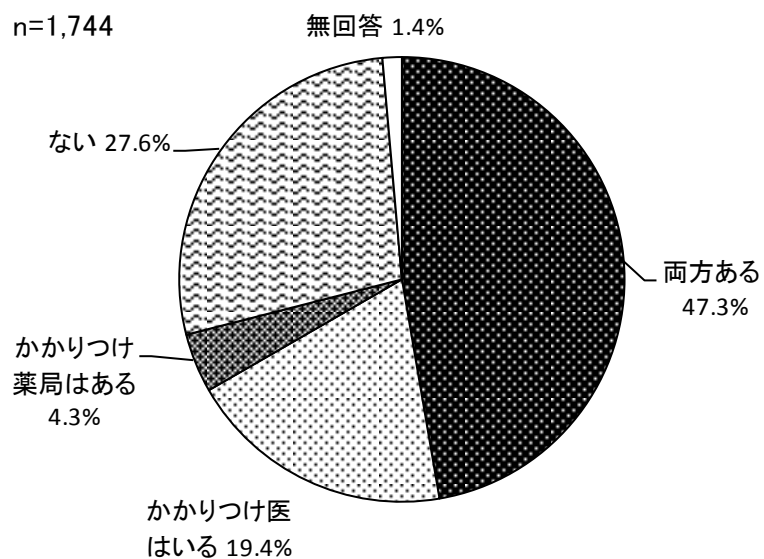
他人に自慢したい、今後もずっと残ってほしいと思うお店がある方の中でそのお店の業種を聞いたところ、「スーパー」が44.6%で最も高く、次いで「飲食店」(24.1%)となっている。

また、その他で多かった回答は『八百屋』、『魚屋』、『精肉店』等の個人店が多く挙げられている。

(11) かかりつけ医

・かかりつけ医・かかりつけ薬局の有無

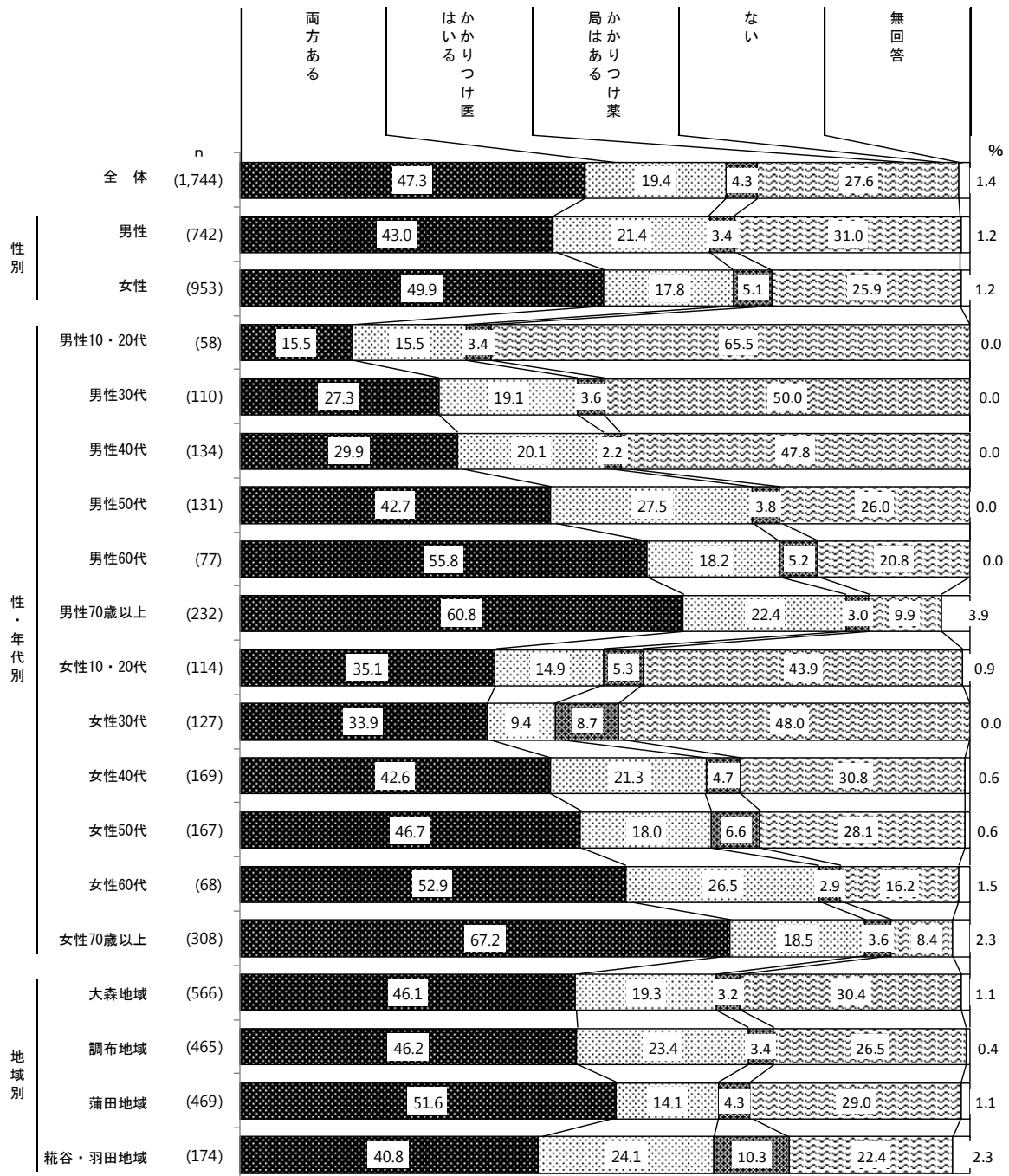
問 22 あなたはかかりつけ医やかかりつけ薬局はありますか。(○は1つ)



かかりつけ医やかかりつけ薬局の有無について聞いたところ、「両方ある」が47.3%で最も高く、次いで「ない」(27.6%)、「かかりつけ医はいる」(19.4%)、「かかりつけ薬局はある」(4.3%)となっている。

【かかりつけ医・かかりつけ薬局の有無】

(性別・性/年代別・地域別)

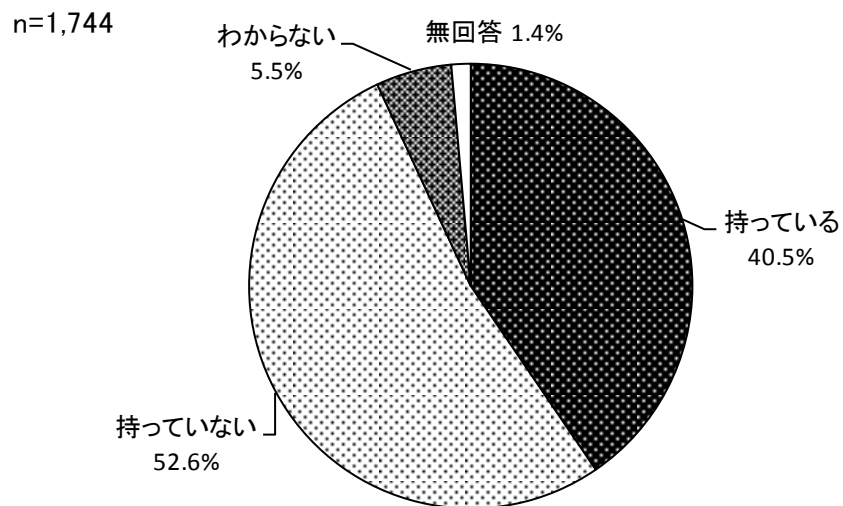


性別にみると、かかりつけ医とかかりつけ薬局について、両方又はいずれかがあると回答した人は『女性』(72.8%)が『男性』(67.8%)より5ポイント高くなっている、

性/年代別にみると、『男女』とも30代以上においては、「両方ある」と回答した人が年代が上がるにつれ割合が高くなっている。

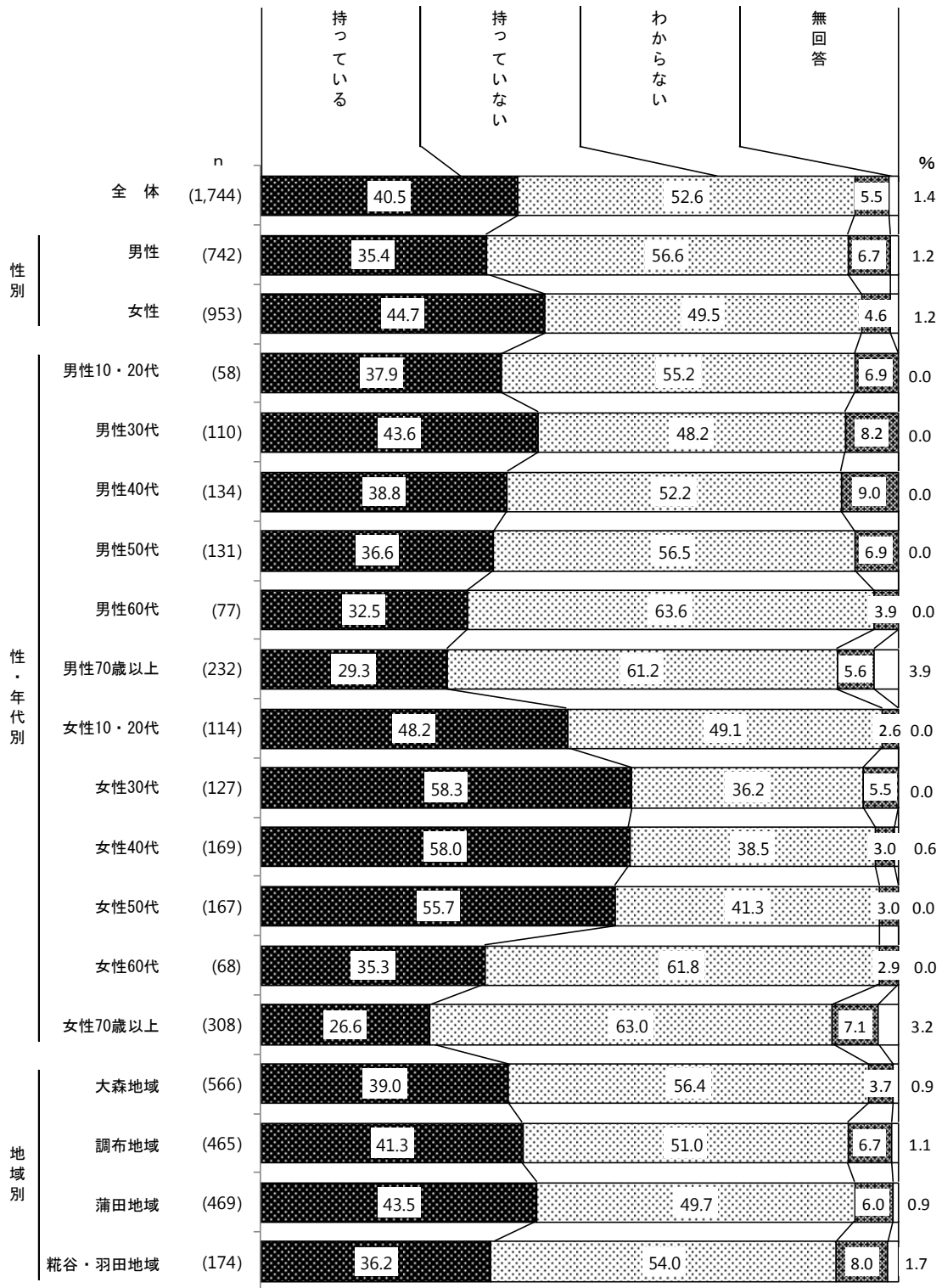
・アレルギー疾患の有無

問 23 あなたはアレルギー疾患をお持ちですか。(○は1つ)



アレルギー疾患の有無について聞いたところ、「持っている」が40.5%、「持っていない」が52.6%、「わからない」が5.5%となっている。

【アレルギー疾患の有無】
(性別・性/年代別・地域別)

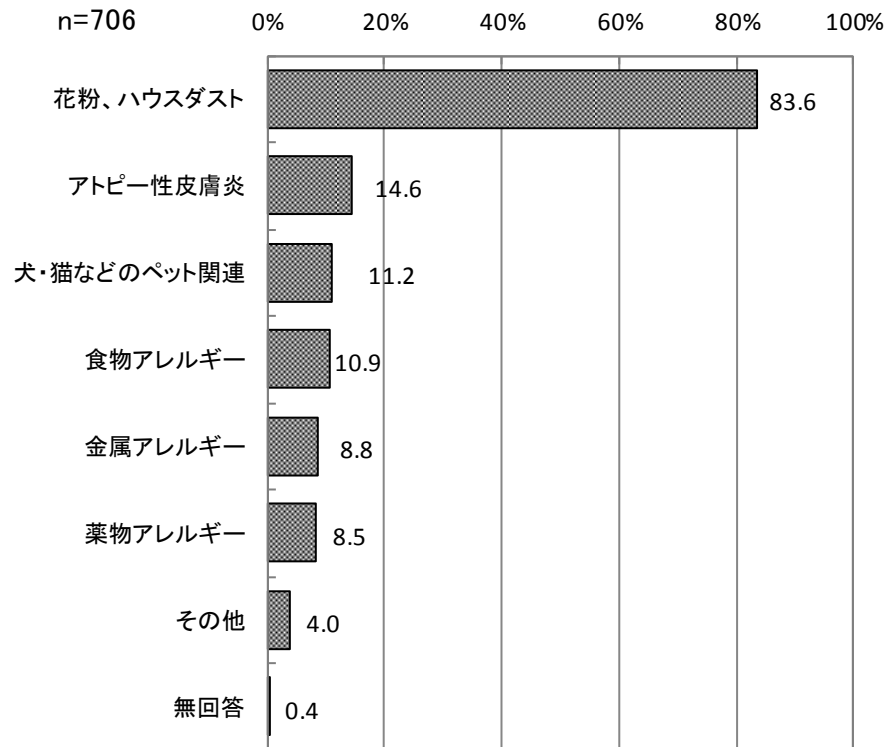


性/年代別にみると、「持っている」では『女性の30～50代』で5割を超えている。

・アレルギー疾患の種類

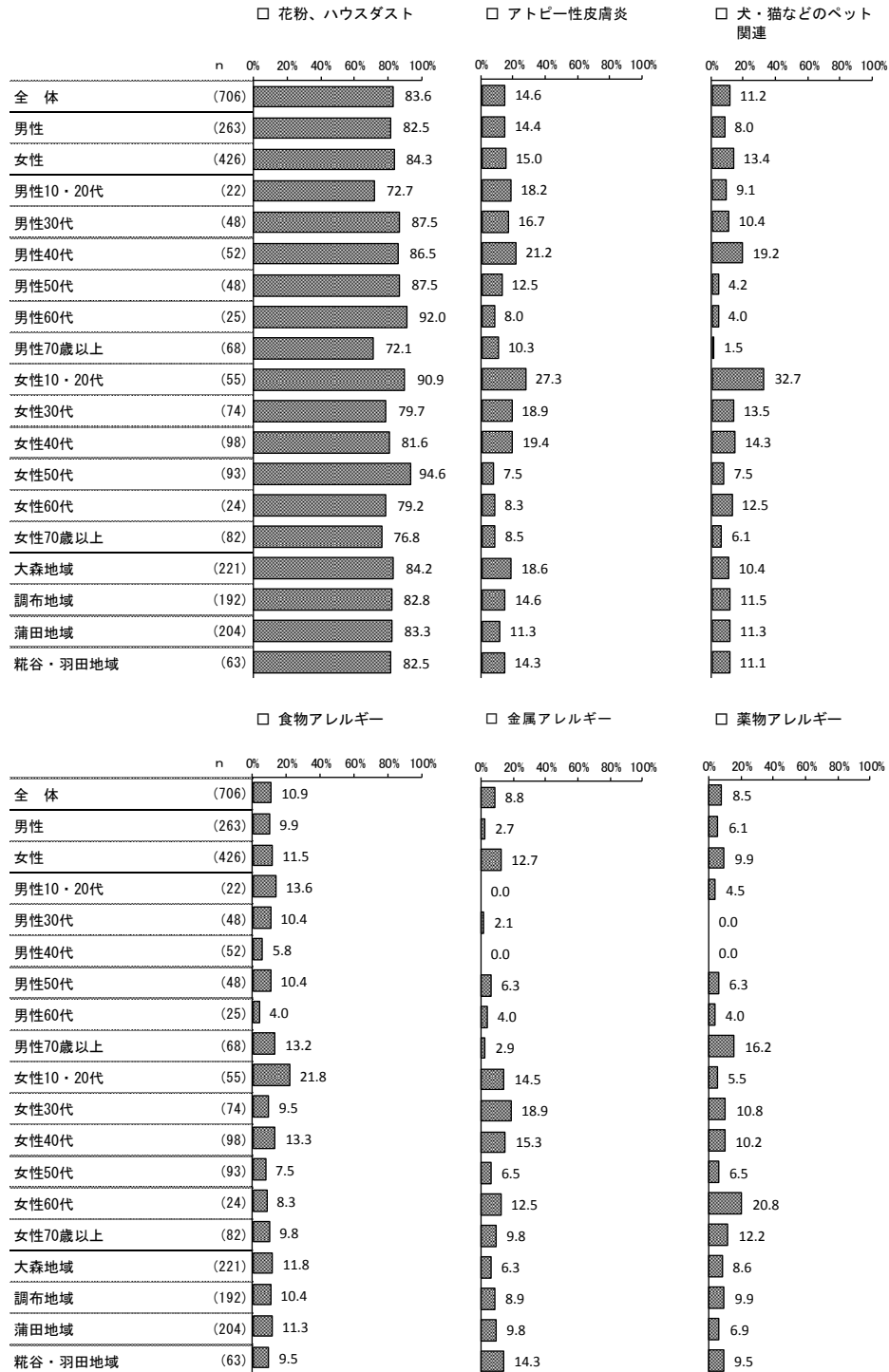
【問 23 で「1. 持っている」と回答された方】

問 23-1 どのようなアレルギー疾患ですか。(〇はいくつでも)



アレルギー疾患を持っている方の中でアレルギー疾患の種類について聞いたところ、「花粉、ハウスダスト」が 83.6% で最も高く、次いで「アトピー性皮膚炎」(14.6%)、「犬・猫などのペット関連」(11.2%)、「食物アレルギー」(10.9%) となっている。

【アレルギー疾患の種類】
 (性別・性/年代別・地域別 上位6項目)

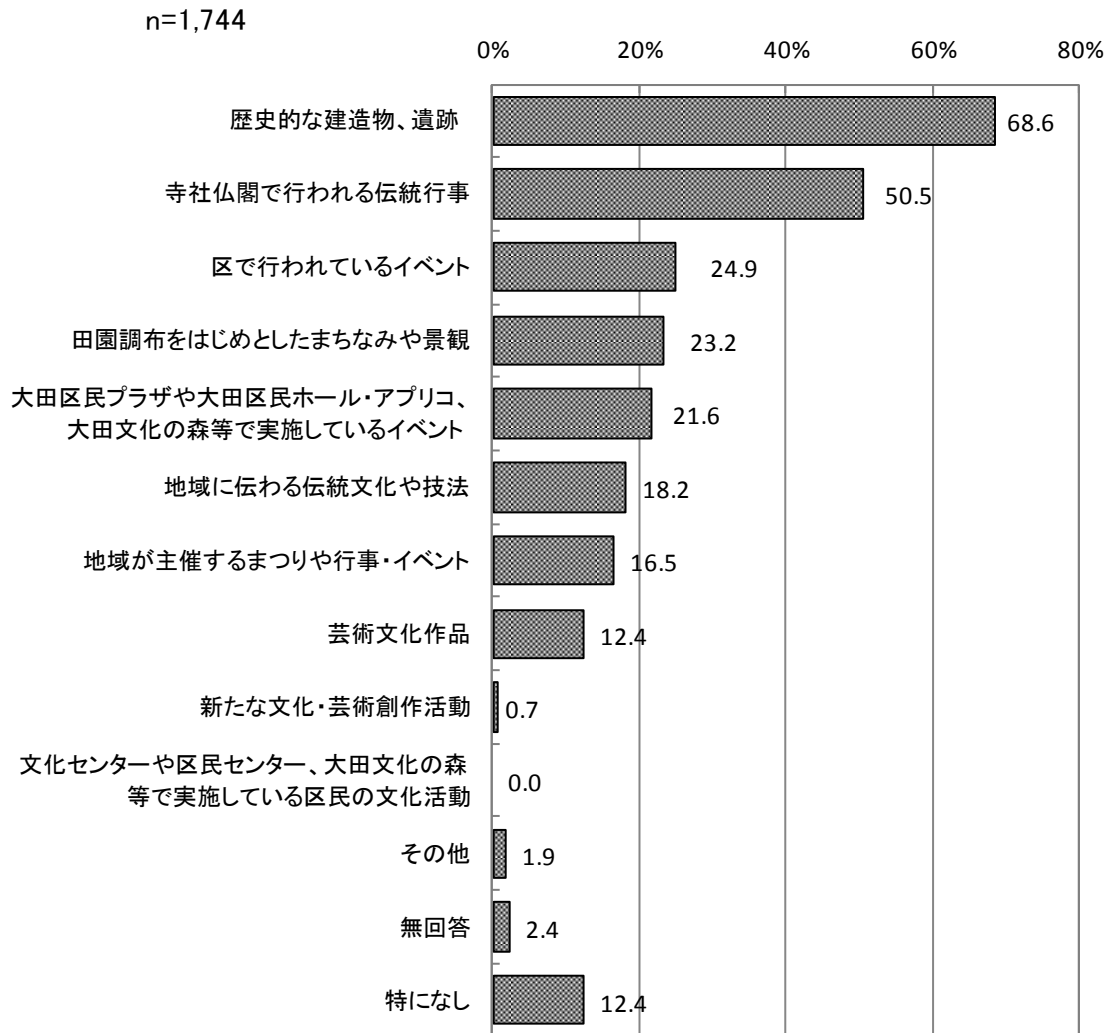


性/年代別にみると、「アトピー性皮膚炎」では『女性10・20代』が27.3%で最も高くなっている。
 地域別にみると、「花粉、ハウスダスト」では大きな差は見られない。

(12) 文化・芸術

・大田区の文化・芸術

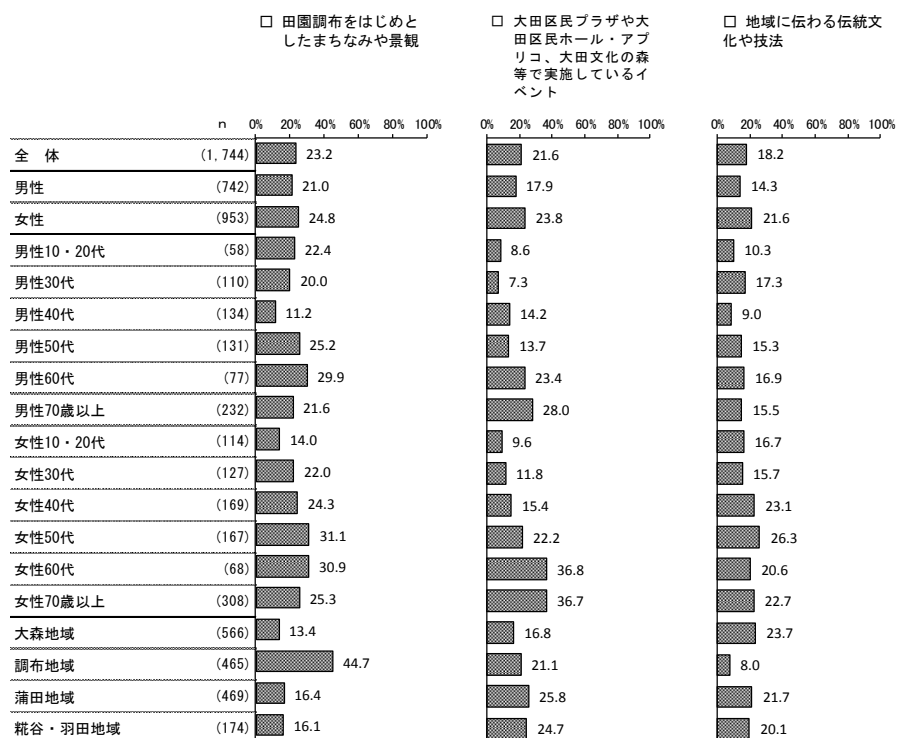
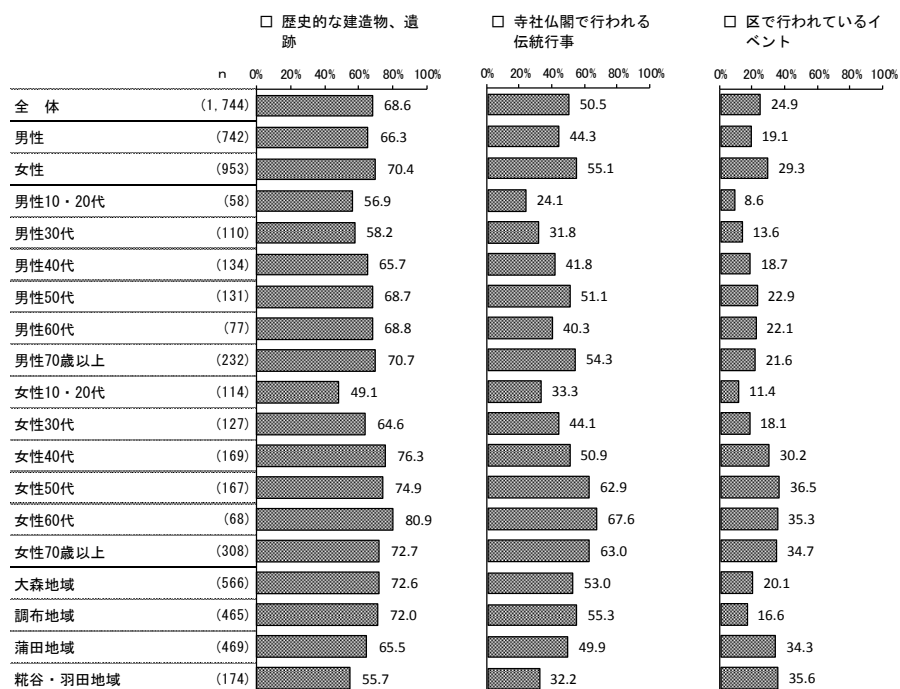
問 24 大田区の文化・芸術として思い浮かぶものは、どのようなものですか。(〇はいくつでも)



大田区の文化・芸術として思い浮かぶものを聞いたところ、「歴史的な建造物、遺跡」が68.6%で最も高く、次いで「寺社仏閣で行われる伝統行事」(50.5%)、「区で行われているイベント」(24.9%)、「田園調布をはじめとしたまちなみや景観」(23.2%)、「大田区民プラザや大田区民ホール・アプリコ、大田文化の森等で実施しているイベント」(21.6%)となっている。

一方で、「特になし」が12.4%となっている。

【大田区の文化・芸術】 (性別・性/年代別・地域別 上位6項目)



性/年代別にみると、男女全ての年代で「歴史的な建造物・遺跡」と回答した人の割合が他の項目と比べて最も高い。

・問 24 と問 25

『大田区の文化・芸術』 × 『日本での滞在目的・理由』

[上段：件数/下段：%]

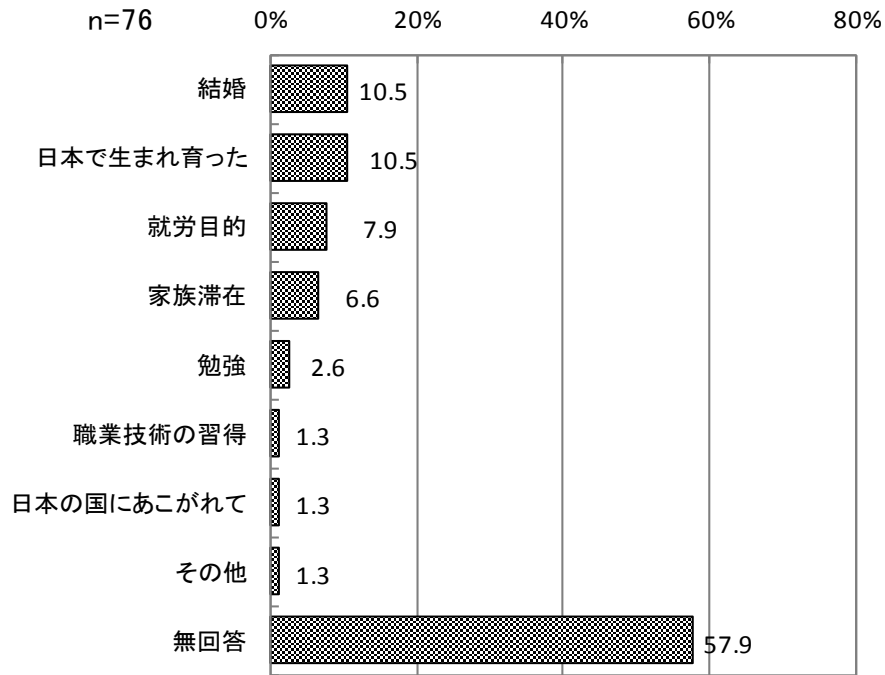
		大田区の文化・芸術															
		全 体	歴 史的 な 建 造 物 、 遺 跡	た ま ち な な み や 景 観	田 園 調 布 を は じ め と し	地 域 に 伝 わ る 伝 統 文 化 や 技 法	寺 社 仏 閣 で 行 わ れ る 伝 統 行 事	地 域 が 主 催 す る ま つ り や 行 事 ・ イ ベ ン ト	芸 術 文 化 作 品	区 で 行 わ れ て い る イ ベ ン ト	大 田 区 民 プ ラ ザ や 大 田 区 民 ホ ー ル ・ ア プ リ コ の 森 等 で 実 施 し て い る イ ベ ン ト	大 田 区 民 プ ラ ザ や 大 田 区 民 ホ ー ル ・ ア プ リ コ の 森 等 で 実 施 し て い る 区 民 の 文 化 活 動	文 化 セ ン タ ー や 区 民 セ ン タ ー 、 大 田 文 化 の 森 等 で 実 施 し て い る 区 民 の 文 化 活 動	新 た な 文 化 ・ 芸 術 創 作 活 動	特 に な し	そ の 他	無 回 答
日本 で の 滞 在 目 的 ・ 理 由	全 体	1,744 100.0	1,196 68.6	404 23.2	317 18.2	881 50.5	288 16.5	216 12.4	434 24.9	377 21.6	-	-	13 0.7	216 12.4	34 1.9	41 2.4	
	勉強	2 100.0	1 50.0	-	-	-	1 50.0	-	1 50.0	-	-	-	-	-	-	-	-
	職業技術の習得	1 100.0	1 100.0	-	-	-	1 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	就労目的	6 100.0	1 16.7	-	-	-	2 33.3	-	-	-	-	-	-	-	-	3 50.0	-
	家族滞在	5 100.0	4 80.0	1 20.0	2 40.0	1 20.0	3 60.0	-	1 20.0	2 40.0	-	-	-	-	-	-	-
	結婚	8 100.0	4 50.0	2 25.0	-	-	2 25.0	2 25.0	-	1 12.5	-	-	-	-	1 12.5	-	-
	日本の国にあこがれて	1 100.0	1 100.0	-	-	-	1 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	日本で生まれ育った	8 100.0	5 62.5	1 12.5	1 12.5	3 37.5	1 12.5	-	-	-	-	-	-	-	1 12.5	-	1 12.5
	その他	1 100.0	-	-	-	-	1 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

◆外国籍の方にのみ、問 25・問 26 をお伺いします◆

・(外国籍の方のみ) 日本での滞在目的・理由

【外国籍の方のみお答えください】

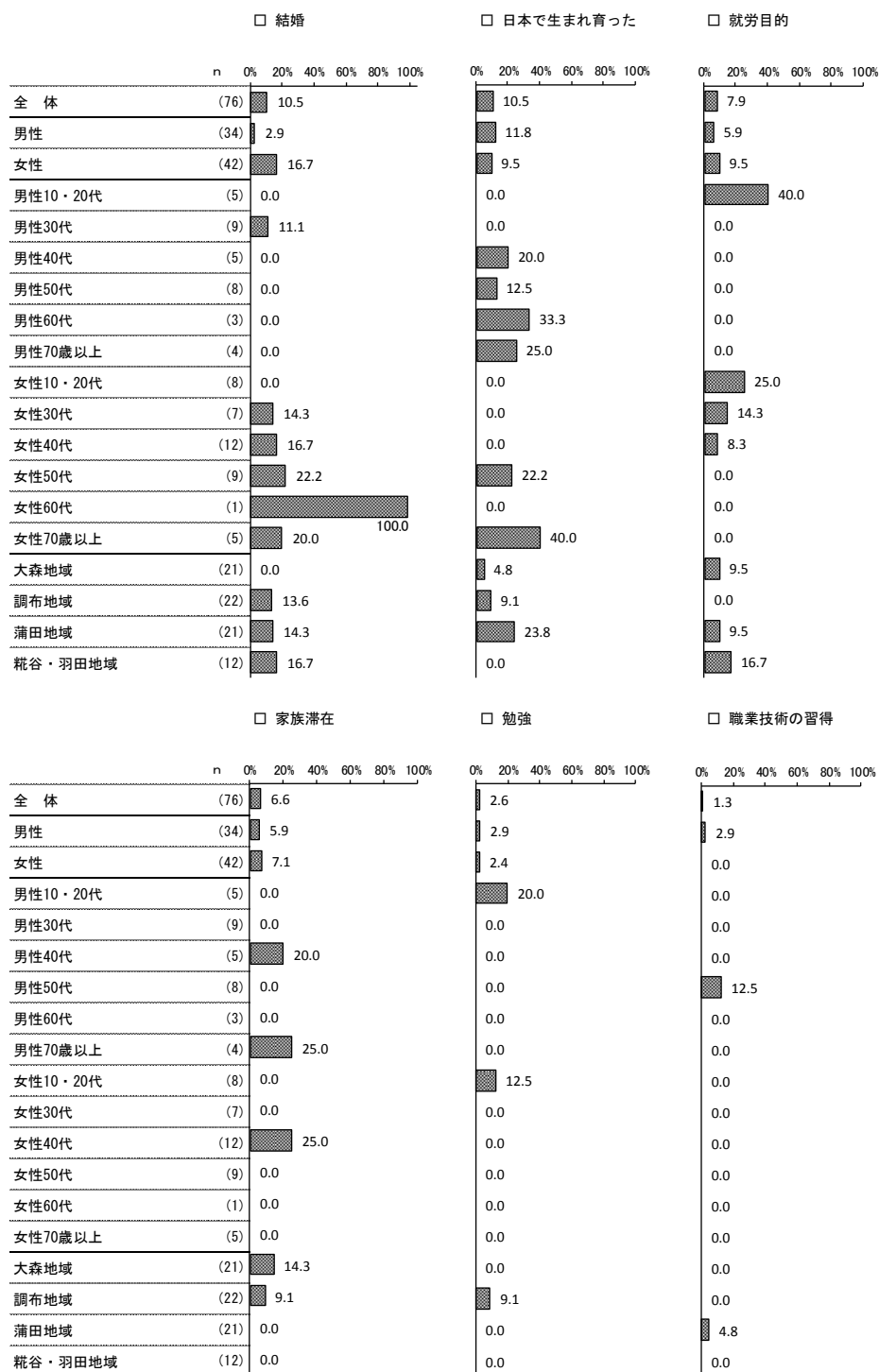
問 25 日本での滞在目的又は滞在の理由は何ですか。(〇は1つ)



※外国籍の方の数＝「問 25 もしくは問 26 どちらかの回答があった人」として集計

外国籍の方に日本での滞在目的又は滞在理由を聞いたところ、「結婚」と「日本で生まれ育った」が 10.5% で最も高くなっている。

【日本での滞在目的・理由】
 (性別・性/年代別・地域別 上位6項目)



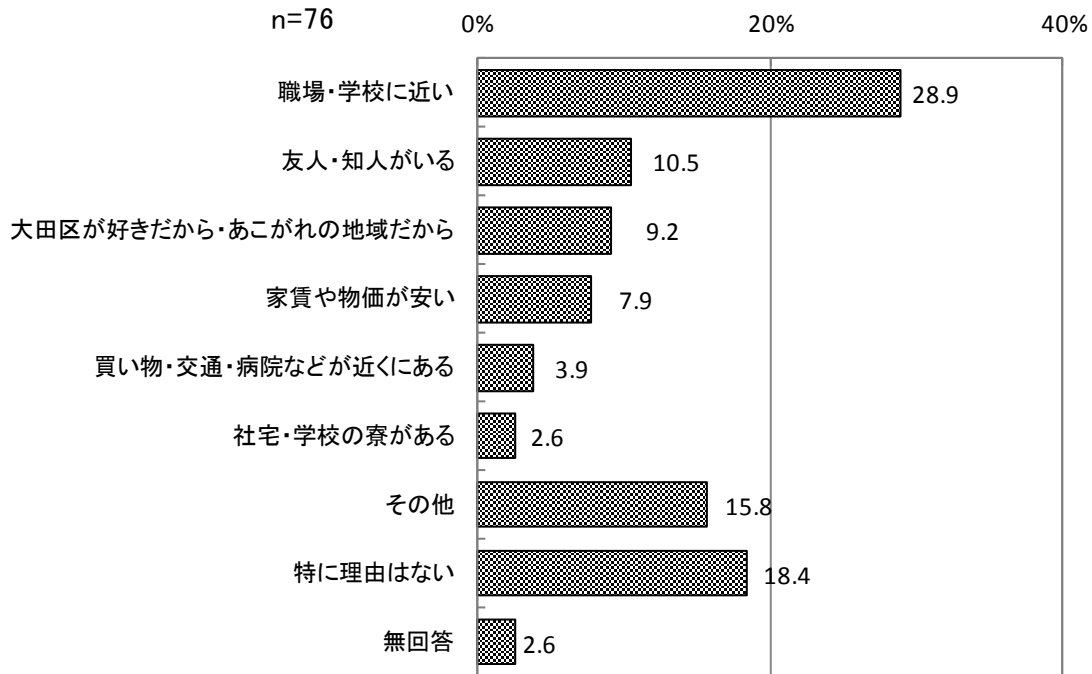
※外国籍の方の数 = 「問 25 もしくは問 26 どちらかの回答があった人」として集計

性別にみると、「結婚」では『女性』(16.7%)が『男性』(2.9%)より13.8ポイント高くなっている。

・(外国籍の方のみ) 大田区に住んでいる理由

【外国籍の方のみお答えください】

問 26 大田区にお住まいになっている理由は何ですか。(〇は1つ)



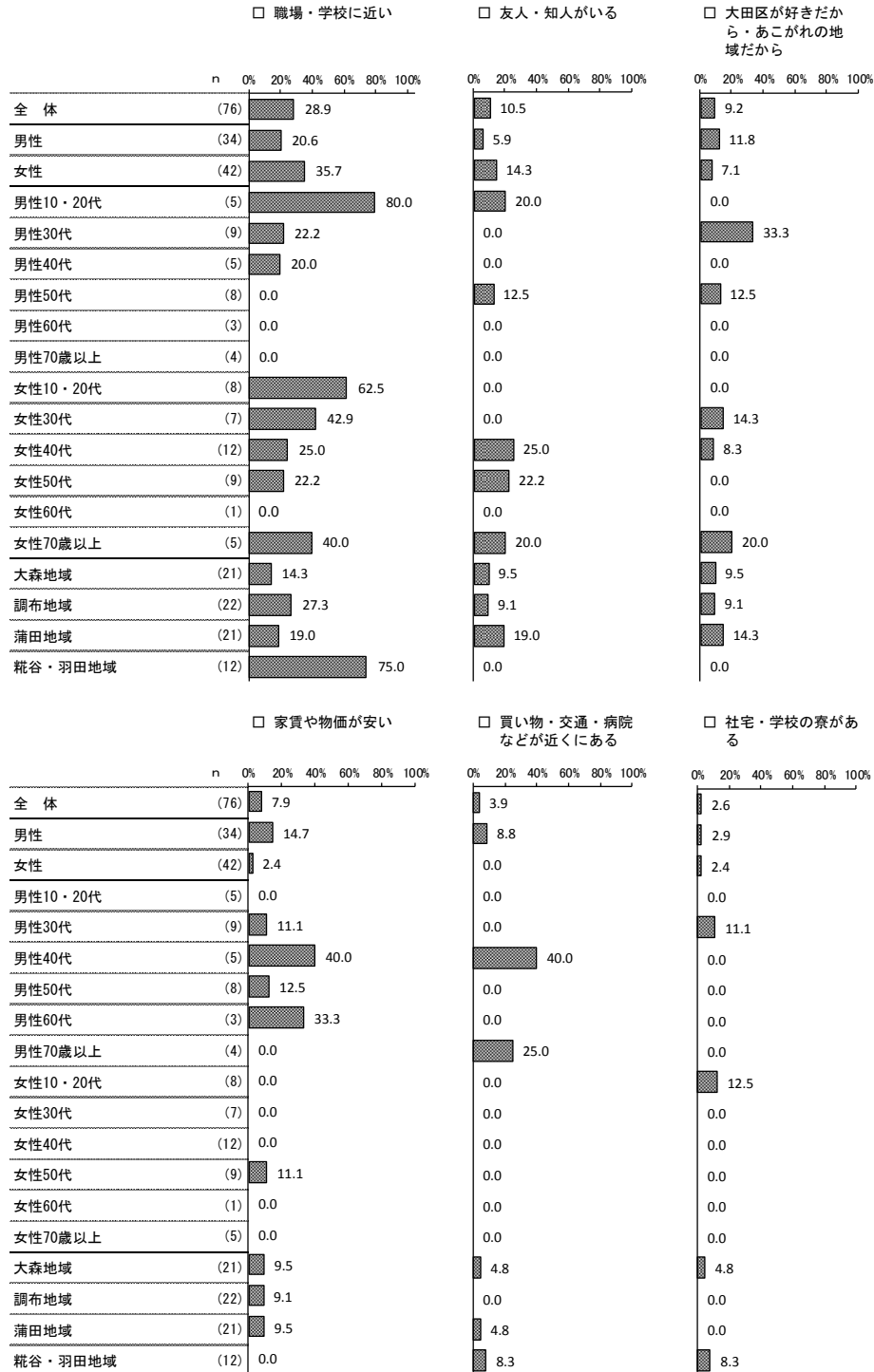
※外国籍の方の数 = 「問 25 もしくは問 26 どちらかの回答があった人」として集計

外国籍の方に大田区に住んでいる理由を聞いたところ、「職場・学校に近い」が 28.9%で最も高く、次いで「友人・知人がいる」(10.5%)、「大田区が好きだから・あこがれの地域だから」(9.2%)、「家賃や物価が安い」(7.9%)となっている。

一方で、「特に理由はない」は 18.4%となっている。

「その他」では、『妻の実家だから』などが回答されている。

【大田区に住んでいる理由】 (性別・性/年代別・地域別 上位6項目)



※外国籍の方の数＝「問25もしくは問26どちらかの回答があった人」として集計

性別にみると、「職場、学校に近い」では『女性』(35.7%)が『男性』(20.6%)より15.1ポイント高くなっている。